

平成 26 年

農林水産業気象災害年報

平成 28 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	7
2	畑作物（小麦、大豆）	8
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	10
4	花き（りんどう、小ぎく）	12
5	果樹（りんご、ぶどう）	13
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	15
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	15
8	水産物（養殖わかめ、養殖こんぶ、養殖ほたてがい、養殖かき）	16

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	2月9日の大雪・波浪災害	17
2	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	19
3	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	21
4	3月30日の暴風雪・波浪災害	25
5	4月3日の津波による災害	27
6	4月20日の降霜災害	28
7	5月29日及び30日の降雹災害	29
8	6月16日の降雹災害	32
9	7月11日の台風第8号災害	33
10	8月8日の大雨災害	37
11	8月10日から11日の台風第11号災害	39
12	8月15日の大雨災害	43
13	8月22日の大雨災害	46
14	9月12日の降雹災害	49
15	10月6日の台風第18号災害	50
16	10月14日の台風第19号災害	55
17	10月17日の強風災害	59
18	11月2日から3日の強風災害	61
19	12月3日の大雪災害	63
20	12月17日の暴風雪災害	65

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	2月9日の大雪・波浪災害	69
2	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	70
3	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	71
4	10月14日の台風19号災害	72

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	74
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	91
3	農業共済事業の種類と仕組み	95
4	漁業共済事業の種類と仕組み	97
5	森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要	100
6	森林国営保険の概要	101
7	農作物災害対策要綱	102
8	農作物災害復旧対策事業の実施状況	103
9	平成元年以降における農林水産業気象災害	106

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 2月の沿岸部の大雪
- ・ 4月～7月の高温、多照
- ・ 8月の少照、多雨
- ・ 9月、10月の多照
- ・ 12月の低温

1月から2月にかけては、内陸では山沿いを中心に曇りや雪の日が多く、沿岸部では晴れの日が多かった。また、2月および3月は、発達した低気圧が三陸沖を北上した影響により、沿岸部を中心に大雨や大雪となる日があった。

4月から7月にかけては、晴れの日が多く、平均気温も高めで推移した。また、4月は、まとまった雨が降らなかったため、県内で山林火災が相次いで発生した。

8月は、曇りや雨の日が続いたため、日照時間が少なかった。また、大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴い非常に激しい雨の降ったところがあった。

9月から11月にかけては、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

12月は、冬型の気圧配置が続いたため曇りや雪または雨の日が多く、月間日照時間は県内6地点で12月の少ない方からの極値を更新した。

2 旬別の気象概況 ※岩手県の天候のまとめ（盛岡地方気象台作成）より抜粋

〈1月〉：上・中旬の低温、下旬の高温

上旬：低気圧や前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。内陸や山沿いでは曇りや雪の日が多く、沿岸部では天気が周期的に変わった。1日は、寒冷前線通過の影響により内陸や山沿いを中心に雨や雪となり、奥中山では日降雪量 42 cmを観測し、1月の極値を更新した。

中旬：冬型の気圧配置となる日が多く、内陸では山沿いを中心に曇りや雪の日、沿岸部では晴れの日が多かった。

下旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。内陸では山沿いを中心に雪の日が多く、沿岸部では晴れの日が多かった。30日は、北日本に温かい南風が吹き込み、山田など3地点で日最高気温の高い方からの値で、1月の極値を更新した。

〈2月〉：沿岸部の大雪

上旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。このため、天気が周期的に変わった。9日は、発達した低気圧が三陸沖を北東へ進んだため、沿岸を中心に大雪となった。

中旬：低気圧が発達しながら北上し、北上した後は冬型の気圧配置となって、内陸では山沿いを中心に雪となる日が多かった。特に15日から16日にかけては、発達した低気圧が三陸沖を北上した影響により沿岸部を中心に暴風雪となり、県内各地で住家損壊、交通障害、停電などの被害が発生した。

下旬：期間のはじめは冬型の気圧配置となったが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

〈3月〉：月降水量がかなり多い、20日と30日の暴風雪

上旬：冬型の気圧配置となる日が多かった。内陸や山沿いは雪の日が多く、沿岸では晴れの日が多かったが、5日は前線を伴った低気圧が通過した影響により、沿岸でも雪や雨となった。

中旬：低気圧の通過や冬型の気圧配置により雪や雨の日が多かった。13日と20日は低気圧が発達しながら三陸沖を北東へ進んだため、沿岸部を中心に大雪となり、県内各地で住家損壊、交通障害、停電などが発生した。

下旬：県内は高気圧に覆われ晴れる日が多かった。30日は低気圧が発達しながら三陸沖を北東へ進んだため、沿岸部を中心に風が強まり、沿岸北部で交通障害、停電などの被害が発生した。30日は大船渡で日最大風速の3月としての極値を更新し、米里では日降水量の3月としての極値を更新した。

〈4月〉：4月4日の大雨、記録的な多照

上旬：4日は低気圧が発達しながら三陸沖を北東へ進み、この低気圧に向かって暖かく湿った南風が吹き込んだため沿岸南部を中心に大雨となり、3日から4日にかけて総降水量は、釜石で93.5mm、大船渡で91.5mmを観測した。

中旬：移動性高気圧に覆われる日が多く、晴れの日が続いた。

下旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、21日と30日は低気圧や気圧の谷の影響で雨が降った。

〈5月〉：記録的な高温、多照

上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わったが、高気圧に覆われる日が多かったため晴れの日が多かった。1日は上空を寒気が通過し太平洋側から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり内陸を中心に大雨となった。

中旬：低気圧や高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。14日は晴れて南から暖かい空気が流れ込み、県内各地で気温が上昇し一関など7地点で真夏日（日最高気温 30.0 度以上）となった。

下旬：21日から22日にかけては、低気圧の影響で沿岸部を中心に大雨となった。28日から31日にかけては、南から暖かい空気が流れ込んだため県内の広い範囲で真夏日となった。

〈6月〉：高温

上旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。後半は気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなり、12日は低気圧の影響で沿岸部を中心に大雨となった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、29日と30日は上空の寒気や低気圧の影響でまとまった雨となった。

〈7月〉：高温、日照時間が多い

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、4日は低気圧の影響で沿岸部を中心に雨が降り、10日は台風第8号の影響で暖かく湿った空気が流れ込み梅雨前線の活動が活発化し大雨となった。

中旬：梅雨前線や気圧の谷の影響で雨や曇りの日が多かった。11日は、台風第8号と梅雨前線の影響で大雨となった。

下旬：梅雨前線の影響で雨の降る日があったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

〈8月〉：日照時間が少ない

上旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日もあったが、後半は台風第 11 号や前線の影響で雨や曇りの日が多かった。

中旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が続いたため、降水量が多くなり日照時間は少なかった。

下旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、旬平均気温は低く、旬日照時間は少ないところが多かった。21 日と 22 日は、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴って非常に激しい雨の降ったところがあった。

〈9月〉：日照時間が多い

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、10 日は上空の寒気の影響で局地的に大雨となった。

中旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、降水量は少なく日照時間はかなり多かった。一方、オホーツク海高気圧や上空の寒気の影響で気温は低く経過した。

下旬：高気圧に覆われて晴れる日が多く日照時間はかなり多かった。25 日は低気圧の影響で沿岸南部では大雨となった。

〈10月〉：多雨、日照時間が多い

上旬：6 日は台風第 18 号の影響で沿岸北部を中心に大雨となった。その他の日は、高気圧に覆われて晴れる日が多く日照時間は多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった。14 日は台風第 19 号の影響で沿岸部を中心に大雨となった。

下旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった。21 日は前線や低気圧の影響で雨が降った。

〈11月〉：下旬の高温

上旬：2 日から 3 日にかけてと 6 日は前線や低気圧の影響で沿岸部を中心に雨となった。その他の日は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

中旬：12 日から 13 日にかけて前線通過の影響により雨が降り、その後も、冬型の気圧配置が続き雨や曇りの日が多かった。

下旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は低気圧の影響で雨の降る日が多かった。

〈12月〉：低温、上・中旬の多雨、上・中旬の日照時間が少ない

上旬：冬型の気圧配置となる日が多く曇りや雪の日が多かった。

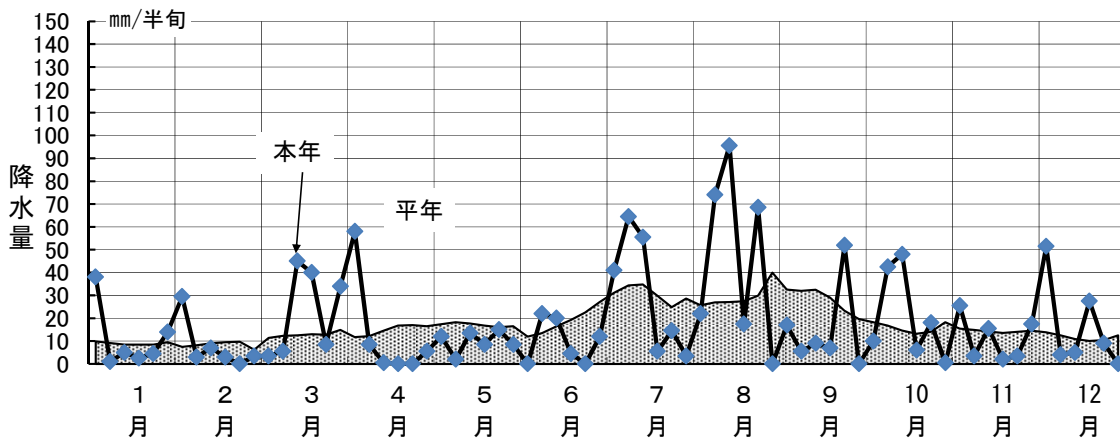
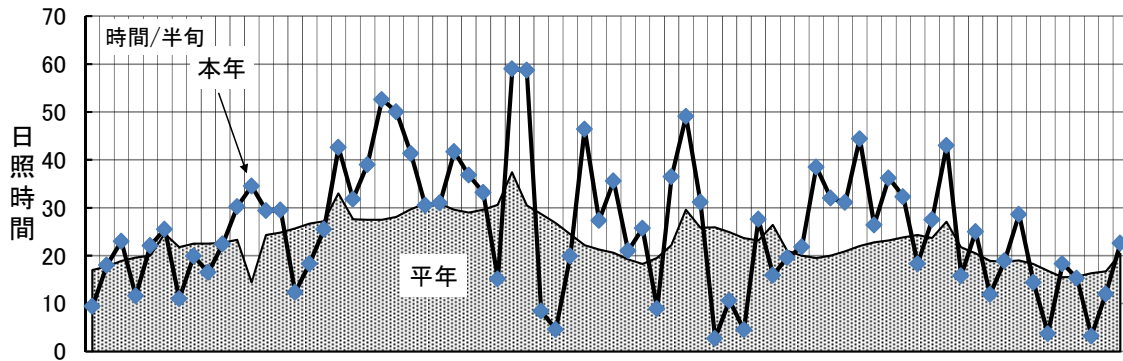
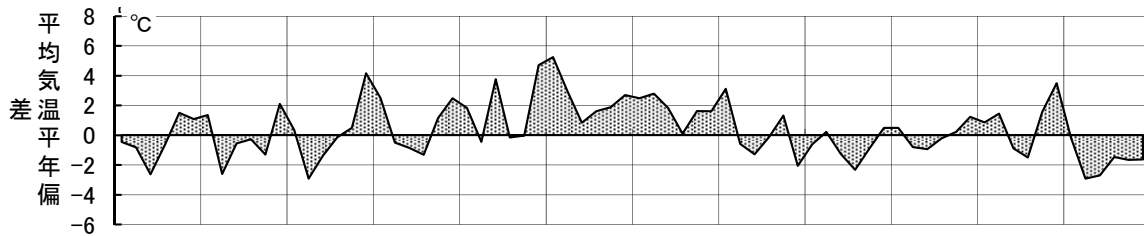
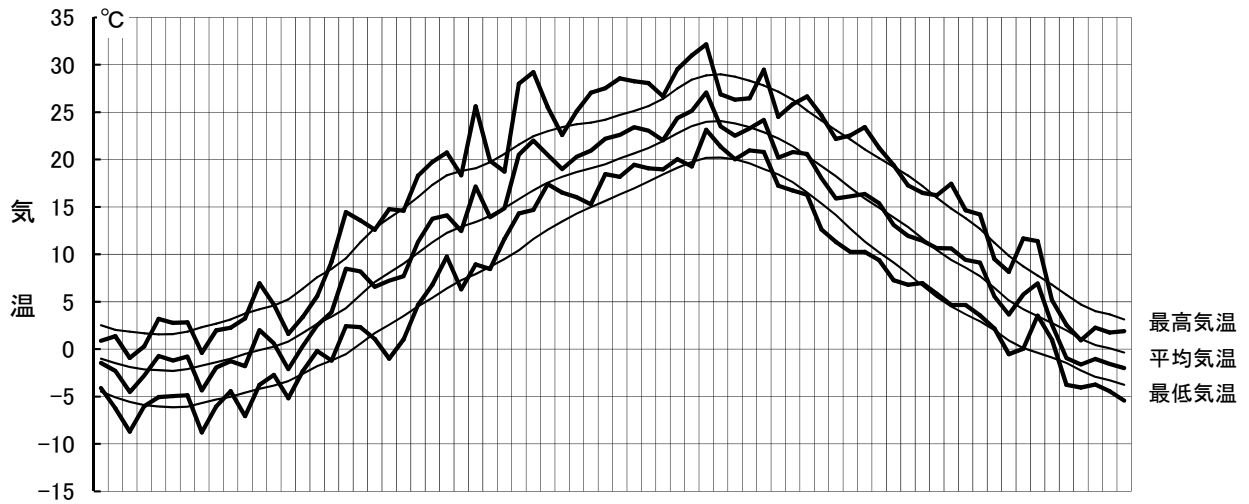
中旬：11 日と 16 日に低気圧が日本海を北東へ進み、この低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過したため雨や雪が降った。前線の通過後は冬型の気圧配置が続き、曇りや雪の日が多かった。

下旬：冬型の気圧配置が続いたため内陸では曇りや雪の日が多く、沿岸部では晴れの日が多かった。24 日は低気圧が東北北部を通過したため内陸で曇りや雪となり、28 日から 29 日にかけては三陸沖を低気圧が北東へ進んだため沿岸部で曇りとなった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2014年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	4月24日	5月3日	4月8日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月6日頃	6月14日頃 (8日早い)	6月15日頃 (9日早い)
梅雨明け	7月25日頃	7月28日頃 (3日早い)	8月10日頃 (16日早い)

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
盛岡	5	15.7	高い方から1位
宮古	5	15.0	高い方から2位
大船渡	5	15.0	高い方から3位
大船渡	6	19.5	高い方から2位
盛岡	6	20.8	高い方から1位

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	3月29日	22.4	高い方から2位
宮古	3月29日	22.7	高い方から4位
大船渡	5月14日	29.9	高い方から5位
盛岡	6月2日	32.2	高い方から4位
大船渡	8月5日	35.9	高い方から3位

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
盛岡	8月6日	25.4	高い方から1位（通年の極値更新）

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備考
大船渡	4	234.4	多い方から1位
盛岡	4	245.2	多い方から1位
宮古	4	260.3	多い方から1位
盛岡	8	92.5	少ない方から4位
盛岡	9	195.2	多い方から1位
宮古	9	194.7	多い方から1位
大船渡	9	176.8	多い方から1位
大船渡	10	173.6	多い方から4位
盛岡	12	75.1	少ない方から4位

オ 月間降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備考
大船渡	3	177.0	多い方から3位
大船渡	6	280.0	多い方から4位
大船渡	12	144.5	多い方から5位

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
盛岡	1月1日	31.5	多い方から4位
大船渡	9月25日	125.0	多い方から4位

キ 日最大1時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備考
宮古	7月19日	28.5	多い方から5位
宮古	8月22日	40.0	多い方から5位
盛岡	11月2日	13.0	多い方から2位

ク 降雪の深さの月合計 (降雪量)

気象官署	月	記録 (cm)	備考
大船渡	1	27	多い方から4位
盛岡	3	80	多い方から3位
宮古	3	85	多い方から2位

ケ 降雪の深さの日合計 (降雪量)

気象官署	月 日	記録 (cm)	備考
宮古	3月20日	27	多い方から5位

II 農林水産物の生育状況

1 水稲（作況指数は「105」、うるち米1等米比率は92.7%）

移植後、良好な気象経過となり生育初期～分けつ期の生育は旺盛であった。幼穂形成期・減数分裂期とも障害不稔等が懸念されるような気象条件にならなかったことから、出穂盛期は8月3日と平年より4日早かった。

登熟期前半は、前線や気圧の谷の通過の影響により曇りや雨の日が続き、日照時間は平年より少なく経過し、登熟は緩慢であった。登熟期後半は、オホーツク海高気圧や寒気の影響で気温が平年を下回って経過したことから、成熟期は平年より1日遅い9月18日となった。

本年は、栄養生長期の良好な気象経過により全県で穂数が平年より多く確保され、一穂粒数も東部を除いて平年より多かったことから、総粒数は東部を除いて平年を上回った（東部は平年並）。一方、登熟歩合が平年よりやや低く、玄米千粒重は概ね平年並となったことから、粒厚分布は平年よりやや小さくシフトした。

なお、昨年に引き続きもち病発生（穂いもち）が多かったものの、全県的な減収要因とはならず、作況指数は「105」とやや良であった。

品質では、うるち米の1等米比率が92.7%（平成27年1月末日現在）と全国第7位（東北では山形県に次いで2位）であった。主な落等理由は着色粒（斑点米カメムシ類）であった。

(1) 育苗期（播種盛期は平年並の4月15日、苗質は良好）

播種作業は、始期が平年より遅れた地帯が多かったものの、県全体の盛期（50%終了）は4月15日と平年並であった。

気温は育苗期間中を通じて平年を上回って経過した。苗質は、草丈が平年よりやや短かったが、充実度（風乾重/草丈）は平年を上回るなど良好であった。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年より2日早い5月17日、活着は概ね良好）

5月上旬は天候が良好に経過したため圃場の準備作業が順調に行われ、県全体の移植盛期は5月17日と平年並、終期は5月24日と適期内に田植え作業が終わった。

5月初旬に移植した圃場や移植直後の風で植え傷みが見られる圃場も一部にあったが、田植後は気温が高めに、日照時間が多めに経過し、活着は概ね良好であった。

なお、月降水量は平年並から少ない地域が多かったが、用水確保等に支障はなく、移植作業は概ね計画どおり行われた。

(3) 分けつ期（高温経過により生育は良好）

6月6日頃に東北北部が梅雨入り（平年より8日早い）して以降、日照時間は平年を下回る日が多かったが、気温は平年を上回って経過した。

このため、分けつ発生は旺盛で、各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査（6月16日及び6月25日の調査結果とも）では、各地域で草丈、茎数、葉数とも平年を上回った。

(4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重大・窒素吸収量やや少）

6月25日調査以降、各地域とも必要茎数は確保され、葉色が低下傾向であったこと、乾土効果による土壌中の窒素発現が期待できないと判断されたことなどから、幼穂形成期に「ひとめぼれ」、「あきたこまち」、「いわてっこ」は基準量窒素2kg/10aを上限に、「どんぴしゃり」は、窒素2kg/10aを基本として追肥指導を行った。

(5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は4日早い8月3日）

7月以降も引き続き平年に比べて気温が高く経過し、障害不稔等が懸念されるような気象条件とはならなかった。

幼穂形成期は平年より3日、減数分裂期は2日早かった（幼穂形成期7月9日、減数分裂期7月24日）。また、出穂盛期は8月3日と平年より4日早かった。

出穂期間は全般に良好な気象経過であったことから出穂・開花は良好であったが、8月上中旬は台風第11号や前線の影響で雨や曇の日が多かったため、出穂・開花の停滞した圃場も若干見られた。

(6) 登熟期～成熟期（登熟歩合は平年並）

登熟期前半の8月第2半旬から第6半旬にかけて、前線や気圧の谷の通過の影響により曇りや雨の日が続き、日照時間は平年より少なく、登熟は緩慢に進んだ。本年は、玄米品質の低下が懸念される高温条件とはならなかった。

9月1日に各普及センターで行った一斉調査では、県全体の沈下籾数歩合は85.2%（平年86.6%）と概ね平年並であった。

登熟期後半は、オホーツク海高気圧や寒気の影響で気温が平年を下回って経過したものの、日照時間は平年より多く、降水量は少なかった。

水稻生育診断圃における成熟期は、平年より1日遅い9月18日であった。

(7) 刈取期（刈取盛期は平年より4日早い9月30日）

収穫作業は平年を上回る進捗で進み、刈取盛期は平年より4日早い9月30日であった。

(8) 収量（作況指数105）

全県で穂数は平年を上回り、一穂籾数は東部を除き平年より多かった。総籾数は東部で平年をやや下回ったものの、他地域では109～116%と平年を上回った。

登熟歩合が平年よりやや低く、玄米千粒重は概ね平年並であったが、粒厚分布は平年よりやや小さくシフトした。

(9) 品質（1等米比率92.7%と全国第7位。落等原因は斑点米カメムシが1位）

平成27年10月末日現在、うるち米の1等米比率は93.7%と全国第5位（東北では1位）であった。

2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒(カメムシ類)」が50.4%（総検査数量に占める割合3.2%）、「形質(その他)」が13.4%（同0.8%）、「充実度」が10.0%（同0.6%）であった。

品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が94.1%、「どんぴしゃり」が92.5%、「あきたこまち」が94.4%、「いわてっこ」が90.8%であった。（平成27年10月末日現在）

(10) 病害虫の発生（葉いもち平年並・穂いもち多、斑点米カメムシ類多（斑点米平年並））

葉いもちの発生は、補植用取置苗での発病が北上、胆江地域を中心に多かったものの、6月下旬から7月上旬にかけての感染好適条件の出現が少なく、平年並であった。

一方、穂いもちは8月が降水量・降雨日数ともに多く、感染に好適な条件となったため発生が多くなった。穂いもち発生は、地域間差が大きく、特に北上、胆江、遠野地域で多く、これらの地域では、葉いもちの発生が見られない場合でも、穂いもちの被害程度の高い圃場が散見された。

斑点米カメムシ類の発生は、7月までの高温傾向により発生時期は早まり、発生量も多かったが、8月の降雨により減少傾向に転じ、9月中旬調査の発生圃場率は平年並となった。

斑点米の発生は、割れ籾率は平年並であったが、過去5年間では最も低かったことに加え登熟が緩慢に進み、割れ籾の形成時期が遅れたことから平年並となった。

一方、降雨により適期防除されなかった圃場や本田内に雑草があったところで多発生圃場も散見された。

2 畑作物

(1) 小麦

ア 26年産小麦（25年播種）

（ア）越冬前

主産地である県中南部を中心に、播種適期である10月中下旬に平年を大きく上回る降水があった。全体に越冬前は11月中旬を除き、平年と比較するとやや気温が高めに推移した。

このため小麦播種は10月に入ってからの断続的な降雨により終了が遅れた。出芽後の生育は全体に順調だったが、降雨による湛水等で出芽不良の圃場が散見された。越冬前の生育は平年より3～5日程度遅かった。

(イ) 越冬後

農研センター圃場における根雪期間は、12月20日から3月24日までの94日間（アメダス北上では12月27日から3月22日までの86日間）であった。これは極端な少雪年を除く過去10年の平均である81日（アメダス北上では78日）より13日（アメダス北上では8日）長かった。

県南部の生育は平年並み～やや早となったが、中北部および西部では3月の降雪により生育が遅れた。

(ウ) 生育期

4月上旬～下旬にかけて気温が平年より低く経過し、また、降水量がほとんどなかったことなどから全体に生育量は小さかった。

(エ) 出穂～収穫

4月下旬以降、平年に比べ気温がかなり高く経過したことから、出穂・開花は平年並み～3日程度早まった。4月中旬から6月はじめまで、降水量が平年に比べかなり少なく、干ばつ傾向となった。全体に生育量が小さく、葉色は濃く経過した。

6月23日頃から岩手中央農協管内および岩手ふるさと農協管内から収穫が始まった。7月1日で5割程度の刈取進捗で平年より3日程度早かった。県北部等は台風通過後の7月11日以降から始まり、第3週末まで実施された

(生育診断圃を中心とした成熟期調査結果)

- ・出穂 ナンブコムギは平年並、ゆきちからは5日程度早い。
- ・成熟 ナンブコムギは平年並～やや早い、ゆきちからは4日程度早い。
- ・稈長 ナンブコムギは10～15cm程度短い、ゆきちからは5cm程度短い。
- ・穂長 ナンブコムギは1～1.5cm程度短い、ゆきちからは0.5cm短い。
- ・穂数 ナンブコムギは生育期間を通して少なく6割程度、ゆきちからは1～2割程度少ない。

干ばつ等により収量は伸び悩み、県平均収量は10a当たり平均収量対比92の162kg/10aに留まった。

(オ) 病害の発生（病虫害防除所調査結果より）

- ・雪腐病：県北部でかなり発病程度の高い圃場が散見されたが、発生圃場率は平年並み。
- ・縞萎縮病：散発的に発生が見られるものの、発生程度、発生圃場率とも平年より低かった。平年に比べ病徴の発現が遅く、4月中旬以降に発病が目立った。
- ・赤かび病：巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった。これまで最も低かったH21年並に低い。
- ・赤さび病：巡回調査では平年より低い。
- ・うどんこ病：巡回調査では発生は確認されていない。

表1 小麦の品種別検査成績（平成26年12月31日現在、（ ）は25年産の値）

品種名	区分		26年産 (25年産)	品種名	区分		26年産 (25年産)
ナンブコムギ	検査数量(t)		2,887 (3,428)	ゆきちから	検査数量(t)		2,833 (3,498)
	等級 比率 (%)	1等	81.5 (46.4)		等級 比率 (%)	1等	96.5 (75.1)
		2等	17.4 (15.7)			2等	3.5 (6.2)
		規格外	1.1 (37.9)			規格外	0 (18.6)

イ 27年産麦（26年播種）

播種は県南部を中心に9月下旬から始まり、10月に入ってから台風や断続的な降雨により播種作業が遅れた所も見られたが、播種終期は概ね平年並となった。適期播種の麦については出芽後の生育が概ね順調な一方、晩播は12月初旬の雪が根雪となり生育量が不足傾向となった。

(2) 大豆

ア 播種～本葉展開期

播種は概ね適期に実施され、出芽も良好であった。6月の記録的高温、小雨により生育は順調で湿害の発生は少なく、中耕培土も順調に実施された。

イ 開花期

本年度は梅雨時期の降雨が少なかったこと、ディスク中耕の普及などにより中耕培土の実施率が高く、生育は開花まで順調であり、開花期は平年よりやや早まった。

全体に主茎長が長く、生育量は多めであった。

ウ 莢伸長期～成熟期

8月中～下旬の低温・長雨・日照不足により、蔓化・倒伏がナンブシロメ・リュウホウを中心に広く発生した。一方、9月の日照が多めで早期落葉なども見られず、登熟は順調に進んだ。10月上旬に台風の接近があったが被害は限定的であり、広域で被害をもたらす災害等の発生は見られなかった。

青立ち株の発生が目立ち、茎水分の低下が緩慢であり、成熟は平年よりやや遅れた。収穫の開始は平年よりやや遅かったが、集荷・検査は概ね平年並の時期に行われた。

エ 病害虫の発生

- ・ 紫斑病 : 子実調査による紫斑病の発生圃場率は平年よりやや少なく、発生量もやや少なかった。
- ・ ベと病(べと病類似症状を含む) : 子実調査によると発生圃場率は平年よりやや高かった。
- ・ モザイク病(褐斑粒) : 子実調査では発生は認められなかった。
- ・ マメシンクイガ : 収穫期の子実調査によると、発生圃場率は平年並であったが、一部で発生程度の高い圃場が見られた。
- ・ カメムシ類 : 収穫期の子実調査では、発生圃場率は平年に比べやや高かった。

オ 収量及び品質

生育前半の気温が高く経過したこと、湿害の発生が少なかったことなどから生育量が大きくなったものの、8月中下旬の日照不足と長雨により、着莢数が制限され収量は伸び悩んだ。登熟は9月の日照に恵まれ、また、適度な気温経過により概ね順調に進んだ。着莢数が制限された一方、登熟が良かったため百粒重は大きく、また、一部では裂皮も発生した。青立ちの発生等のためやや刈遅れ傾向が生じ、リュウホウを中心にしわ粒が見られたが、紫斑粒の発生などは少なく、全般に品質は平年より良好であった。

平成27年4月24日現在の収量は、県全体で136kg/10a（農林水産省発表）となった。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では定植後7月まで少雨乾燥傾向が続いたことにより、一部初期生育が緩慢で生育抑制気味の圃場も見受けられたが、全般に順調な生育で同時期の前年の出荷量を2割ほど上回った。しかし、8月上旬の低温、日照不足により生育や果実肥大が緩慢となり、9月中旬以降は夜温の急激な低下等もあり、10月には収穫終了となる圃場が多かった。灌水施設を整備し、初期の乾燥時に適切な水管理を実施した圃場においては、10月下旬まで収穫が継続された。

病害虫では生育前半の病害発生が非常に少なかったが、8月のまとまった降雨により各種病害が多発し、特にべと病と炭疽病の発生が多く見られた。害虫では6月下旬頃からアブラムシの発生が多く、一部ウイルス病の発生も見られた。キュウリホモプシス根腐病については、発

生圃場面積は昨年より多かったものの、圃場における被害率はここ数年で最も低くなり、早期被害リスクの把握による総合防除対策が浸透しつつある。

収量は前年比117%、全体出荷量も113%といずれも一昨年並に回復した。

(2) トマト

4月中旬の低温の影響から、一部で低段果房に障害果の発生が見られたものの、概ね生育は順調に推移した。6～7月も好天となり、出荷が例年より前倒しで進んだが、着果負担の影響からやや草勢が弱い圃場が多く見受けられた。8月以降の低温、日照不足の影響から果実肥大が緩慢になり、9月には夜温の急激な低下により裂果などの障害果が増加し、出荷量も減少したが、例年に比べ10月末まで収穫を行う圃場が多い傾向であった。

病害虫では、6月下旬から灰色かび病が発生したほか、6～7月の高温乾燥の影響からアブラムシやアザミウマの発生が例年よりやや多い傾向だった。土壌病害では、高温期を中心に青枯病、かいよう病の発生が見られた。

収量は前年比110%と過去5年間では最も高くなり、全体出荷量も108%となった。

(3) ピーマン

施設作型では、4月中旬の低温の影響により、生育の停滞や凍害を受けたところもあったが、4月下旬以降は高温に経過したことから生育は回復した。

出荷開始は平年並からやや早まったが、乾燥による尻腐れ果が6月の出荷初期から多発したほか、露地作型では圃場の乾燥による生育の停滞も見られた。

7月以降は、整枝管理の遅れや着果負担の増加により草勢の低下する圃場も目立ち始め、出荷量は多かったものの、8月に入ると成り疲れの影響が見られ、下旬以降は気温の低下や降雨の影響により、赤果やひび割れ果の発生が増加し、腐れのクレームも目立った。

病害虫は、6月以降アブラムシの発生が増加し、それに伴うウイルス病（CMV）の発生も見られた。タバコガは7月以降発生が確認され、一部発生の目立つところも見られたが、昨年と比べると被害は少なかった。病害の発生は、6月上旬に斑点病・疫病の発生が散見され、下旬以降は灰色かび病・青枯病の発生も見られた。

7月下旬以降、斑点病・青枯病の発生圃場では増加傾向となり、9月に入ると草勢の低下とともに斑点病の多発圃場が見られた。

収量は前年比106%、全体出荷量も前年比103%と昨年を上回った。

(4) ほうれんそう

例年よりも融雪が遅く、播種開始時期は例年に対して10～14日程度遅れた。また、3月の大雪により、久慈地域を中心にハウスが倒壊し、出荷量低下の大きな要因となった。5月以降は天候が安定し順調に生育した。一時期、乾燥による生育停滞も見られたが、6月の降雨により概ね回復した。7月は生育停滞や高温障害などが一部で見られたが、例年よりも生育は順調だった。一方で8月中旬以降は曇雨天が続き、軟弱株が多くなった。9月以降は概ね順調に生育した。

病害虫は萎凋病が7月以降発生した。ケナガコナダニは4～6月にかけて、また、アブラムシが6～7月に平年並に発生した。

生食用露地ほうれんそうの春どりは順調に収穫できた地域がある一方、生育初期の乾燥による生育不良や収穫期の降雨によるトロケや黄化により十分な収量を確保できない地域もあった。秋どりは天候に恵まれ収量を確保する地域が多かったが、一部地域では台風による葉のスレやべと病の発生が見られた。

(5) ねぎ

定植は概ね順調に行われたが、4～5月の乾燥傾向により全体的に生育が停滞ぎみとなった。6月は降雨により全体的に生育が回復したが、一部地域では乾燥による影響が続いたほか、降雨による湿害も見られた。7月は概ね順調な生育となったが、べと病、黒斑病、ネギアザミウマなどの被害が見られた。8月以降は降雨が続いたために防除作業が遅れ、べと病、さび病、黒斑病、葉枯病の発生が各地で確認された。収穫は概ね順調に行われたものの、平年よりも早く12月上旬に根雪となったことから、一部地域で収穫できない圃場が見られた。

(6) キャベツ

雪解けは平年並で、県北部では4月中旬から定植が開始された。生育は5～6月にかけては少雨の影響で生育遅れや、小玉傾向となった。その後の降雨により7月の生育は概ね順調に推移したものの、8月以降は降雨、日照不足が続き、不揃いや小玉傾向となった。9月以降は気温の低下に伴い生育が緩慢となり小玉傾向となった。

病害虫では7月～8月にかけて株腐病、べと病が平年よりも多く発生した。また、ジアミド系殺虫剤抵抗性コナガが発生し、被害が見られた。

(7) レタス

雪解けは平年並で、順調に定植が開始された。県中部の春レタスは概ね順調な生育となった。県北部の定植は平年並の4月中旬から始まった。5月の乾燥により生育停滞が見られたものの、本格的な出荷は平年並の6月上旬となった。7月の生育はべと病の発生があったものの概ね順調に生育した。8月は台風11号の通過後に腐敗性病害が発生し、9月前半まで収穫に影響した。9月後半以降は腐敗性病害が減少したものの、低温により生育および結球が停滞し、10月で収穫終了となった。

(8) だいこん

高冷地での播種作業は平年並の4月下旬から開始された。5月が乾燥のため初期生育の停滞が見られたが、6月に入り概ね生育は順調となった。一方で6月の降雨により一部播種できない時期があった。7月以降の生育は比較的順調に推移し、7月前半から出荷が開始された。8月は長雨となり、播種ができない時期や出芽の不揃いがあった。また長雨により防除間隔が空いたため、平年よりもカブラハバチ、キスジノミハムシの被害が多くなった。10月は害虫被害が減少し、概ね順調な出荷となった。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育期

萌芽・展葉期は平年並からやや早い地域が多かったが、展葉後、降雨が少なく圃場が乾燥したため初期生育に遅れがみられた。5月以降、気温が平年より高く経過し、適度な降雨量もあり、草丈は平年並からやや進んだ生育となった。また、側芽発生期は平年並からやや早くなった。

イ 開花期

極早生種は平年並の6月中旬に開花が始まった。早生種の開花は平年並からやや早い開花となる地域が多く、概ね8月上旬に開花盛期となった。「マジエル」など一部の品種では花卉の着色不良や開花遅延などの高温障害の発生がみられた。

晩生種は早生種同様、平年より開花がやや早く、9月上～中旬に開花盛期となった。また、極晩生種も平年より早い開花となった。

ウ 病害虫

主要病害である葉枯病、褐斑病、花腐菌核病は平年より少ない発生となった。一方、7月以降、県内各地で黒斑病の発生がみられ、8月に急増する地域が多かった。

害虫ではハダニ類の発生が早く、県北部でも5月中から発生がみられ、8月上旬まで多い傾向が続いた。リンドウホソハマキは、平年並からやや早い発生となり、発生量は平年よりやや多い傾向にあったが、薬剤防除により被害は少なく抑えられた。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

8月咲品種は、一部の地域で挿し芽後の発根や圃場づくりの遅れがみられたが、平年並の4月下旬から5月上旬に定植された。定植後の生育は、低温や圃場の乾燥の影響でやや緩慢であった。

一方、9月咲品種は、平年並の5月下旬から6月上旬に定植となり、概ね良好な初期生育となった。

イ 生育期・開花期

8月咲品種は初期生育の遅れや生育期間中に降雨が少ない地域が多く、草丈はやや短い生育となった。開花期は平年よりやや早くなったが、概ね8月上旬の盆需要期に出荷となった。

9月咲品種は定植後から概ね順調な生育となり、草丈、ボリュームとも十分に確保できた。生育期間中に気温が高く経過したことで平年より生育が前進したが、概ね9月上旬～中旬の彼岸需要期に出荷となった。

ウ 病害虫

主要病害では、白さび病が親株や育苗時からみられ、定植後も発生が続いた地域が多く、出荷量が減少する要因となった。

害虫ではアブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の発生が多くみられた。オオタバコガは7月以降、県内各地で発生が確認されたが、発生は少なく被害も少なく抑えられた。一方、一部の地域でカメムシ類やキクヒメタマバエの被害が発生した。

5 果樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

平成26年産りんごの花芽の状況は、花芽率を県平均で見ると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年より高めとなった。一方、「ジョナゴールド」では一部地域で平年以下となっており、地域的なバラツキもみられた。また、弱小花芽率は、県平均と比較すると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年より低い、県中南部で平年より高い地域も認められた。

近年、生育期の高温が顕著であり、平成25年も11月まで気温が高い状態が続いていたが、花芽形成期である7月の気温が低く推移したことにより、花芽率は平年より高くなったと推察された。弱小花芽率は平年より低い値となったが、「ジョナゴールド」や「ふじ」で平年より高いなど地域差が認められた。平成25年は花芽形成期以降の気温が高めで推移したことや8月の集中豪雨と9月、10月の台風等で降水量が多くなったことにより、窒素分が樹体に吸収され、果実のデンプンや地色の抜けが悪くなった。これにより収穫作業が遅れ、花芽の充実が劣り、地域的に弱小花芽率が高くなったと推察された。

イ 発芽～展葉期

3月下旬から4月上旬まで気温は高めに推移したため、発芽は平年より2日前後早くなった。4月中旬の気温は平年より若干低くなったものの、展葉は、平年並から2日前後早く推移した。

ウ 開花期および結実の状況

4月中旬以降は平年よりやや高めの気温となったため、開花は「ふじ」で平年より3日前後早くなった。「つがる」や「ジョナゴールド」も同様の傾向となった。

開花中、好天に恵まれたため、概ね結実は良好であったが、中心果を始め結実率が劣る品種、地域が見られた。結実が低下した要因として、4月12～14日、17～20日の低温（降霜等）、花芽不良、開花中の強風による訪花昆虫の活動不良等が考えられた。また、収量への影響は少なかったものの、果軸の変形やサビ果が多く発生した地域がみられた。

エ 果実肥大

開花が早かったため、6月1日現在の果実肥大はいずれの品種も一部例外はあるものの、平年の100～120%台であった。その後、ゲリラ豪雨的な雨はあったものの全般的に7月まで降水量が少なく、果実肥大が鈍化し、収穫時期の肥大状況はほぼ平年並となった。また、土壌水分の急激な変化により樹が衰弱したり、4月の降霜により側果を着果させている園地では肥大が劣る傾向がみられた。

オ 収穫期および果実品質

早生種の糖度は平年よりやや高めとなった。硬度、デンプン指数については9月1日調査までは平年並であったものの、9月11日調査では一気に成熟の進む地域が多かった。8月下旬には天候が回復し、夜温が下がったことから、着色、成熟が一気に進む傾向が見られた。

8月に入り、降水量が急激に増えた地域が多かったため、「きおう」につる割れを伴う収穫前落果が多めに見られた地域があった。

「ジョナゴールド」については、「つがる」同様、糖度は平年よりやや高めで硬度、デンプン指数は平年並となった。ただし、地域によってはデンプンの抜けが一気に進んだ地域も見られた。全般的に着色は良好であったものの、樹勢によっては着色が遅れた園地も見られた。

「ふじ」の糖度、蜜入り指数は平年よりやや高めで、硬度、デンプン指数は平年並となった。蜜入りが良好な傾向があったため、越年販売の際の果肉褐変の発生が懸念されたものの少発生であった。「シナノゴールド」で、果頂部からがくあ部にかけての大きな裂果が散見された。収穫前の降雨が影響したものと思われる。

5月19日に二戸地域、5月30日に遠野地域、6月16日に軽米町、奥州市などで降雹があり、果実の損傷が発生した。

収穫期の強風害では、8月10～11日の台風11号、10月6日の台風18号、10月14日の台風19号、10月17日の季節風などにより落果や倒木の被害が認められた。

カ 病害虫

県南地区を中心にハダニ類、斑点落葉病の発生がみられたものの全般的に病害虫の発生は少なかった。6月まで非常に少雨だったことが一因であると思われる。

一方、春先から収穫時期まで、カメムシ類の園地飛来が多くみられ、果実への吸汁被害も散見された。越冬量は少ないと考えられていたが、スギ花粉の飛散量が少なく、カメムシ類の餌となるスギの球果が不作だったことで果樹園への飛来が多くなったと考えられる。

キ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績(平成26年3月上旬時点)から、数量で前年対比110%となった。これは、開花の早まったことで初期の果実肥大が良好となり、平年並の果実肥大となったためと考えられるが、平成25年の数量は非常に少なく、平成26年も平年より少ない数量となっており、4～6月の干ばつによる樹勢低下と果実肥大の鈍化が影響したものである。

販売単価については、前年比105%となった。全国的に大きな気象災害がなく数量が確保され、単価は厳しい経過をたどったものの、生産量増により販売額が増加したと思われる。

(2) ぶどう

ア 発芽期～展葉期

4月下旬から5月上旬にかけて気温が高めで推移したため、発芽及び展葉が平年より2日程度早まった。

イ 開花期～結実期

4月下旬以降は気温が高めに推移したため、定点観測地点の満開期は平年より10日早くなった。一方、高めの気温により、新梢伸長が旺盛になり、6月まで干ばつが続いたこと等により若干の花振るいが見られ、結実率は平年を下回った。

ウ 新梢伸長期

発芽から開花まで生育が早まったことにより、新梢長は平年の120%でのスタートとなり、6月いっぱいまで平年を上回る新梢長となった。しかし、4～6月の乾燥等により、樹勢が弱まり、最終的な新梢長は平年の82%となった。

発芽から開花まで一気に生育が進んだことから、房長は平年より小さめとなったものの、果粒肥大は初期肥大量が多かったため、生育期間を通して平年値を上回った。

エ 収穫期

「キャンベルアーリー」、「紅伊豆」、「サニールージュ」等品種全般に着色はやや早く、収穫時期の着色も良好であった。

8月は日照不足となったが、生育期間を通して概ね気温が高めで推移したため、糖度は平年より高めとなった。収穫期前(9月)に降水量が少なくなり、日照時間も回復も一因と思われる。

8月の降雨により、「サニールージュ」等で若干の裂果が見られた。

オ 落葉期

9月以降も気温は平年並となったため、落葉は平年並だった。

新梢の登熟程度は、概ね平年並だった。

カ 病害虫

6月までは降水量が少なかったため、灰色かび病の発生は少なかった。一方、8月以降は降水量が多くなり、「サニールージュ」や「シャインマスカット」でべと病やさび病の発生が若干目立った。また、醸造用品種を中心にうどんこ病の発生も見られた。害虫の発生は全般的に少なかったものの、山間部ではトリバ類による果粒の食害がみられた。

キ 作柄評価

生産量は、系統取扱の出荷販売実績から、前年比90%の数量となった。これは、開花までの生育が一気に進んだことによる花振ると収穫期直前の降雨による裂果が原因と考えられた。

販売単価については前年比95%であり、概ね平年並みの単価が維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1番草

生育の遅早は平年並だったが、5月上中旬の少雨高温の影響で収量が低下した地域もあった。

イ 2番草

7月下旬は降水量が少なく、気温が高かったため夏枯れの圃場が見られた地域もあった。一方、5月下旬に1番草収穫が終了した圃場は6月上旬の多雨により生育が良好となった。県内全体の生育状況および収量は平年並であった。

ウ 3番草

7月下旬～8月上旬で気温が高く、8月に降水量が平年並みから多かったため、収量は平年並～良であった。9月上～中旬に収穫が開始された。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

4月中旬以降晴天が続く、播種作業は、概ね平年並に進んだ。生育遅早は前半に平年並～やや早いとなったが、後半は平年並となった。

イ 収穫期

黄熟期到達は9月の気温が平年より低く推移したため、やや遅れ～平年並となった。収量は平年並～やや良となった。

ウ 局地的に生じた障害等

沿岸部の一部地域ではやませの影響で日照不足が続く、生育が不良となった。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

4月まで低温が続いたため、芽切りは平年より遅かった。また、4月下旬から5月上旬にかけての急激な気温上昇と降雨で一気に収穫のピークとなり、品質の低下が見られたことから、昨年より少ない生産量となった。

(2) まつたけ

7月以降、気温が平年より高めに推移し、8～9月の降水量は、平年より少なかったため、原基形成が進まなかったと思われる。9月の発生期になっても気温が高めであったことから、地温の低下が進まず、発生に必要な温度刺激が得られにくく、作柄は全般的に不作であった。

8 水産物

(1) 養殖わかめ(平成 26 年産)

養殖施設の復旧により生産の再開が進んだが、平成 26 年の春先に 5℃以下の冷水塊が接岸したことで生育不良が発生し、生産量は平成 25 年産を下回った。

(2) 養殖こんぶ

養殖施設の復旧により生産の再開が進んだが、平成 26 年の初夏の水温が高めに推移したことで生育不良が発生し、生産量は平成 25 年度を下回った。

(3) 養殖ほたてがい

養殖施設の復旧により生産の再開が進み、平成 24 年度に導入した種苗の成貝出荷が開始されたことで、生産量は平成 25 年度を上回った。

(4) 養殖かき

養殖施設の復旧により生産の再開が進み、平成 24 年度に導入した種苗の成貝出荷が開始されたことで、生産量は平成 25 年度を上回った。

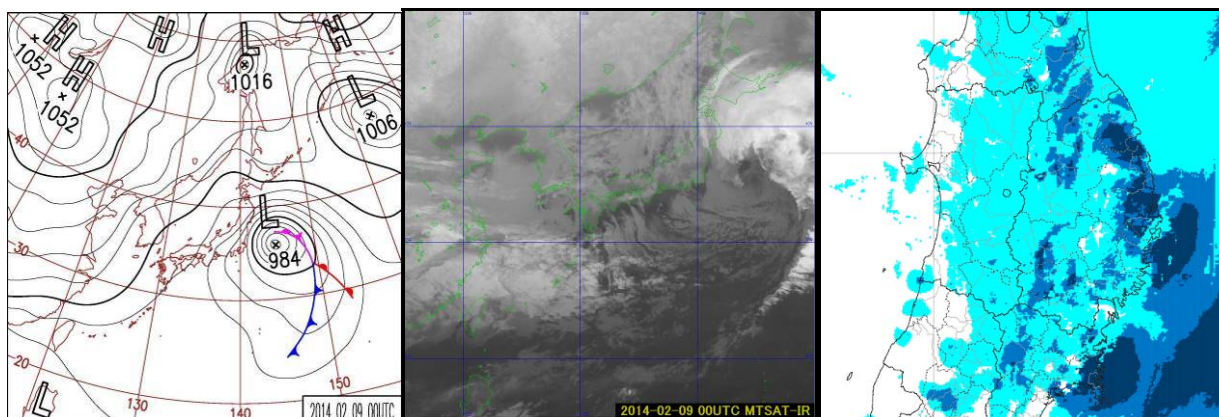
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 2月9日の大雪・波浪災害

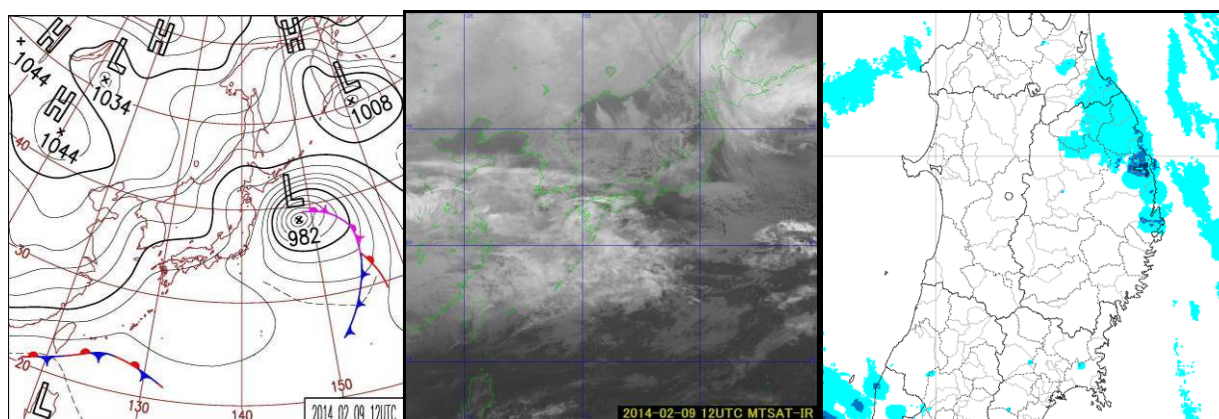
(1) 気象概況

2月9日は、発達した低気圧が三陸沖を北東へ進んだため、沿岸を中心に大雪となり、海上では大荒れとなった。

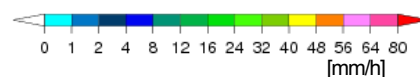
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量



2月9日 09時



2月9日 21時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（2月9日：岩手県）

地域	警報	注意報
沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	大雪、波浪	大雪、風雪、なだれ、波浪、着雪
内陸(平泉町除く)、住田町	—	大雪、風雪、なだれ、着雪
平泉町	—	大雪、風雪、着雪

気象情報
「大雪と暴風雪及び高波に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第7号まで発表

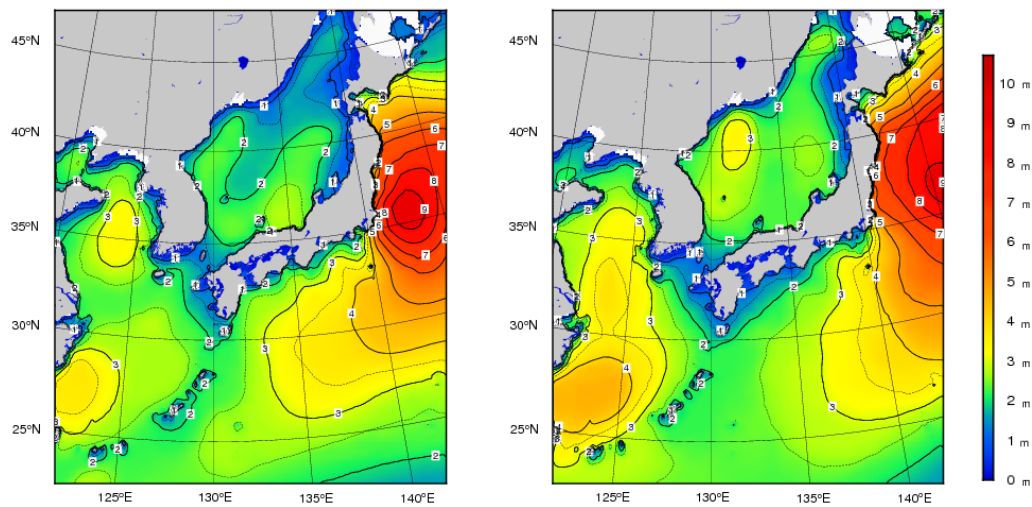
○ 2月9日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名		日最大風速		日最大瞬間風速	
		風速	風向	風速	風向
アメダス	紫波	10.8	北北西	16.1	北北西
	花巻	10.2	北	14.4	北
官署等	盛岡	9.0	北	14.5	北
	宮古	10.9	北北東	19.5	北
	大船渡	7.4	北西	13.7	北西

○ 2月9日の主な地点の日最深積雪と日降雪量【単位 cm】

地点名		日最深積雪	日降雪量
アメダス	岩泉	53	36
	久慈	44	26
	二戸	32	23
	北上	47	23
	祭時	161	19
	奥中山	72	15
	湯田	208	7
官署等	盛岡	16	9
	宮古	35	26
	大船渡	18	3

○ 沿岸波浪図（2月9日）



2月9日 09時

2月9日 21時

【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m 毎の実線と 0.5m ごとの破線（4m 未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

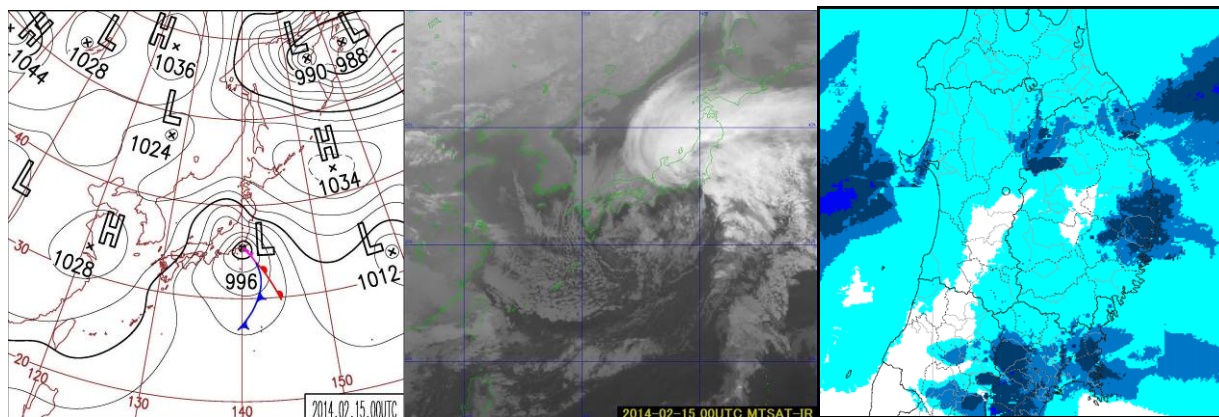
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	3,181	ほうれんそう 0.23ha、ブロイラー死亡 5,731羽	一関市
	農業施設	166,223	畜舎・パイプハウス倒壊等 276棟	一関市、金ケ崎町等 5市町
計		169,404		

2 2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害

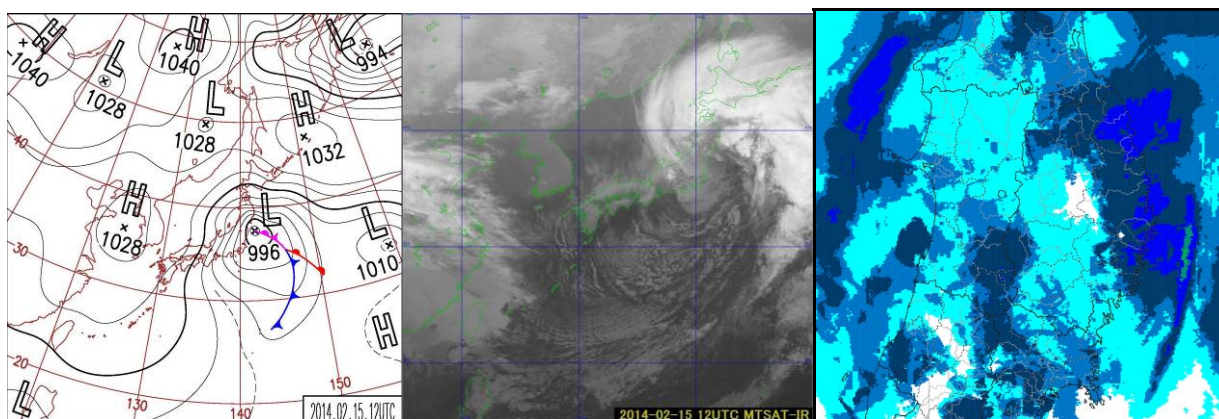
(1) 気象概況

2月15日から16日にかけて、発達した低気圧が関東の東から三陸沖を北上した影響により、岩手県では沿岸部を中心に暴風雪や大雪となり、海上では大荒れとなった。なお、この低気圧の影響により県内各地で住家損壊、交通障害、停電等の被害が発生した。

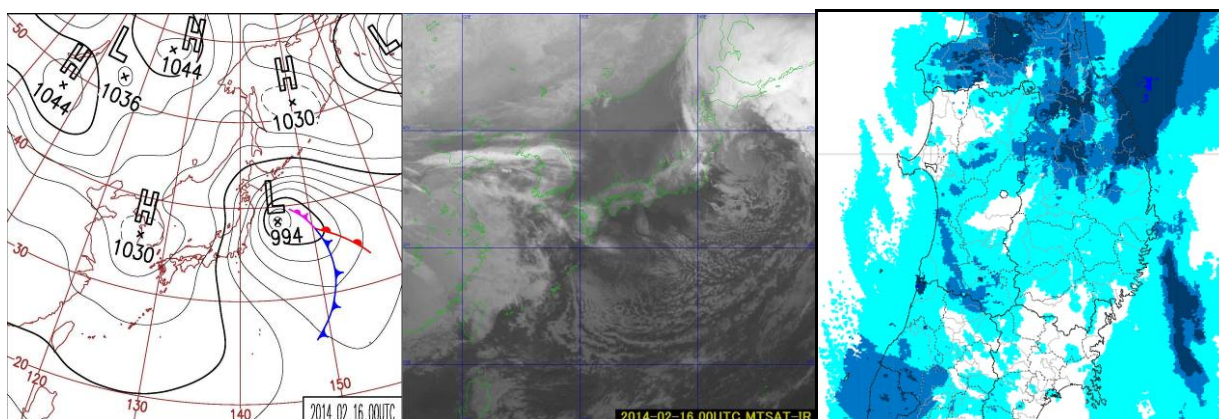
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量



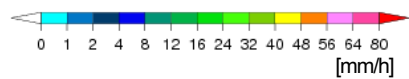
2月15日 09時



2月15日 21時



2月16日 09時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（2月15日～16日：岩手県）

地域	警報	注意報
宮古市、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	暴風雪、大雪、波浪	大雪、風雪、波浪、高潮、雷、濃霧、なだれ、着雪
久慈地域、田野畑村、岩泉町	暴風雪、大雪、波浪	大雪、風雪、波浪、雷、濃霧、なだれ、着雪
住田町	大雪	大雪、風雪、雷、濃霧、なだれ、着雪
盛岡地域、二戸地域、遠野市	大雪	大雪、風雪、濃霧、なだれ、着雪
花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市	—	大雪、風雪、濃霧、なだれ、着雪
平泉町	—	大雪、風雪、濃霧、着雪

気象情報
「大雪と暴風雪及び高波に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第7号まで発表

○ 2月15日～16日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	起日	日最大風速		日最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	紫波	16日	16.0	北北西	23.3	北北西
	花巻	16日	14.6	北	20.6	北
	江刺	16日	11.8	北北西	19.7	北北西
	住田	16日	11.3	西北西	21.1	北西
	岩泉	16日	10.8	東北東	22.5	東北東
	藪川	15日	10.1	東北東	20.0	北東
	区界	15日	9.7	東南東	19.3	南東
官署等	宮古	15日	8.9	北	20.5	北
	盛岡	16日	12.8	北	22.2	北
	大船渡	15日	13.2	北	28.0	北

※ 網掛けは2月としての極値更新（統計期間10年以上）

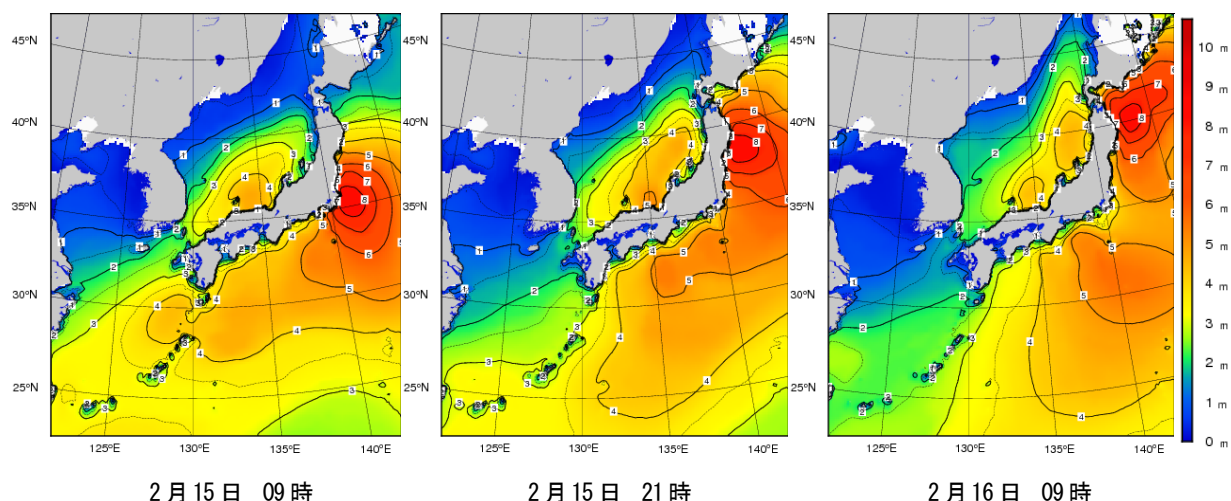
○ 2月15日～16日の主な地点の降雪量【単位 cm】

地点名	日降雪量		計	
	15日	16日		
アメダス	二戸	32	25	57
	久慈	23	21	44
	葛巻	35	21	56
	岩泉	42	8	50
	遠野	30	0	30
官署等	盛岡	12	9	21
	宮古	25	2	27
	大船渡	9	0	9

○ 極値更新状況（2月：統計期間10年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	統計開始年
久慈	cm	月最深積雪	1	70	2月16日	1989年
岩泉			1	77	2月16日	1992年
大槌	mm	日降水量	1	63.0	2月15日	2001年
岩泉		日最大1時間降水量	1	13.5	2月16日	1977年
大槌			1	8.0	2月15日	2001年
花巻	m/s	日最大風速	1	14.6	2月16日	2003年

○ 沿岸波浪図（2月15日～16日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m毎の実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

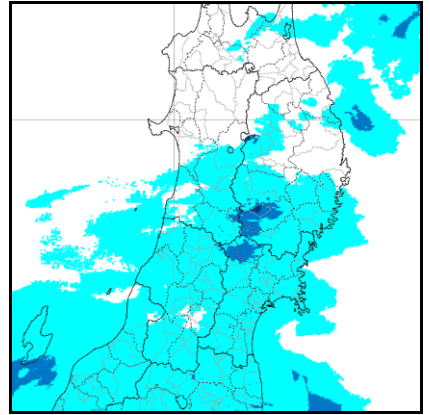
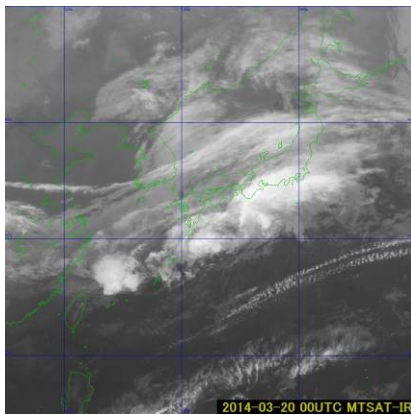
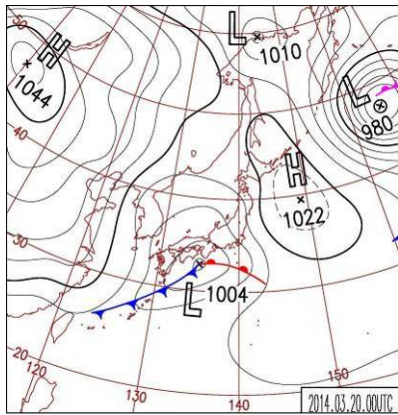
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	5,316	ほうれんそう等 1.59ha	軽米町、洋野町等 5市町
	農業施設	1,425,105	畜舎・パイプハウス倒壊等 753棟	軽米町、洋野町、久慈市等 18市町村
林 業	林業施設	29,743	しいたけ用ハウスの破損等 24棟	二戸市、洋野町、久慈市等 8市町村
	森林	592	私有林の倒木等 0.39ha	岩泉町、久慈市、遠野市
	林地荒廃	8,000	山腹崩壊 1箇所	久慈市
水産業	水産施設	840	水産荷捌き施設の破損等 3箇所	二戸市、久慈市、宮古市
	漁船	2,310	漁船の転覆等 6隻	山田町、大槌町
	養殖施設	6,201	養殖施設の破損等 24台	大槌町、久慈市、宮古市等 5市町村
	水産物	265,051	養殖物の落下 2,150 t	宮古市、大槌町
漁 港	漁港施設	180,300	防波堤の一部倒壊等 3箇所	山田町、陸前高田市、洋野町
計		1,923,458		

3 3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害

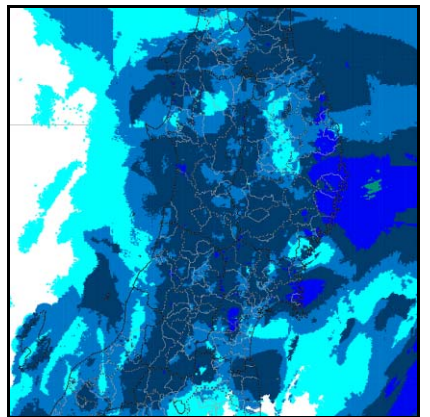
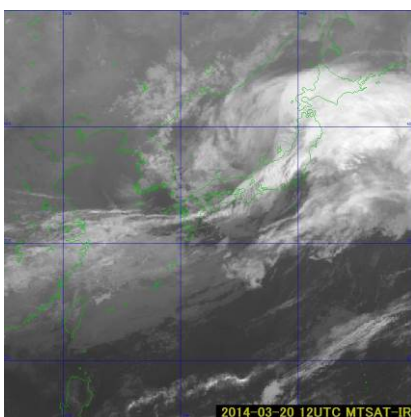
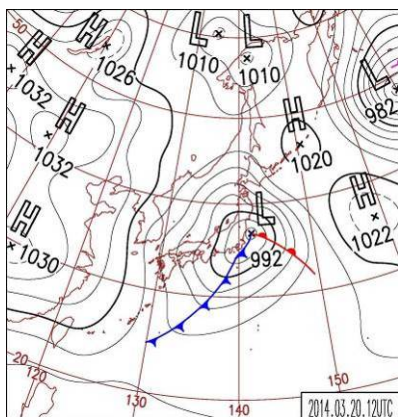
(1) 気象概況

3月20日から21日にかけて、東海道沖の低気圧が発達しながら三陸沖へ進み、北日本は強い冬型の気圧配置となり、沿岸を中心に暴風雪となった。沿岸北部では記録的な大雪となり、久慈では21日に日最深積雪62cmを観測し、3月としての極値を更新した。この低気圧の影響により県内各地で、交通障害、停電等の被害が発生した。

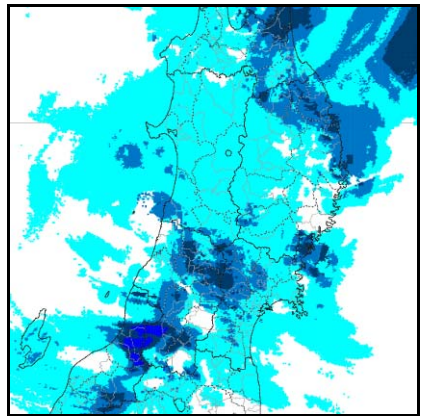
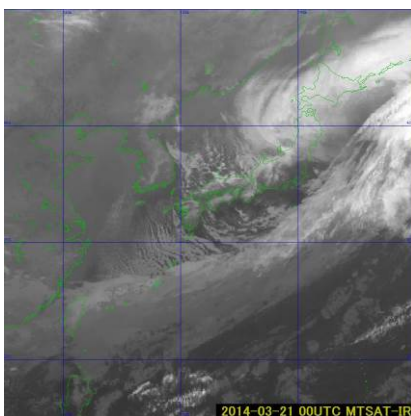
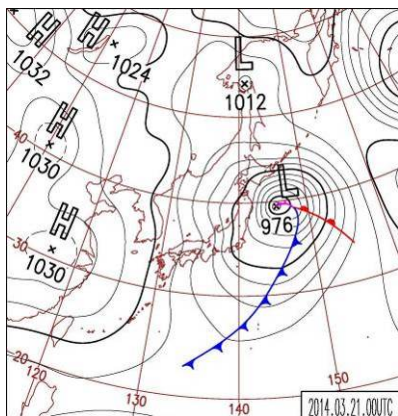
○ 地上天気図、気象衛星赤外面像、解析雨量



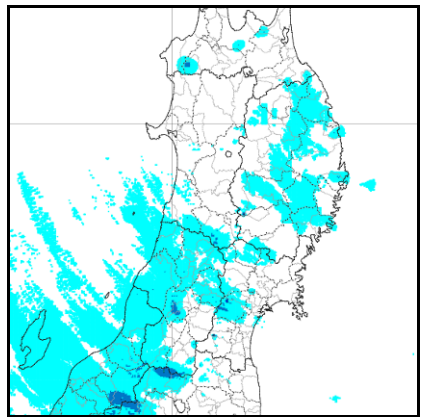
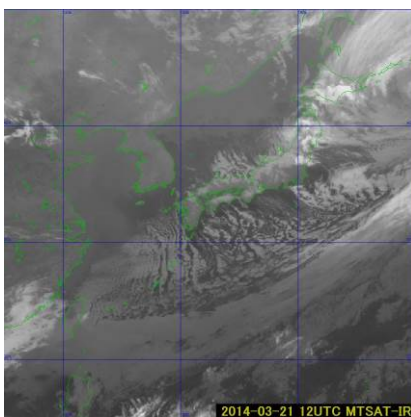
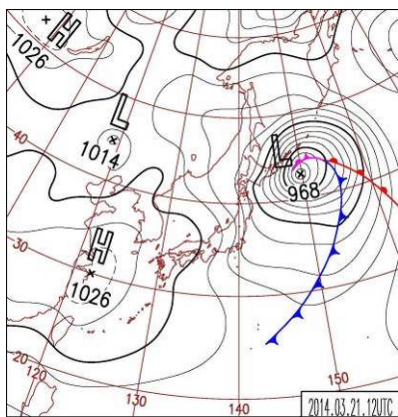
3月20日 09時



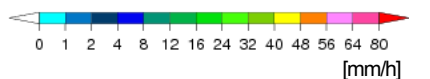
3月20日 21時



3月21日 09時



3月21日 21時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（3月20日～21日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩泉町、宮古市、山田町、釜石地域	暴風雪、 大雪、波浪	大雪、風雪、波浪、高潮、濃霧、 なだれ、着雪
久慈地域、田野畑村	暴風雪、 大雪、波浪	大雪、風雪、波浪、濃霧、 なだれ、着雪
大船渡市、陸前高田市	暴風雪、波浪	大雪、風雪、波浪、高潮、濃霧、 なだれ、着雪
二戸地域、盛岡地域、遠野市	大雪	大雪、風雪、濃霧、なだれ、着雪
花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市、住田町	—	大雪、風雪、濃霧、なだれ、着雪
平泉町	—	大雪、風雪、濃霧、着雪

気象情報
「大雪と風雪及び高波に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第5号まで発表

○ 3月20日～21日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	起日	日最大風速		日最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	小本	21日	7.8]	北東]	17.5]	北北東]
	雫石	21日	8.4	北東	15.1	北北東]
	区界	20日	8.6	東南東	15.8	南東
	紫波	21日	11.5	北北西	16.5	北西
	川井	21日	7.8]	南南西]	15.6]	南南西]
	花巻	21日	10.6	北	15.4	北
	湯田	21日	7.1]	北北西]	16.7]	北北西]
	遠野	21日	7.9]	西北西]	13.9]	西北西]
	若柳	21日	7.4	北北西	15.0	西北西
	江刺	21日	9.8	北西	15.9	北西
官署等	盛岡	21日	10.2	北	19.0	北
	宮古	21日	9.9	北北東	18.6	北
	大船渡	21日	10.3	北西	19.9	北西

記号の意味 値]：資料不足値。統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合。

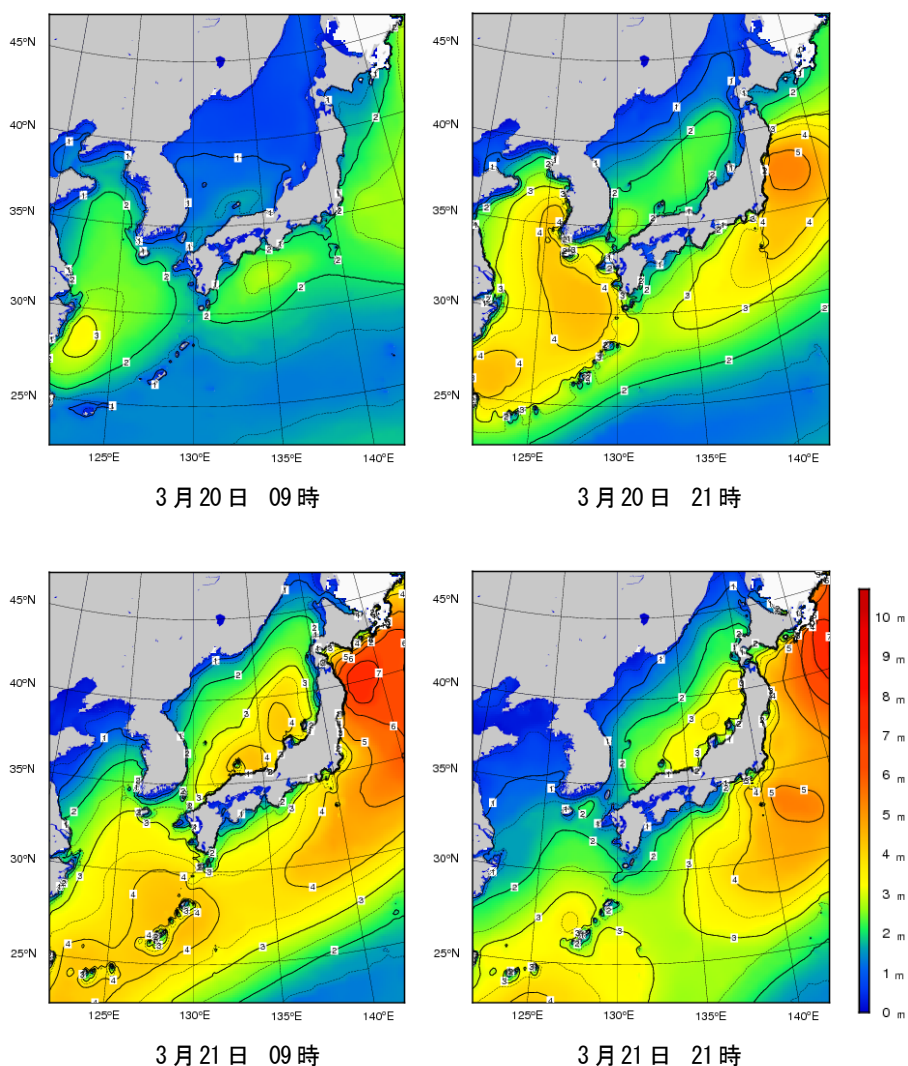
○ 3月20日～21日の主な地点の降雪量と最深積雪【単位 cm】

地点名	降雪量			最深積雪	
	20日	21日	計		
アメダス	二戸	12	39	51	63
	久慈	21	40	61	62
	奥中山	15	17	32	107
	岩泉	23	42	65	76
	遠野	21	7	28	23
官署等	盛岡	6	5	11	10
	宮古	27	25)	52)	51)
	大船渡	5	0	5	4

※ 網掛けは3月としての極値更新

記号の意味 値)：準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲（20%以内）で欠けている場合。

○ 沿岸波浪図（3月20日～21日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m 毎の実線と 0.5m ごとの破線（4m 未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

○ 極値更新状況（3月：統計期間 10 年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	統計開始
久慈	cm	月最深積雪	1	62	3月21日	1989年

(2) 被害状況

(単位：千円)

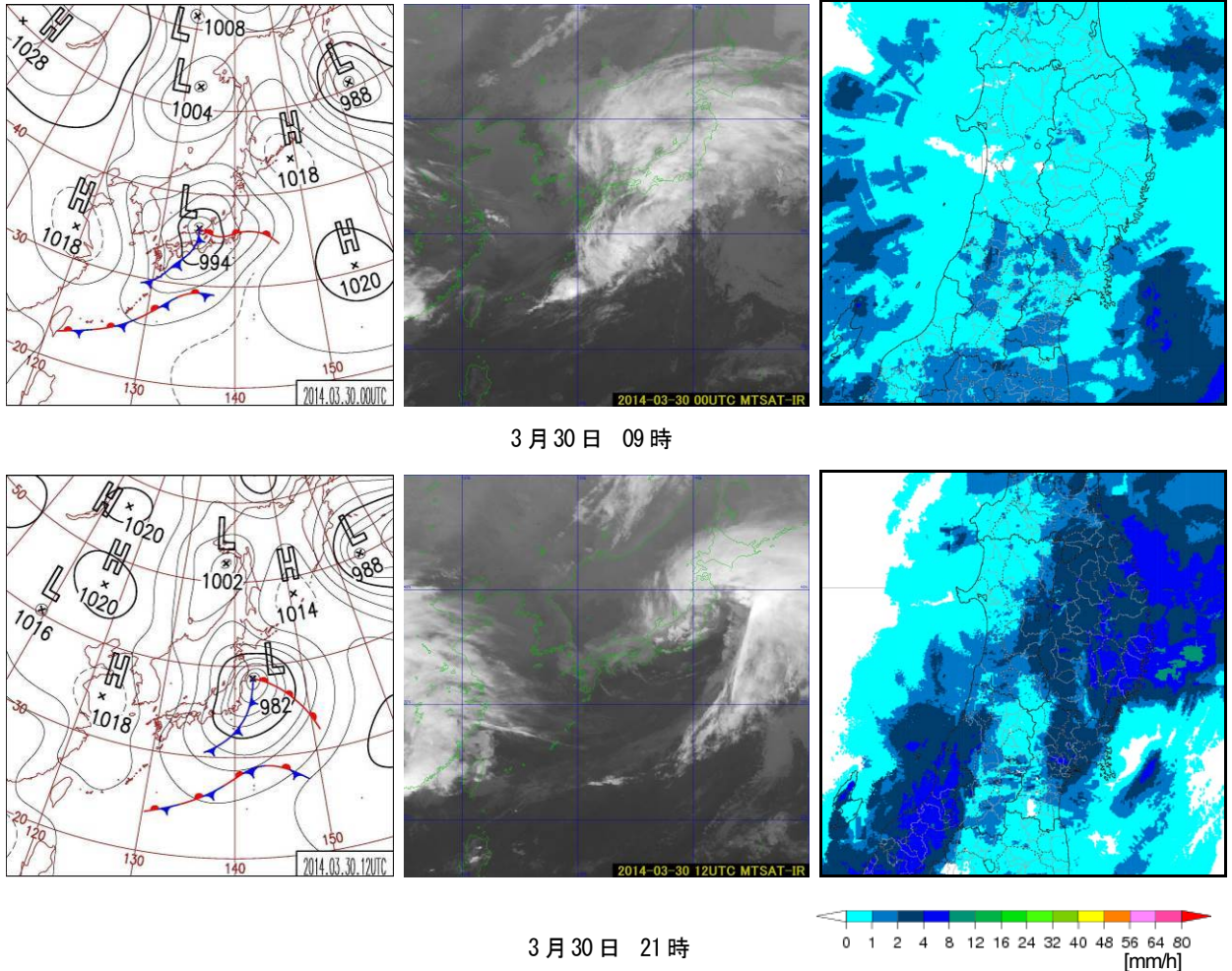
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	442	ほうれんそう 0.22ha、生乳 859 kg	久慈市、一関市、宮古市等 4市町
	農業施設	101,037	パイプハウス倒壊等 132 棟	宮古市、岩泉町、八幡平市等 14市町村
林業	森林	5,564	私有林の倒木等 2.71ha	山田町、宮古市
水産業	漁船	10,981	漁船の浸水等 18 隻	山田町、宮古市、大槌町等 4市町
計		118,024		

4 3月30日の暴風雪・波浪災害

(1) 気象概況

3月30日は、低気圧が発達しながら三陸沖を北へ進んだため、岩手県内は全域で雨や雪となった。低気圧の通過後は、冬型の気圧配置となり31日の明け方にかけて沿岸を中心に暴風雪となった。このため県内各地で、交通障害、停電等の被害が発生した。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（3月30日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩泉町、宮古市、山田町	暴風雪、波浪	大雪、強風、波浪、高潮、着雪、融雪、濃霧、なだれ
久慈地域、田野畑村	暴風雪、波浪	大雪、強風、波浪、着雪、融雪、濃霧、なだれ
釜石地域、大船渡市、陸前高田市	暴風、波浪	強風、波浪、高潮、洪水、融雪、濃霧、なだれ
二戸地域、盛岡地域	—	大雪、風雪、強風、着雪、融雪、濃霧、なだれ
住田町	—	強風、洪水、融雪、濃霧、なだれ
花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市	—	強風、融雪、濃霧、なだれ
平泉町	—	強風、融雪、濃霧

気象情報
「暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第5号まで発表

○ 3月30日～31日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速

単位：m/s

地点名	起日	日最大風速		日最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	岩手松尾	31日	10.1]	西北西]	16.8)	西北西)
	紫波	30日	14.8	北北西	22.5	北
	花巻	30日	14.7	北	21.1	北
	遠野	31日	10.6	西北西	17.8	北西
	江刺	31日	13.4	西北西	23.8	北西
	住田	31日	11.4	西北西	19.9	西
	千厩	31日	11.2	西	19.3	北北西
官署等	盛岡	30日	12.2	北	21.5	北北西
	宮古	31日	8.2	北北西	19.0	北北西
	大船渡	31日	14.4	北西	24.7	北

※ 網掛けは3月としての極値更新（統計期間10年以上）

記号の意味 値)：準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲（20%以内）で欠けている場合。
値]：資料不足値。統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合。

○ 3月30日～31日の主な地点の降雪量と最深積雪

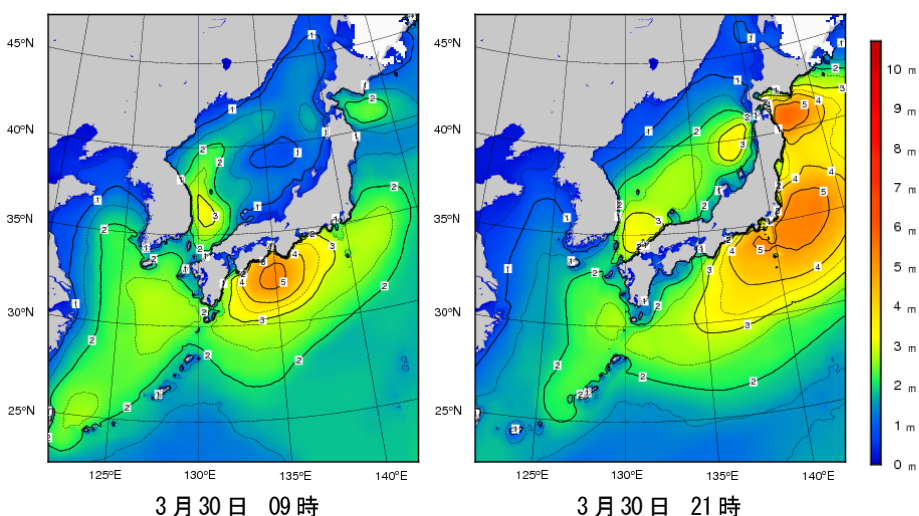
単位：cm

地点名		降雪量			最深積雪
		30日	31日	計	
アメダス	二戸	5	9	14	14
	久慈	3	7	10	9
	奥中山	13	4	17	56
	岩泉	0	4	4	4
	区界	5	5	10	59
官署等	盛岡	3	1	4	3
	宮古	0	1	1	1
	大船渡	0	0	0	0

○ 極値更新状況（3月：統計期間10年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	統計開始
大船渡	m/s	日最大風速	1	14.4	3月31日	1964年

○ 沿岸波浪図（3月30日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m毎の実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

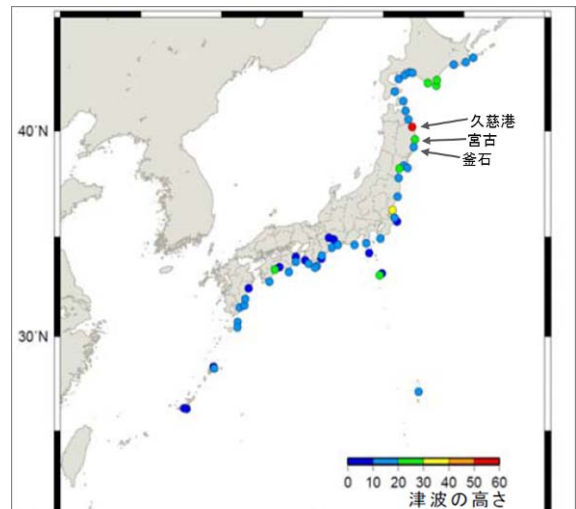
(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	120	パイプハウス損傷 3棟	奥州市
水産業	漁船	600	漁船の転覆 2隻	宮古市
	養殖施設	310	養殖施設の破損等 5台	大槌町、普代村
	水産物	1,490	養殖物の落下 5.4 t	大槌町
計		2,520		

5 4月3日の津波による災害

(1) 概況

4月2日08時46分(日本時間)にチリ北部沿岸の深さ20kmでマグニチュード8.1の地震が発生した。気象庁はこの地震に伴い、4月3日03時00分に北海道、東北地方、関東地方(茨城県、千葉県九十九里・外房)の太平洋沿岸、伊豆・小笠原諸島に津波注意報を発表した(同日18時00分に全て解除)。この地震により、国内では北海道から九州地方にかけての太平洋沿岸、沖縄県、伊豆、小笠原諸島で津波を観測した。岩手県では久慈港で55cm、宮古で21cm、釜石で19cmの津波を観測した。



国内の津波観測施設で観測した津波の最大の高さ

○ 岩手県の津波注意報の発表状況

発表日時分	内容
3日03時00分	津波注意報発表
3日18時00分	津波注意報解除

○ 岩手県の津波観測施設の津波観測値

津波観測施設名	所属	第一波到達時刻	最大波	
			発現日時刻	高さ(cm)
久慈港	国土交通省港湾局	3日06時 —	3日12時22分	55
宮古※1	気象庁	3日06時 —	3日19時02分	21
釜石	海上保安庁	3日06時 —	3日14時08分	19
大船渡	気象庁	3日 —	3日 —	—

注) 観測値は後日の精査により変更される場合がある
 所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検測した値
 ーは、津波波形が明瞭でないため値が決定できないことを示す
 ※1 臨時観測点である(従来の観測点の近傍に設置)

(2) 被害状況

(単位：千円)

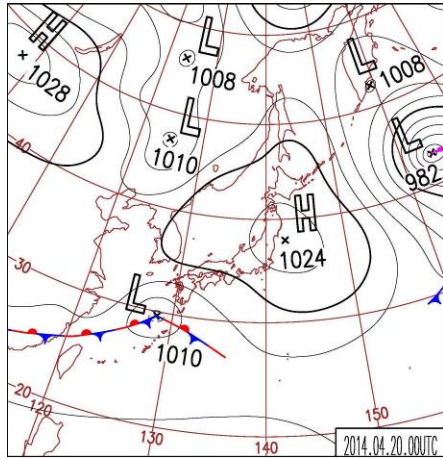
区 分		被害額	被害状況	被害地域
水産業	水産物	7,000	養殖物の落下 13 t	宮古市
計		7,000		

6 4月20日の降霜災害

(1) 気象概況

4月20日は、東北地方は高気圧に覆われて晴れたため、岩手県内は明け方に放射冷却により、最低気温が平年を大きく下まわった。

○ 地上天気図

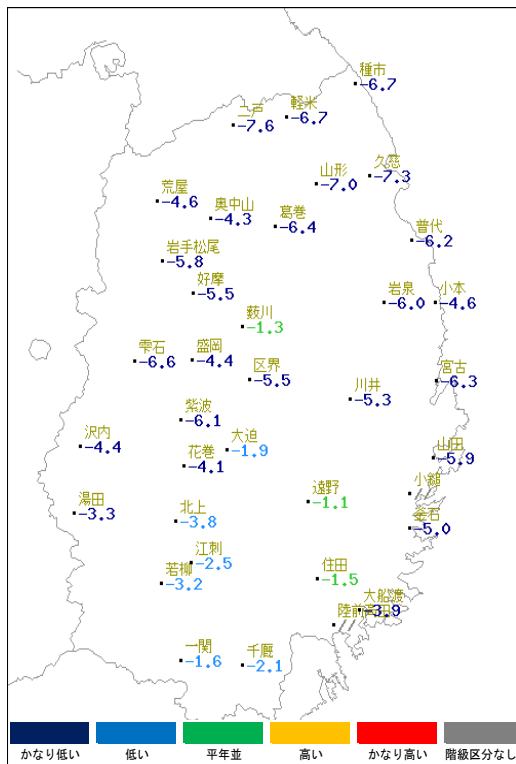


4月20日 09時

○ 霜注意報の発表状況 (4月20日：岩手県)

地域	注意報
岩手県	霜

○ 4月20日の日最低気温の平年差【単位℃】



○ 4月20日の主な地点の日最低気温と平年差

単位：℃

	地点名	実況値	平年差
アメ ダ ス	山形	-5.5	-7.0
	区界	-5.4	-5.5
	二戸	-4.8	-7.6
	葛巻	-4.8	-6.4
	軽米	-4.7	-6.7
	久慈	-4.3	-7.3
	雲石	-3.9	-6.6
	種市	-3.8	-6.7
	普代	-3.8	-6.2
	岩手松尾	-3.6	-5.8
	奥中山	-3.0	-4.3
	沢内	-2.9	-4.4
	山田	-2.9	-5.9
	荒屋	-2.7	-4.6
好摩	-2.7	-5.5	
官 署 等	岩泉	-2.6	-6.0
	盛岡	-0.5	-4.4
	宮古	-1.8	-6.3
	大船渡	1.3	-3.9

(2) 被害状況

(単位：千円)

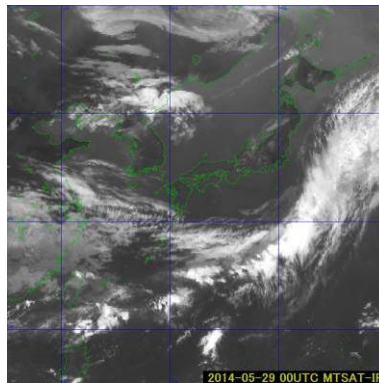
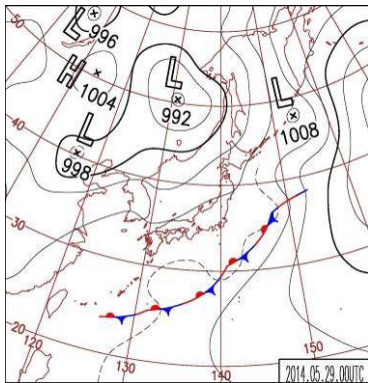
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業			
農畜産物	10,379	おうとう 6.80ha	二戸市、一戸町
計	10,379		

7 5月29日及び30日の降雷災害

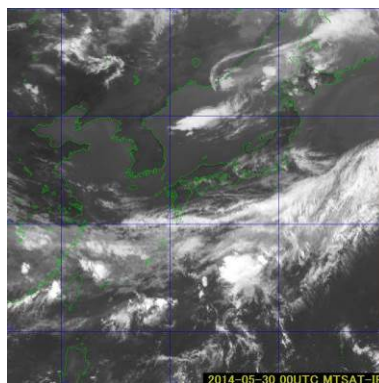
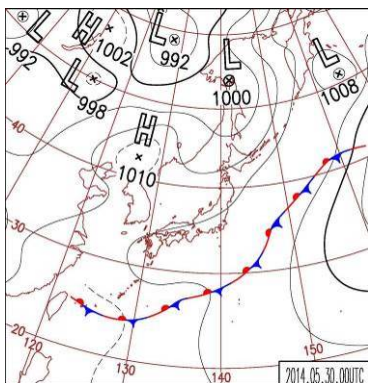
(1) 気象概況

5月29日から30日にかけて、低気圧が沿海州を通りサハリンへ進み、北日本の上空約5,500mには、 -15°C 以下の寒気が流れ込んだ。一方、日本付近は太平洋高気圧に緩やかに覆われ、南よりの暖かく湿った空気が流れ込んだため、岩手県内は大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、局地的に雷を伴った激しい雨が降った。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像

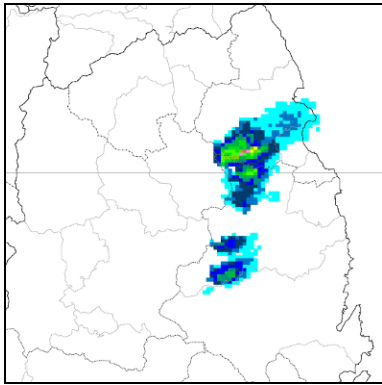


5月29日 09時

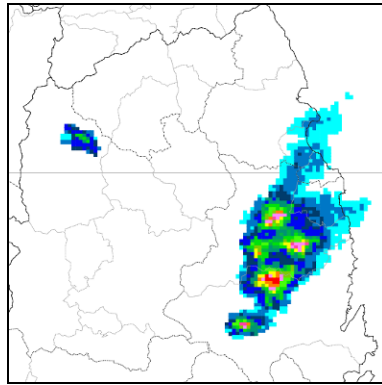


5月30日 09時

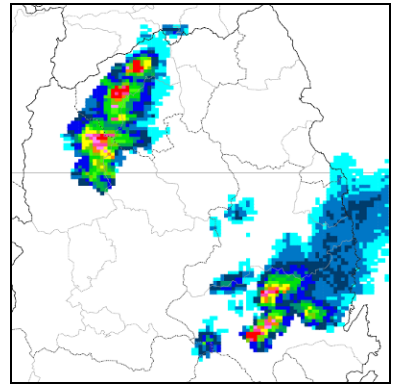
○ レーダー画像 (降水強度)



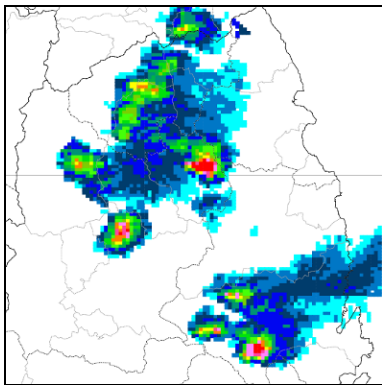
5月29日 13時



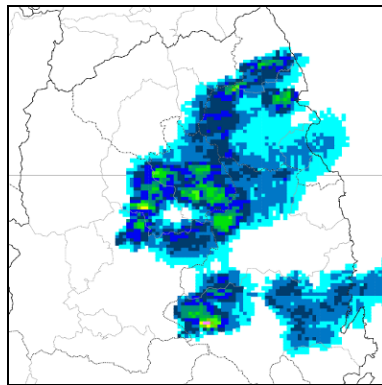
5月29日 14時



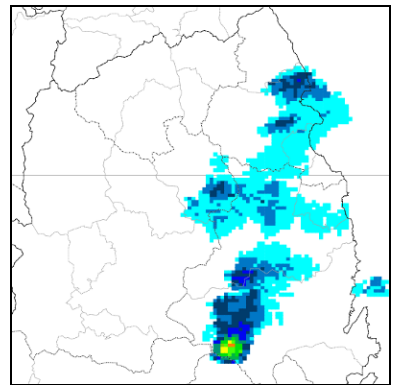
5月29日 15時



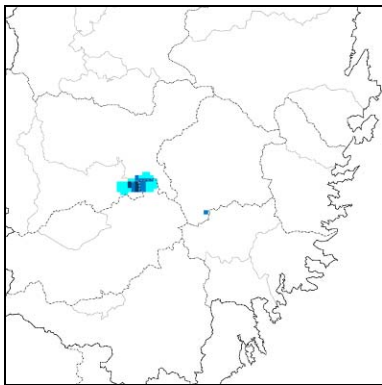
5月29日 16時



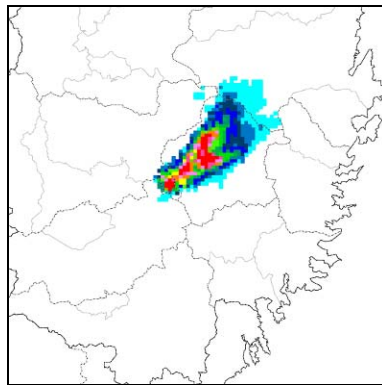
5月29日 17時



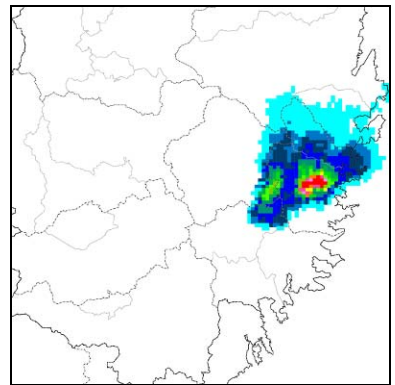
5月29日 18時



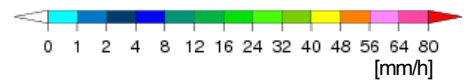
5月30日 16時



5月30日 17時



5月30日 18時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（5月29日と30日：岩手県）

	地域	警報	注意報
29日	二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域	—	大雨、洪水、雷、濃霧、乾燥
	宮古市、山田町	—	大雨、洪水、雷、高潮、濃霧
	久慈地域、田野畑村、岩泉町、釜石地域	—	大雨、洪水、雷、濃霧
	花北地域、遠野市	—	雷、濃霧、乾燥
	大船渡地域	—	雷、濃霧

	地域	警報	注意報
30日	宮古市、山田町	—	大雨、洪水、雷、高潮、濃霧
	田野畑村、岩泉町、釜石地域	—	大雨、洪水、雷、濃霧
	花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市	—	大雨、洪水、雷、乾燥
	久慈地域、大船渡市、陸前高田市	—	雷、濃霧
	二戸地域、盛岡地域、両磐地域	—	雷、乾燥
	住田町	—	雷

発表日	気象情報
29日	雷と突風及び大雨に関する岩手県気象情報第1号
	「岩手県竜巻注意情報」第2号まで発表
30日	雷と突風及び大雨に関する岩手県気象情報第1号
	「岩手県竜巻注意情報」第2号まで発表

○ 5月29日の主な地点の降水量

単位：mm

地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量		
		降水量	起時	降水量	起時	
アメダス	大野	1.0	1.0	17時52分	1.0	17時02分
	山形	0.5	0.5	18時22分	0.5	17時32分
	奥中山	0.5	0.5	16時29分	0.5	15時39分
	刈屋	5.0	4.0	15時30分	1.5	14時40分
	川井	22.0	16.5	15時53分	6.5	15時02分

○ 5月30日の主な地点の降水量

単位：mm

地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量		
		降水量	起時	降水量	起時	
アメダス	附馬牛	1.5	1.0	17時54分	1.0	17時04分
	遠野	20.5	20.5	18時11分	13.5	17時23分
	新町	0.5	0.5	19時04分	0.5	18時14分

(2) 被害状況

(単位：千円)

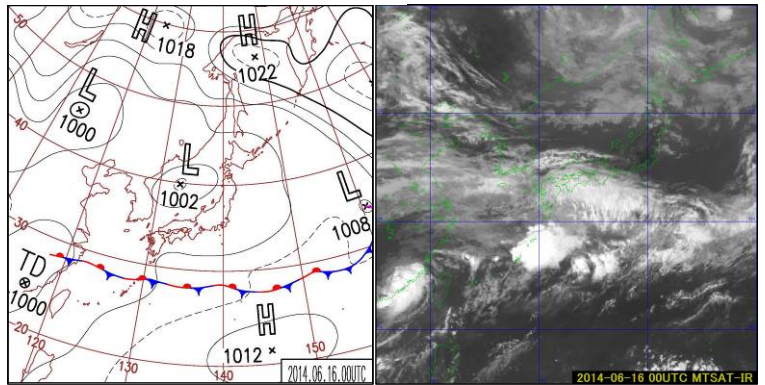
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農畜産物	11,713	レタス、葉たばこ等 20.92ha	遠野市、一戸町、二戸市
計	11,713		

8 6月16日の降雹災害

(1) 気象概況

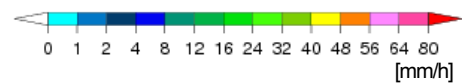
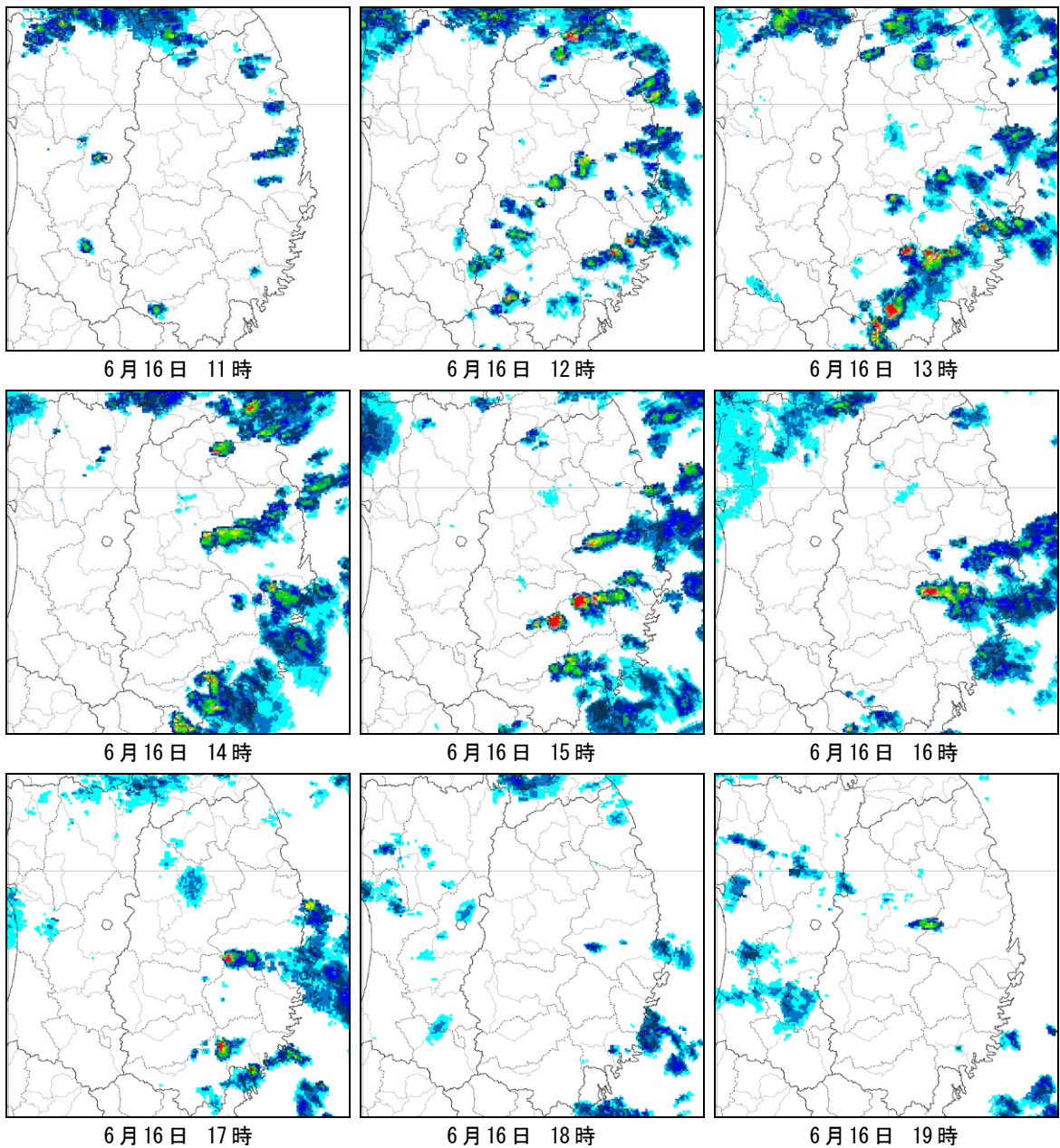
6月16日は、日本の上空約5,500mに -15°C 以下の寒気を伴った低気圧が日本海中部にあって東へ進んだため、岩手県内は大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、局地的に雷を伴った激しい雨が降った。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像



6月16日 09時

○ レーダー画像 (降水強度)



○ 関連する警報・注意報の発表状況（6月16日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩泉町、宮古市、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	—	大雨、洪水、雷、高潮
内陸、久慈地域、田野畑村、住田町	—	大雨、洪水、雷

○ 6月16日の主な地点の降水量【単位mm】

地点名	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量		
	降水量	起時	降水量	起時	
アメダス	大野	17.0	14時35分	12.5	13時47分
	附馬牛	18.5	16時41分	10.5	16時06分
	山田	18.0	14時21分	7.0	13時43分
	千厩	26.0	14時18分	13.0	13時47分

(2) 被害状況

(単位：千円)

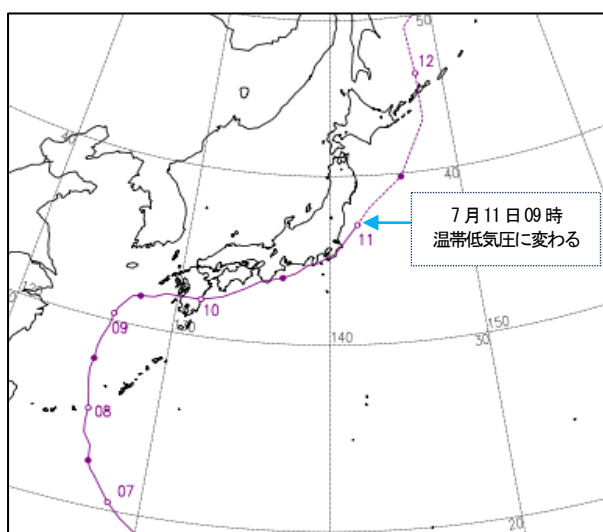
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	7,158	葉たばこ、りんご等 20.85ha	軽米町、一関市、遠野市
計		7,158		

9 7月11日の台風第8号災害

(1) 気象概況

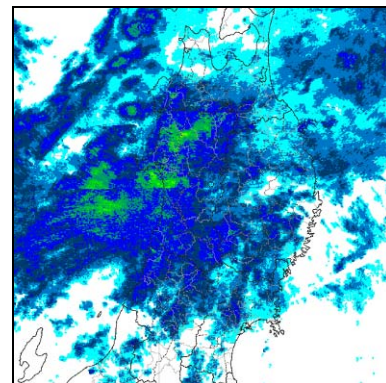
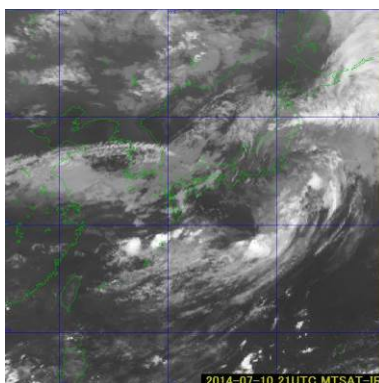
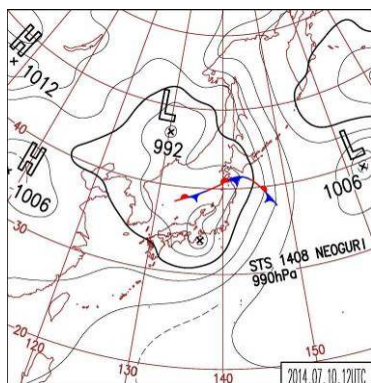
台風第8号は、7月10日に九州に上陸した後、本州南岸を東に進んだ。また、東北地方には梅雨前線があり津軽海峡付近まで北上した。台風第8号は、伊豆半島南部を通過し11日に千葉県に上陸した後、09時に福島県沖で温帯低気圧に変わった。岩手県では、10日の朝から雨が降りだし、総降水量（10日00時～11日24時）は、葛根田で135.0mm、附馬牛で134.0mm、花巻で127.0mmを観測した。

○ 台風第8号の経路図

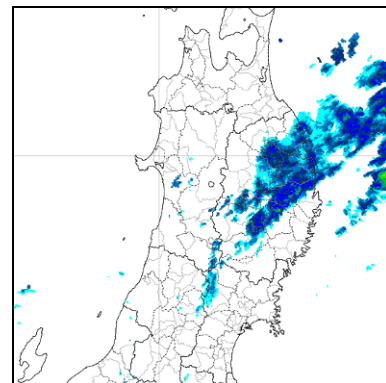
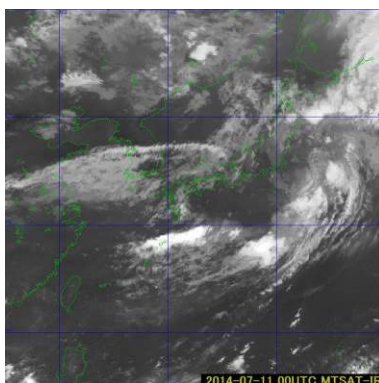
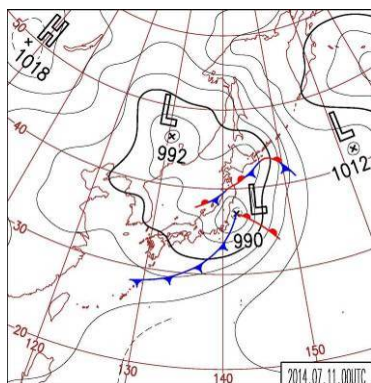


経路上の○印は傍らに記した日の09時、●印は21時の位置で、経路の実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

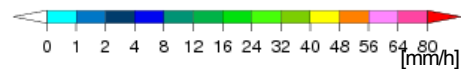
○ 地上天気図、気象衛星赤外面像、レーダー画像（降水強度）



7月10日 21時



7月11日 09時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（7月10日～11日：岩手県）

地域	警報	注意報
宮古市	大雨	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、雷
盛岡市、花巻市、遠野市	大雨	大雨、洪水、強風、雷
岩泉町、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	—	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、雷
二戸地域、葛巻町、岩手町、八幡平市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町、北上市、西和賀町、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、住田町	—	大雨、洪水、強風、雷
久慈地域、田野畑村	—	強風、波浪、高潮、雷

気象情報
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」とこれを引き継ぐ情報を第4号まで発表

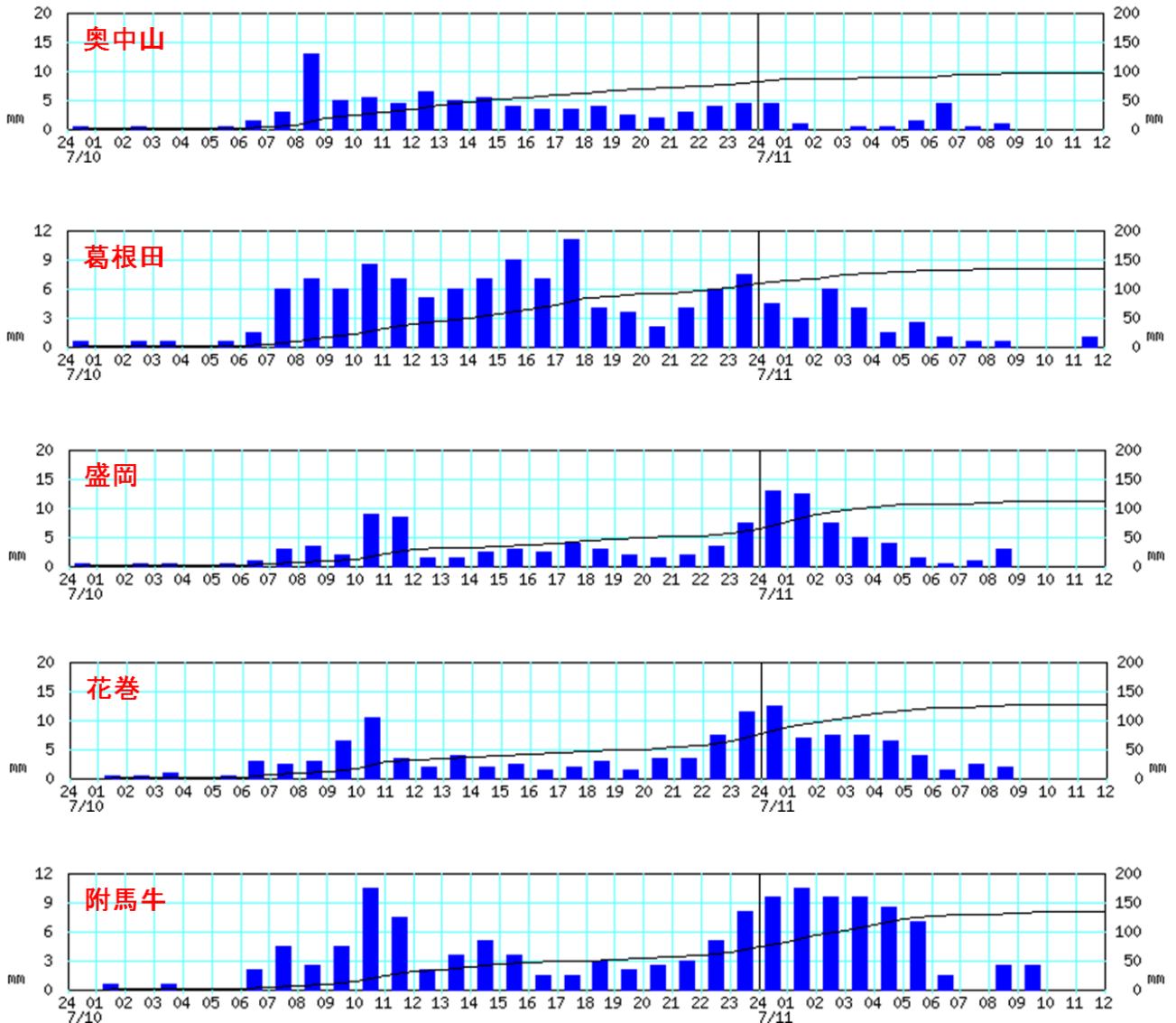
○ 7月10日～11日の主な地点の降水量

単位：mm

地点名	降水量 合計	日最大1時間水量		日最大10分間降水量	
		起日	降水量	起日	降水量
奥中山	96.0	10日	15.0	10日	5.0
葛根田	135.0	10日	12.5	10日	3.5
花巻	127.0	11日	14.5	11日	3.0
湯田	96.5	10日	12.5	10日	3.5
沢内	107.5	10日	12.0	10日	4.5
北上	111.0	10日	11.5	10日	4.5
附馬牛	134.0	11日	13.0	11日	3.0
藪川	112.5	11日	14.0	11日	3.0
雫石	104.5	10日	10.0	10日	2.5
区界	104.0	11日	10.0	11日	2.5
遠野	98.0	11日	12.5	11日	3.5
盛岡	111.5	11日	18.0	11日	5.0
宮古	58.0	11日	6.5	11日	2.0
大船渡	67.5	11日	8.5	11日	2.0

○ 7月10日00時～11日12時の主な地点の降水量時系列図

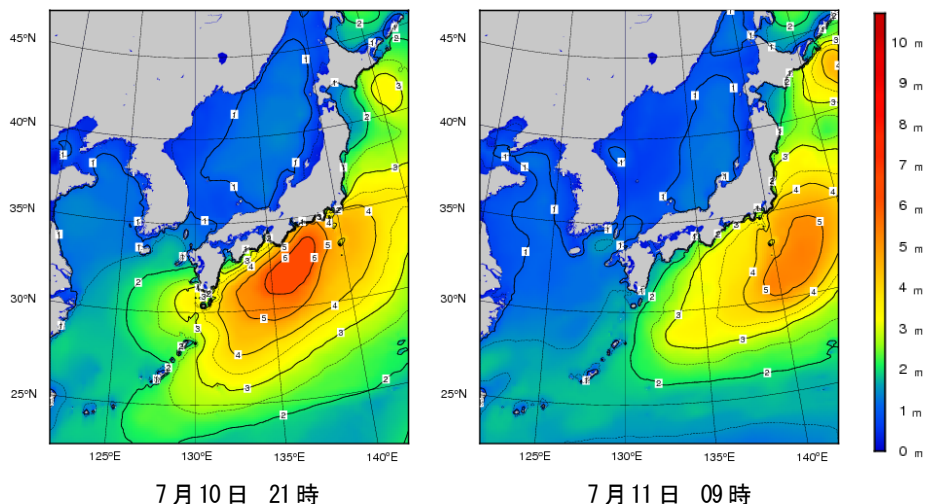
注1) 左縦軸(棒グラフ)：時間降水量、右縦軸(折れ線)：降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。



○ 7月10日～11日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	期日	日最大風速		日最大瞬間風速		
		風速	風向	風速	風向	
アメダス	岩手松尾	10日	7.0	南東	14.1	東南東
	山形	11日	6.1	南西	13.5	南西
	江刺	11日	7.0	西北西	11.2	北西
	紫波	10日	7.0	南	10.4	南
官署等	盛岡	10日	7.7	南	12.7	南
	宮古	10日	3.9	南南東	7.7	南南西
	大船渡	11日	7.6	北西	13.5	北西

○ 沿岸波浪図（7月10日～11日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m 毎の実線と 0.5m ごとの破線（4m 未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

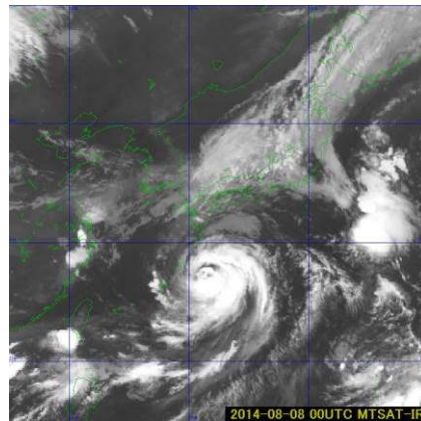
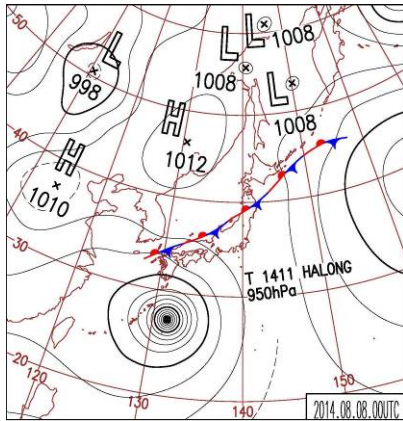
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	5,000	畦畔の崩壊 1箇所、水路の法面崩壊 2箇所	紫波町、花巻市
計		5,000		

10 8月8日の大雨災害

(1) 気象概況

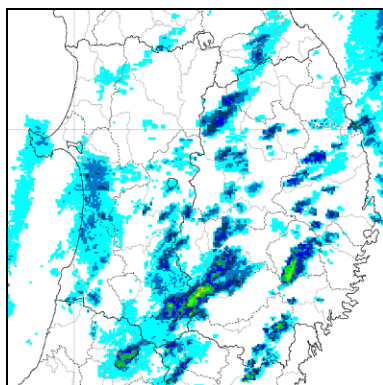
8月8日は、上空約5,500mに -6°C 以下の寒気が流れ込んだ。また、岩手県には前線が停滞し、台風第11号が奄美大島の東にあって北へ進んだ。台風から前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、岩手県内は大気の状態が非常に不安定となり積乱雲が発達し、局地的に雷を伴った激しい雨が降った。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像

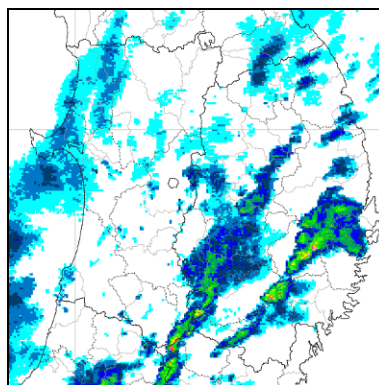


8月8日 09時

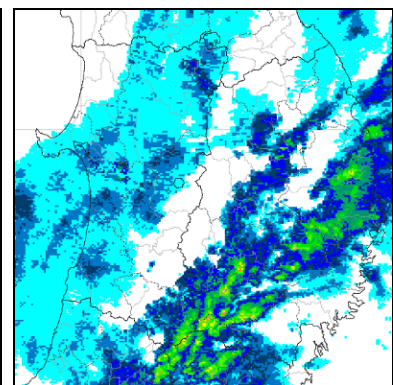
○ レーダー画像 (降水強度)



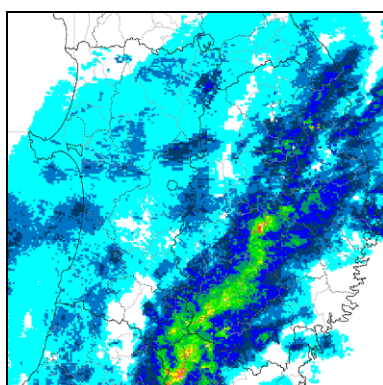
8月8日 13時



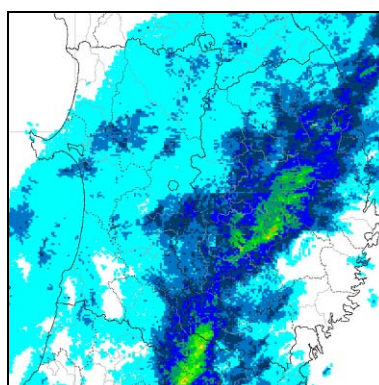
8月8日 14時



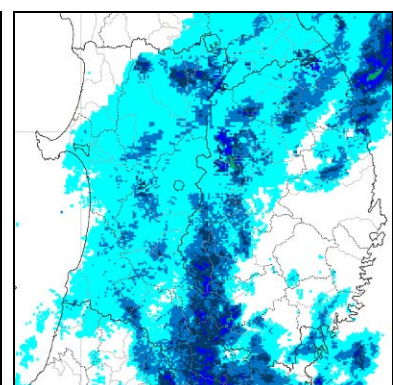
8月8日 15時



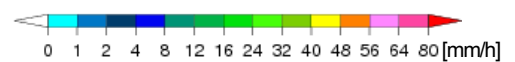
8月8日 16時



8月8日 17時



8月8日 18時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（8月8日：岩手県）

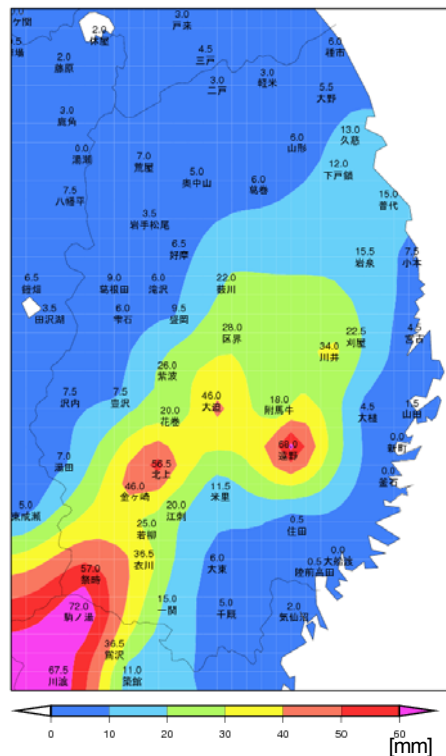
地域	警報	注意報
遠野市	大雨、洪水	大雨、洪水、雷
宮古市、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	—	大雨、洪水、高潮、雷、濃霧
田野畑村	—	大雨、洪水、雷、濃霧
八幡平市、花巻市、北上市、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、住田町	—	大雨、洪水、雷
二戸地域、葛巻町、岩手町、雫石町	—	大雨、雷
久慈地域、岩泉町	—	雷、濃霧
盛岡市、滝沢市、矢巾町、紫波町、西和賀町	—	雷

気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」第2号まで発表

○ 8月8日の主な地点の降水量【単位mm】

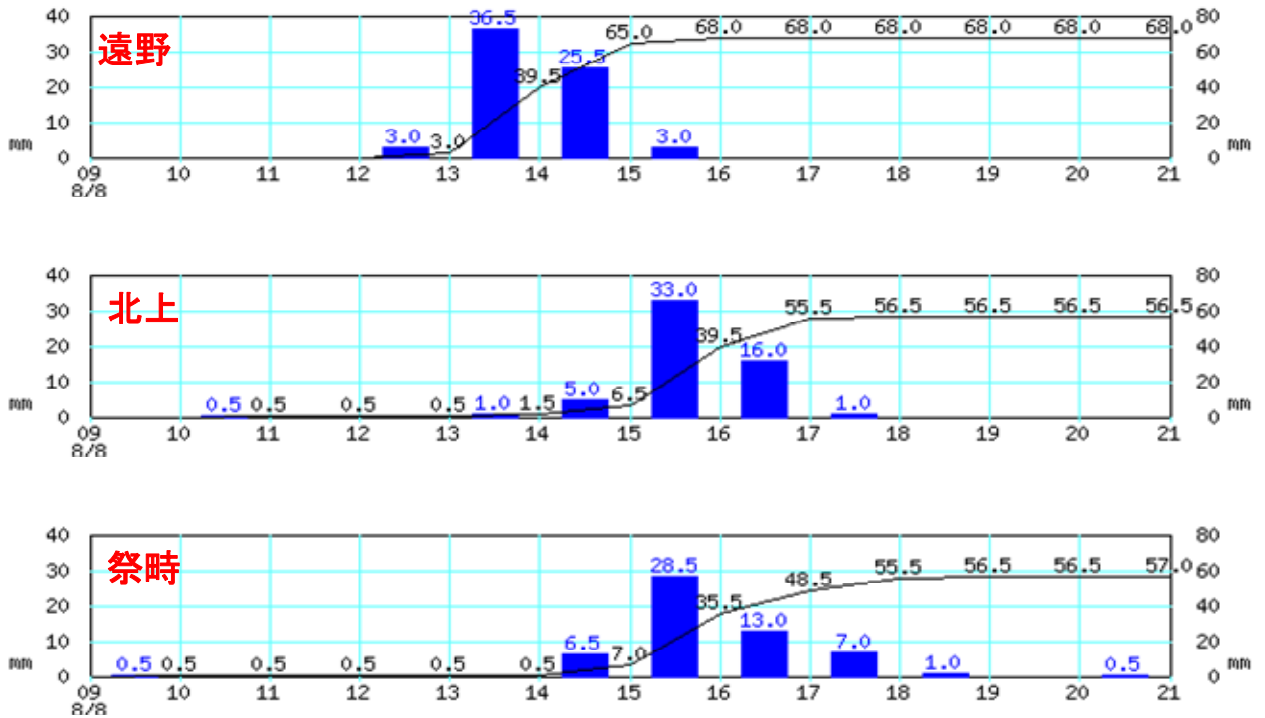
地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
		降水量	起時	降水量	起時
区界	30.5	19.5	17時08分	5.5	16時31分
宮古	5.0	3.0)	15時43分	1.0)	15時38分
川井	34.5	23.5	15時03分	6.0	14時24分
大迫	49.0	31.5	16時40分	7.5	16時02分
遠野	69.5	43.5	14時12分	15.0	14時02分
金ヶ崎	47.0	22.5	15時23分	6.5	14時40分
北上	57.0	33.5	16時01分	13.0	15時16分
若柳	25.5	20.0	16時16分	4.0	16時07分
祭時	57.5	29.0	15時59分	8.0	15時52分
衣川	37.0	23.5	16時01分	8.5	15時23分

値）： 準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲（20%以内）で欠けている場合。



8月8日09時～21時の降水量の分布図

○ 8月8日09時～21時の主な地点の降水量時系列図



注1) 左縦軸 (棒グラフ) : 時間降水量、右縦軸 (折れ線) : 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位：千円)

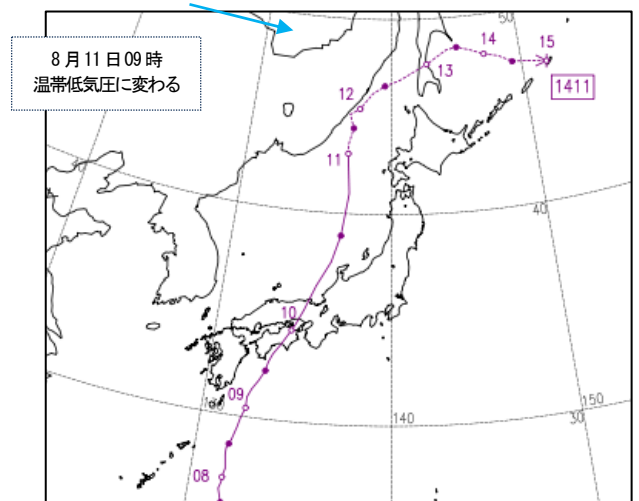
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物 52	ほうれんそう 0.03ha	遠野市
計	52		

11 8月10日から11日の台風第11号災害

(1) 気象概況

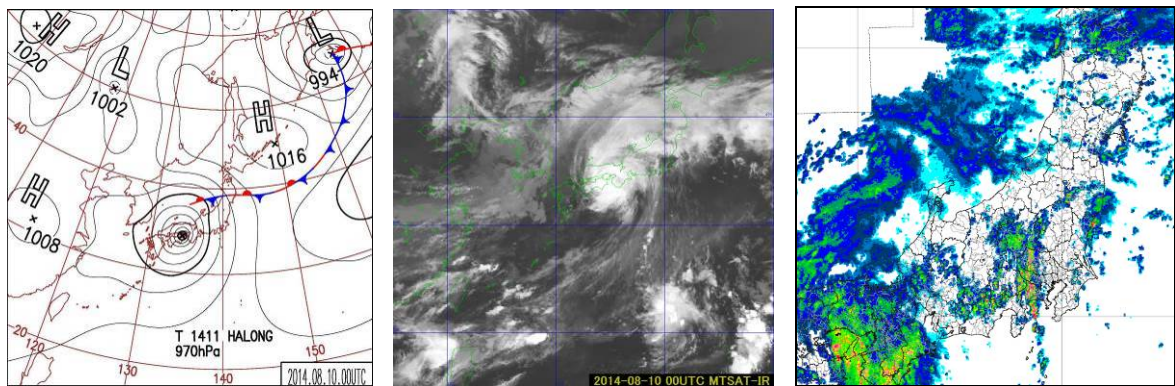
台風第11号は九州の南海上から四国沖に進み、8月10日に高知県安芸市付近に上陸、その後、日本海を北上した。また、前線が東北地方を北上した。台風は、11日09時に日本海北部で温帯低気圧に変わった。岩手県では、10日の朝から雨が強くなり、総降水量(10日00時～11日24時)は、区界で116.0mm、祭時で110.5mm、葛根田で107.0mmを観測した。また、10日夜遅くから11日未明にかけて南よりの風が強まり、日最大風速(10日～11日)は、区界で12.5m/s、岩手松尾で10.5m/s、荒屋で10.4m/sを観測し、8月としての極値を更新した。

○ 台風第11号の経路図

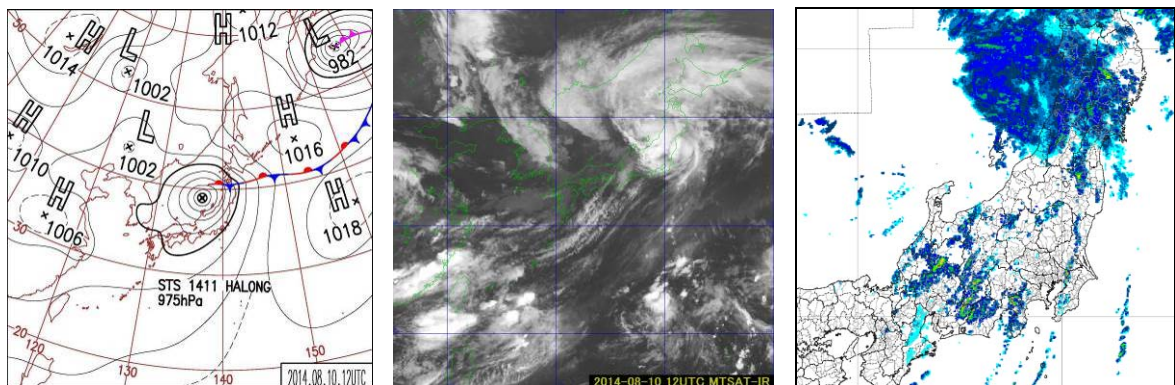


経路上の○印は傍らに記した日の09時、●印は21時の位置で、→は消滅を示す。
 経路の実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

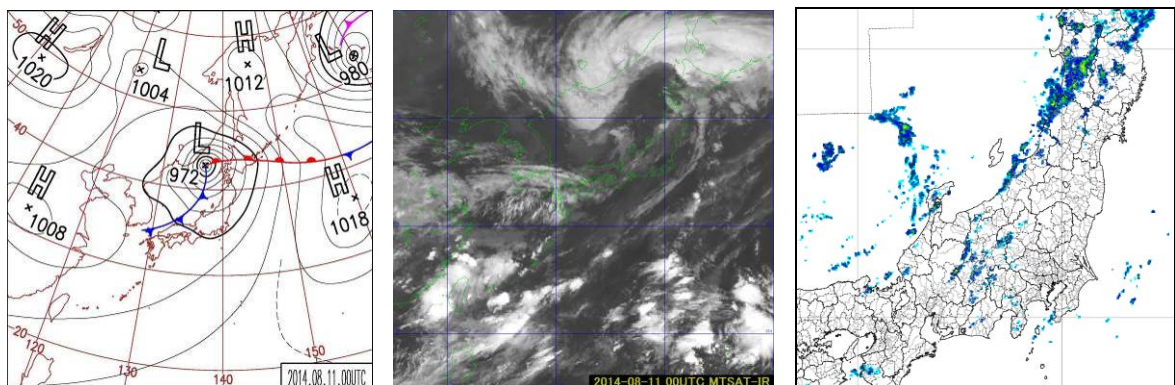
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



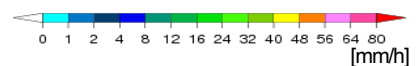
8月10日 09時



8月10日 21時



8月11日 09時

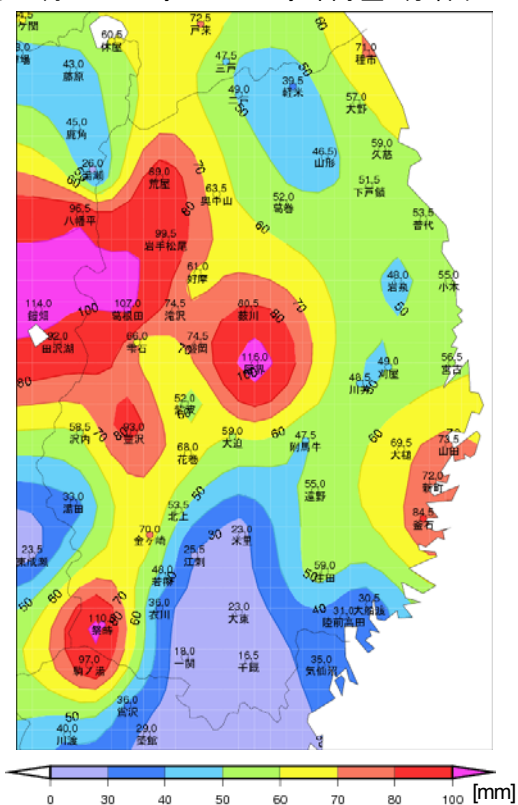


○ 関連する警報・注意報等の発表状況（8月10日～11日：岩手県）

地域	警報	注意報
沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	暴風、大雨、洪水	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、雷、濃霧
紫波町、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市、住田町	大雨、洪水	大雨、洪水、強風、雷、濃霧
八幡平市、葛巻町、岩手町、雫石町、滝沢市、盛岡市、花巻市	大雨	大雨、洪水、強風、雷、濃霧
二戸地域、矢巾町、北上市、西和賀町	—	大雨、洪水、強風、雷、濃霧

気象情報
「平成26年台風第11号に関する岩手県気象情報」第10号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を4回発表
大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号

○ 8月10日00時～11日24時の降水量の分布図

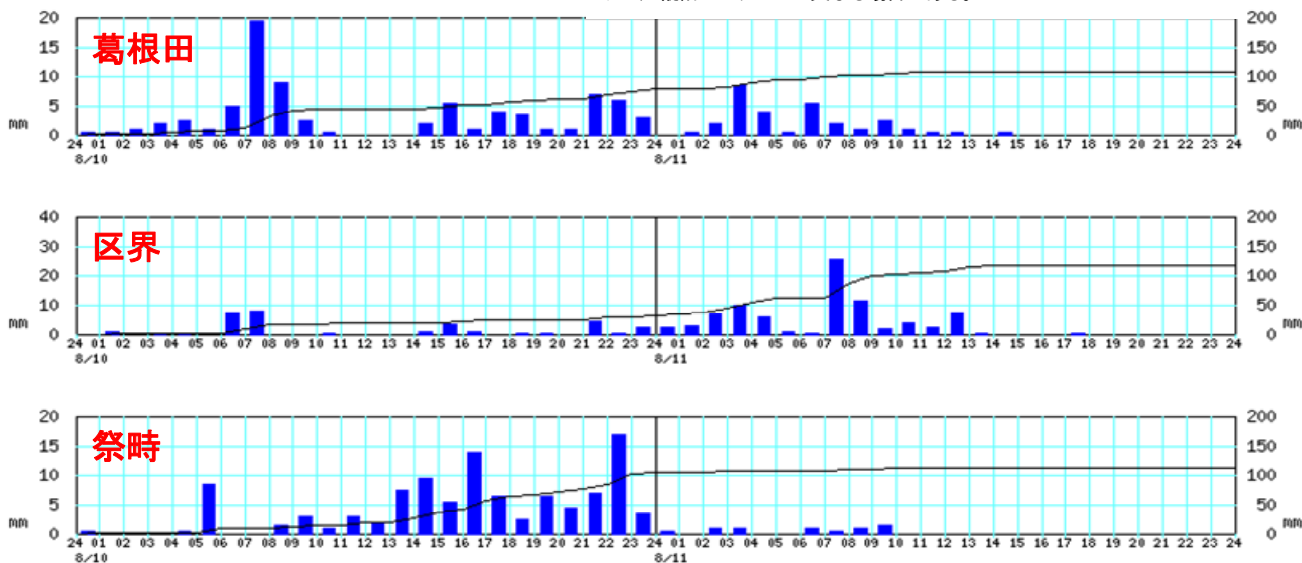


○ 8月10日～11日の主な地点の降水量【単位mm】

地点名	日降水量		合計	日最大1時間降水量			日最大10分間降水量		
	10日	11日		降水量	起日	起時	降水量	起日	起時
荒屋	68.5	20.5	89.0	11.0	10日	09時47分	3.5	10日	10時45分
岩手松尾	76.0	23.5	99.5	18.0	10日	09時21分	5.5	10日	08時57分
葛根田	78.0	29.0	107.0	20.5	10日	08時06分	5.0	10日	07時35分
滝沢	53.0	21.5	74.5	15.5	10日	08時08分	4.5	10日	21時23分
藪川	34.5	46.0	80.5	15.5	10日	07時58分	5.5	11日	07時44分
盛岡	49.5	25.0	74.5	18.0	10日	07時34分	4.5	10日	07時06分
区界	32.0	84.0	116.0	28.0	11日	08時28分	9.5	11日	07時53分
豊沢	65.5	27.5	93.0	15.0	10日	23時25分	4.0	10日	23時26分
釜石	65.0	19.5	84.5	12.5	10日	19時18分	5.5	10日	19時03分
祭時	104.0	6.5	110.5	17.5	10日	17時20分	9.0	10日	17時02分

○ 8月10日00時～11日24時の主な地点の降水量時系列図

注1) 左縦軸(棒グラフ): 時間降水量、右縦軸(折れ線): 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

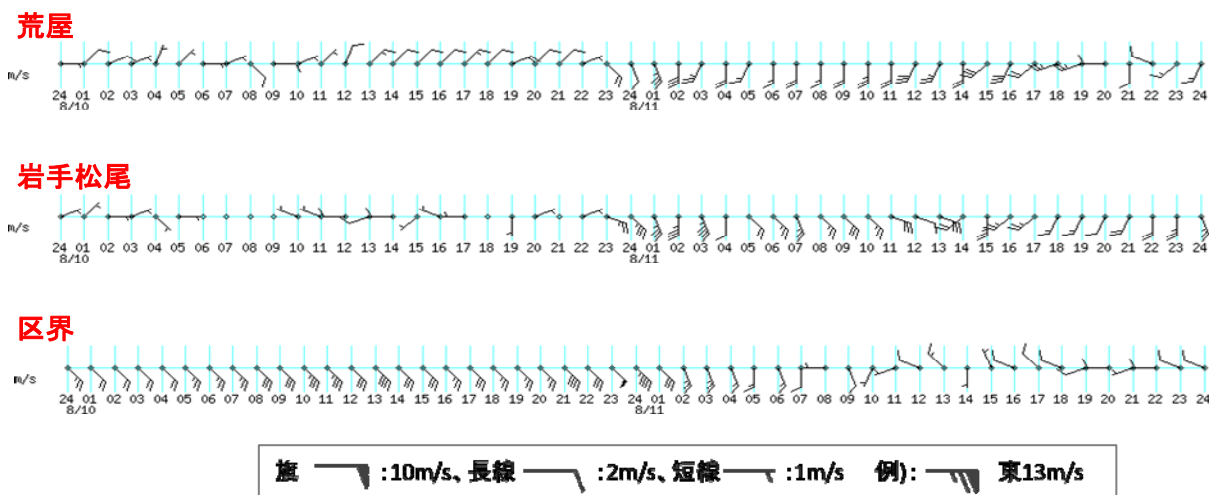


○ 8月10日～11日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	日最大風速				日最大瞬間風速			
	風速	風向	起日	起時	風速	風向	起日	起時
荒屋	10.4	南	11日	01時26分	19.3	南	11日	01時17分
岩手松尾	10.5	南南東	11日	02時34分	17.8	南南東	11日	02時29分
雫石	7.2	南東	10日	22時44分	18.6	南東	10日	22時39分
盛岡	12.9	南南東	10日	23時51分	22.5	南南東	10日	23時43分
区界	12.5	南東	10日	23時46分	23.1	南東	10日	23時44分
宮古	11.0	南南東	10日	22時05分	20.7	南南東	10日	23時08分
花巻	11.4	南	11日	01時14分	17.5	南	11日	00時58分
山田	7.2	南	11日	02時10分	19.1	南南西	11日	00時32分
釜石	8.2	南南東	11日	01時27分	24.3	南東	11日	01時21分
若柳	9.4	南南東	10日	23時13分	19.3	南南東	10日	23時04分
大船渡	11.2	南南東	10日	21時33分	18.5	南南東	10日	23時43分

※ 網掛けは8月としての極値更新(統計期間10年以上)

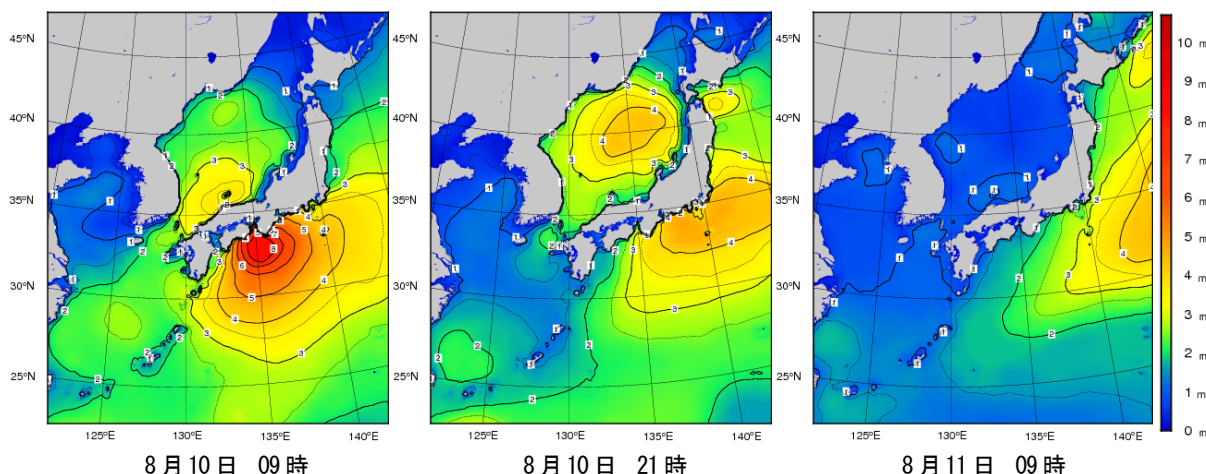
○ 8月10日00時～11日24時の主な地点の風向・風速時系列図



○ 極値更新状況（8月：統計期間10年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	統計開始年
荒屋	m/s	日最大風速	1	10.4	8月11日	1977年
岩手松尾			1	10.5	8月11日	1977年
区界			1	12.5	8月10日	1994年

○ 沿岸波浪図（8月10日～11日）



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m毎の実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

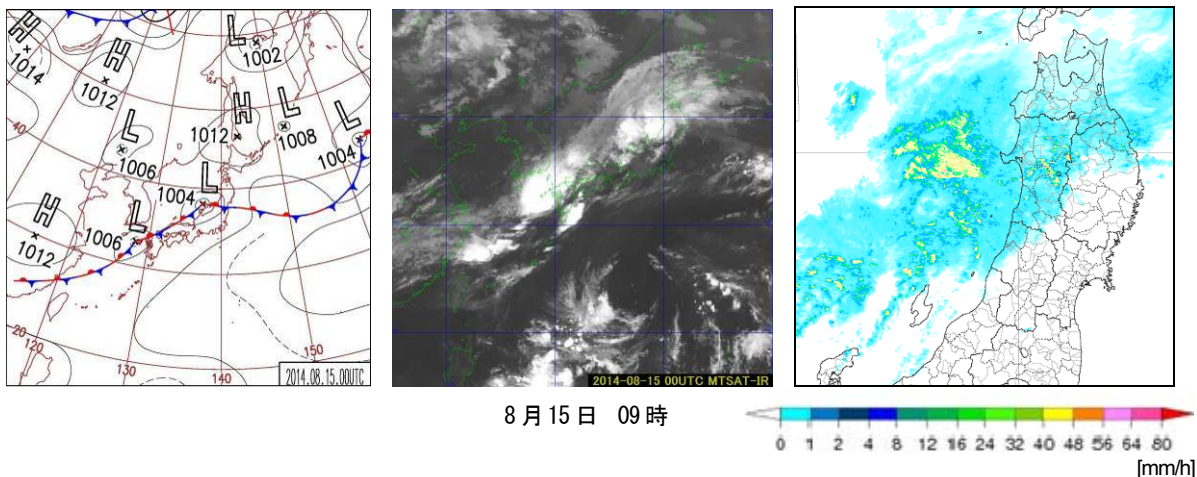
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	48,153	ホップ、きゅうり等 53.18ha	遠野市、北上市、奥州市等 4市
	農業施設	2,670	ホップ棚、パイプハウス倒壊等 12棟・件	遠野市、盛岡市、一関市等 8市町
	農地・農業 用施設	13,000	農地の流失 4箇所、農道の法面崩壊 1箇所	八幡平市、北上市、遠野市
林業	林業施設	1,200	林道の路面流失 4箇所	住田町
水産業	漁船	1,501	漁船の転覆等 5隻	大槌町、釜石市、宮古市
計		66,524		

12 8月15日の大雨災害

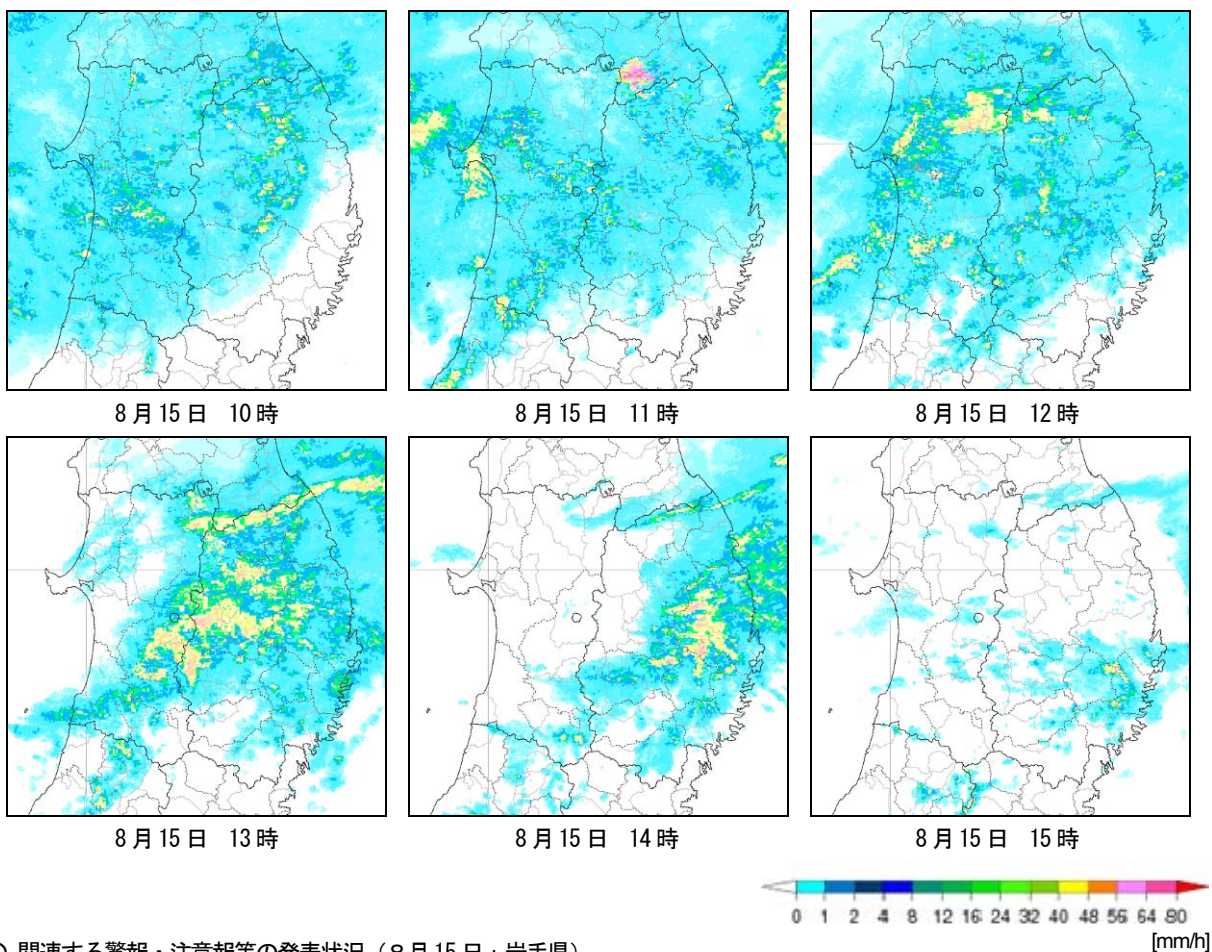
(1) 気象概況

8月15日は、華南から山陰沖を通過して三陸沖にのびる前線が東北地方に停滞し、前線上の低気圧が東北地方を通過した。このため、岩手県では北部を中心に大雨となった。15日昼過ぎには一時的に激しく降り、二戸では日最大1時間降水量47.0mmを観測し、通年の極値を更新した。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



○ レーダー画像（降水強度）



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（8月15日：岩手県）

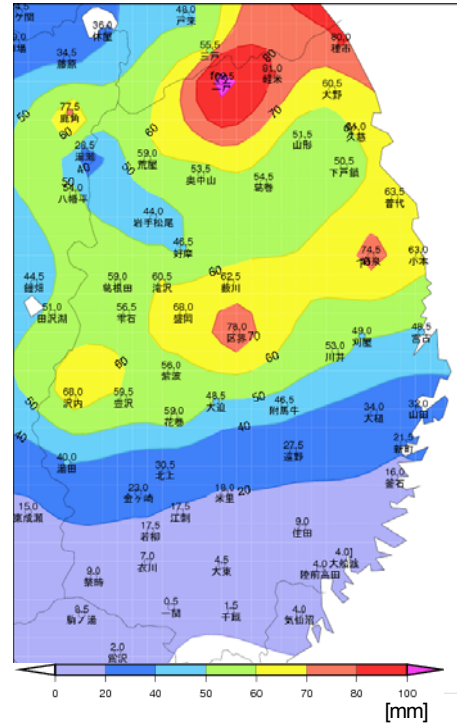
地域	警報	注意報
軽米町、二戸市、九戸村	大雨、洪水	大雨、洪水、雷、濃霧
内陸	—	大雨、洪水、雷、濃霧
田野畑村	—	大雨、強風、洪水、雷、濃霧
岩泉町、宮古市、山田町	—	大雨、強風、洪水、高潮、雷、濃霧
釜石地域、大船渡市、陸前高田市	—	強風、高潮、雷、濃霧
住田町	—	雷、濃霧

気象情報
「大雨と雷に関する岩手県気象情報」第2号まで発表

○ 8月15日の主な地点の降水量【単位mm】

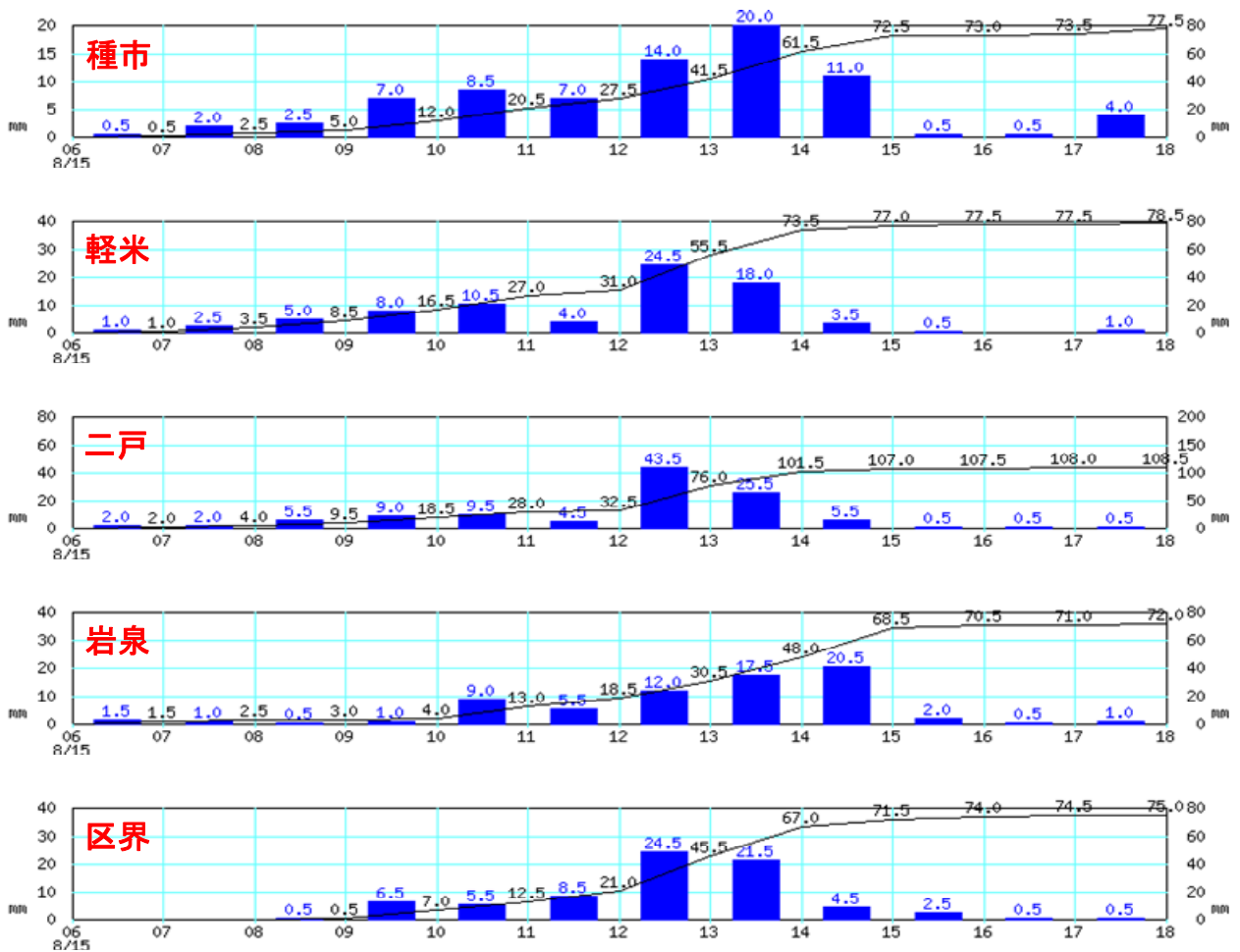
地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
		降水量	起時	降水量	起時
種市	80.0	25.5	13時38分	7.0	12時48分
軽米	81.0	29.5	13時20分	8.0	12時34分
二戸	109.5	47.0	13時11分	13.5	12時40分
岩泉	74.5	27.5	14時31分	10.0	14時27分
区界	78.0	27.5	13時17分	6.5	12時43分

※ 網掛けは通年の極値更新（統計期間10年以上）



右図 8月15日の日降水量の分布図

○ 8月15日06時～18時の主な地点の降水量時系列図



注1) 左縦軸 (棒グラフ) : 時間降水量、右縦軸 (折れ線) : 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

○ 極値更新状況（通年：統計期間 10 年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	統計開始年
二戸	mm	日最大1時間降水量	1	47.0	8月15日	1976年

(2) 被害状況

(単位：千円)

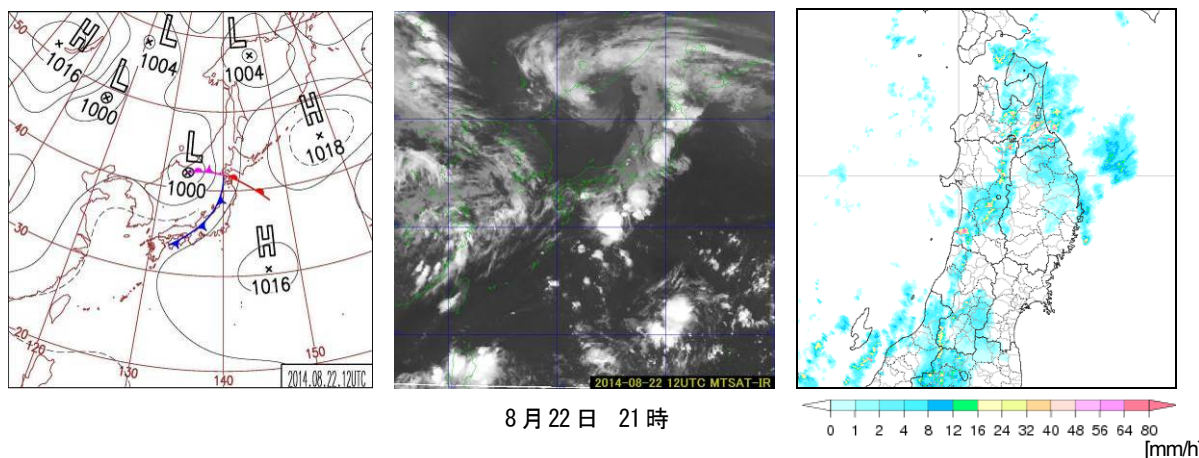
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	137	水稲 0.33ha	二戸市
	農地・農業用施設	20,000	農地の法面崩壊 17 箇所、水路の法面崩壊 6 箇所、農道の法面崩壊 10 箇所	二戸市、軽米町
林 業	林地荒廃	23,000	山腹崩壊等 2 箇所	二戸市
計		43,137		

13 8月22日の大雨災害

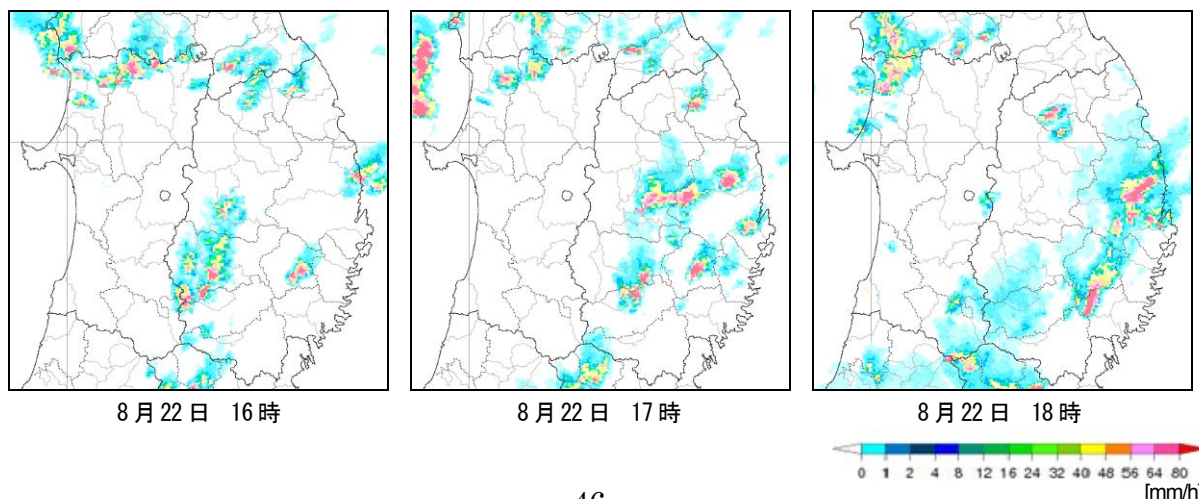
(1) 気象概況

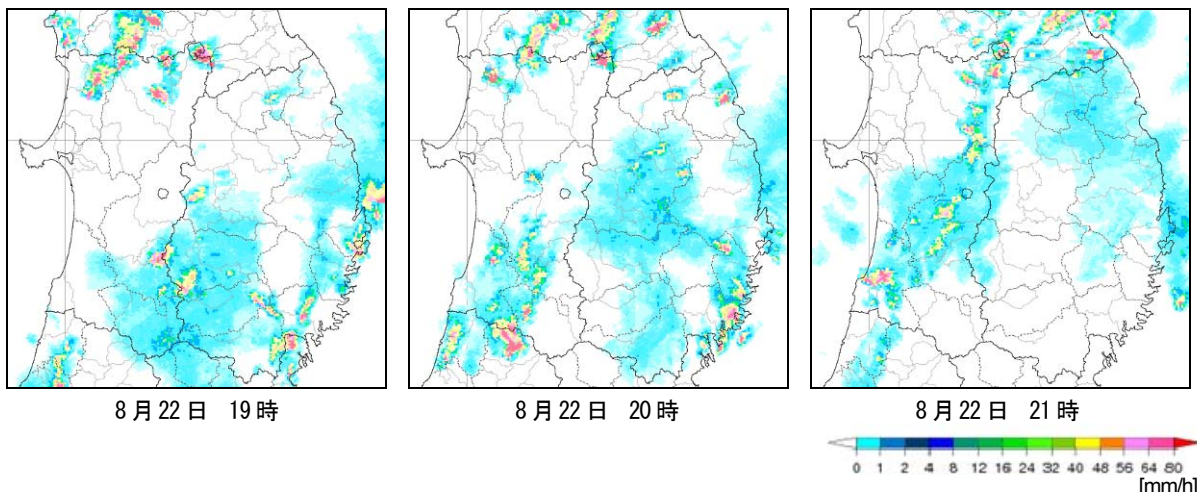
8月22日は、日本の上空約6,000mに-6℃以下の寒気が流れ込んだ。また、日本海中部の低気圧から東北北部を通り三陸沖へ前線がのびる前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、岩手県内は大気の状態が不安定になり局地的な大雨となった。22日夕方には一時的に激しく降り、遠野では日最大1時間降水量42.5mmを観測した。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



○ レーダー画像（降水強度）





○ 関連する警報・注意報等の発表状況（8月22日：岩手県）

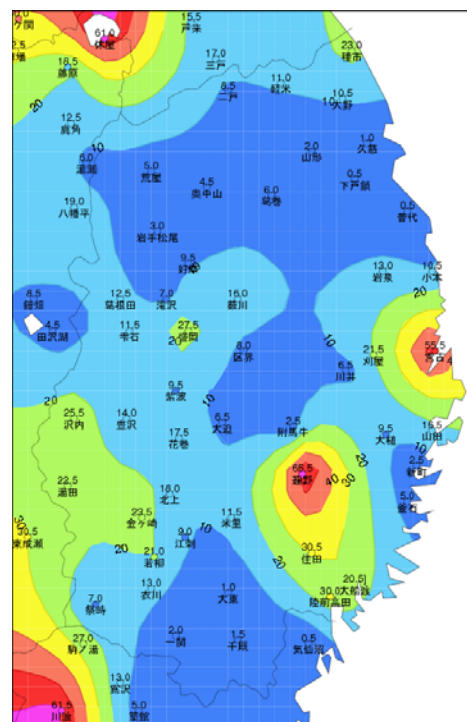
地域	警報	注意報
岩泉町、宮古市、山田町、沿岸南部、盛岡市、一関市、遠野市	大雨、洪水	大雨、洪水、雷、濃霧
久慈地域、田野畑村、二戸地域、葛巻町、岩手町、八幡平市、滝沢市、雫石町、矢巾町、紫波町、花北地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、平泉町	—	大雨、洪水、雷、濃霧

気象情報
「大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報」を第7号まで発表
「岩手県竜巻注意情報」を第4号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を4回発表

○ 8月22日の主な地点の降水量【単位mm】

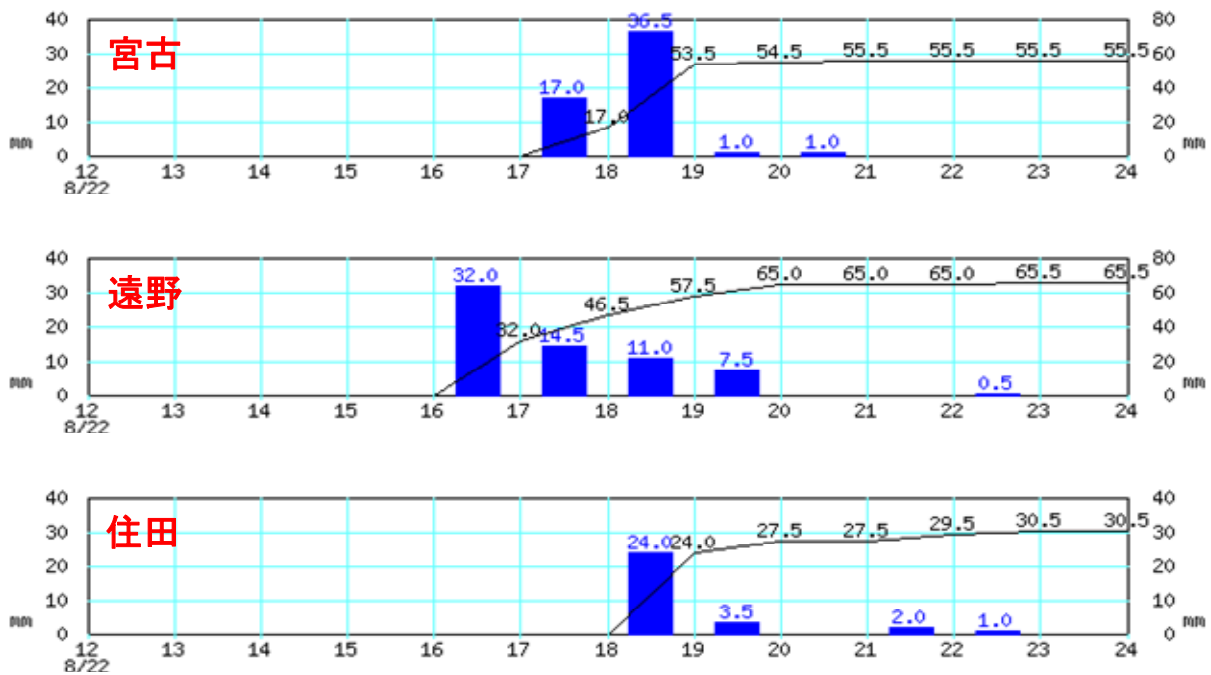
地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
		降水量	起時	降水量	起時
種市	25.5	14.5	12時19分	12.5	11時40分
盛岡	27.5	20.0	17時11分	13.0	16時35分
刈屋	22.0	20.5	18時40分	7.5	18時10分
宮古	55.5	40.0	18時51分	10.0	18時26分
沢内	25.5	21.0	23時58分	8.0	23時56分
山田	16.5	15.5	19時44分	10.0	19時05分
遠野	65.5	42.5	17時31分	16.0	16時55分
住田	33.5	24.0	19時11分	13.0	18時23分
陸前高田	30.0	29.5	20時11分	24.0	19時23分
大船渡	20.5]	20.5]	20時30分	11.5]	19時52分

値]：資料不足値。統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合。



右図 8月22日12時～24時の降水量の分布図

○ 8月22日12時～24時の主な地点の降水量時系列図



注1) 左縦軸 (棒グラフ) : 時間降水量、右縦軸 (折れ線) : 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位 : 千円)

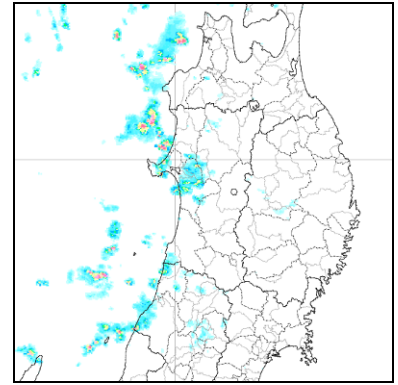
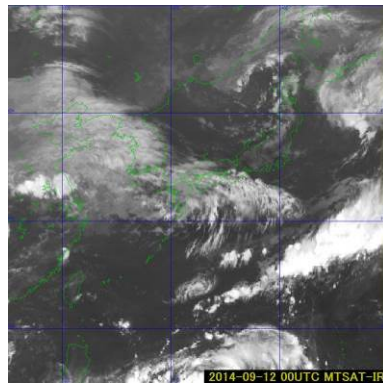
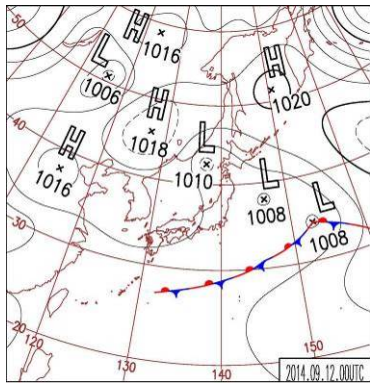
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	404	きゅうり 0.22ha	住田町、陸前高田市
	農業施設	120	きゅうり支柱の損壊 2件	陸前高田市
	農地・農業用施設	1,000	農地の法面崩壊 1箇所	陸前高田市
計		1,524		

14 9月12日の降雷災害

(1) 気象概況

9月12日は、日本の上空約5,500mに-15℃以下の寒気が流れ込んだ。また、日本海北部の低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、岩手県内は大気の状態が不安定になり12日昼過ぎから夕方にかけて局地的な大雨となった。

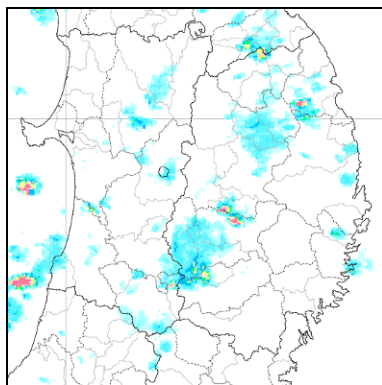
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



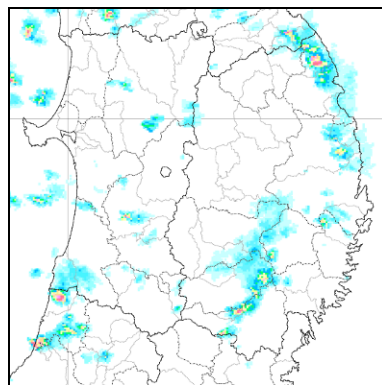
9月12日 09時

0 1 2 4 8 12 16 24 32 40 48 56 64 80 [mm/h]

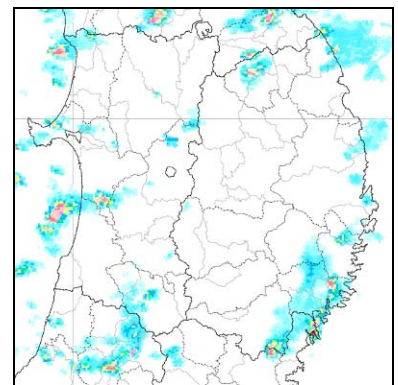
○ レーダー画像（降水強度）



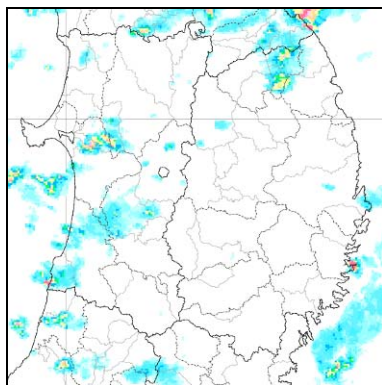
9月12日 13時



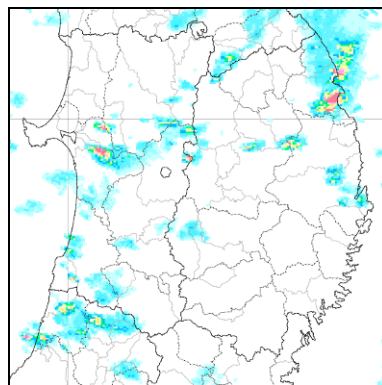
9月12日 14時



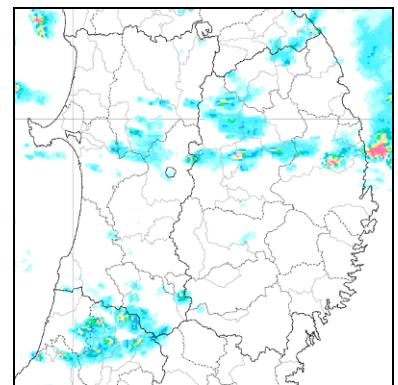
9月12日 15時



9月12日 16時



9月12日 17時



9月12日 18時

0 1 2 4 8 12 16 24 32 40 48 56 64 80 [mm/h]

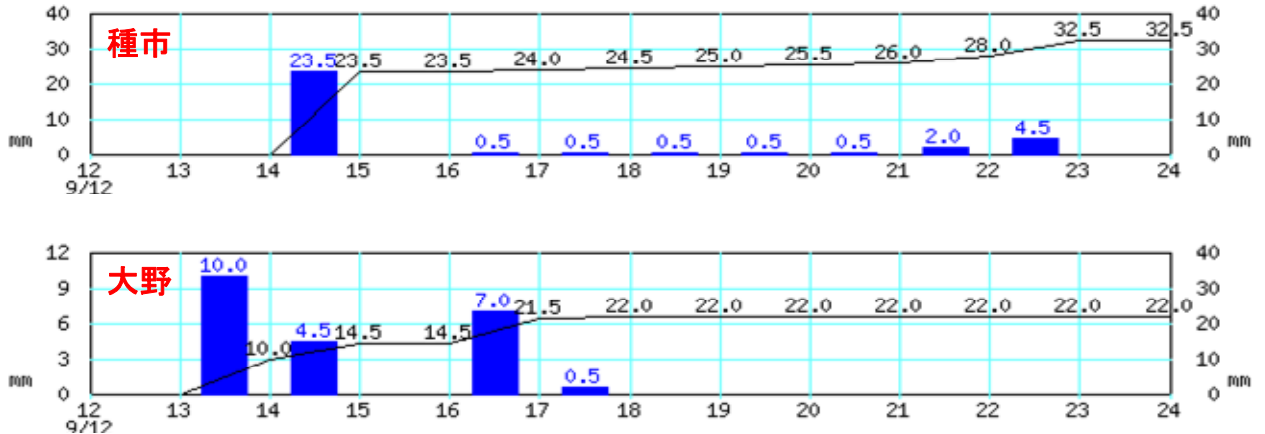
○ 関連する警報・注意報の発表状況（9月12日：岩手県）

地域	警報	注意報
岩泉町、宮古市、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市	—	大雨、洪水、雷、濃霧、高潮
久慈地域、田野畑村、住田町、内陸	—	大雨、洪水、雷、濃霧

○ 9月12日の主な地点の降水量【単位 mm】

地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
		降水量	起時	降水量	起時
種市	32.5	23.5	15時26分	17.0	14時44分
軽米	11.5	11.5	16時50分	9.5	16時00分
大野	22.0	14.5	14時52分	12.5	14時04分
下戸鎖	14.5	7.5	17時40分	7.0	13時33分
岩泉	13.5	6.5	14時22分	4.0	13時33分
釜石	12.5	12.0	13時29分	12.0	12時39分

○ 9月12日12時~24時の主な地点の降水量時系列図



注1) 左縦軸 (棒グラフ) : 時間降水量、右縦軸 (折れ線) : 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位 : 千円)

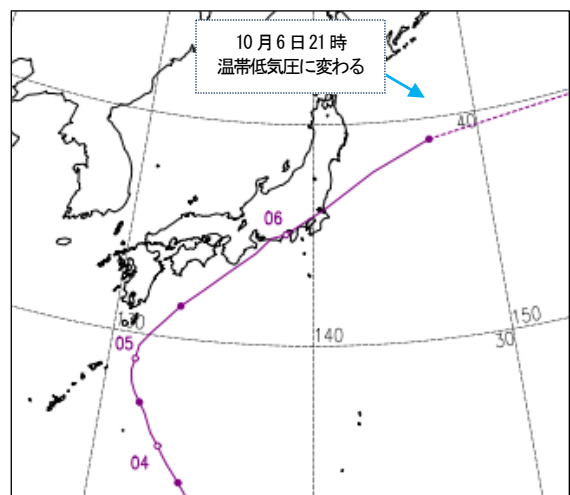
区分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	18,230	ピーマン、キャベツ等 26.60ha	岩手町、八幡平市、紫波町
	農業施設	4,000	パイプハウスの破損 9棟	岩手町
計		22,230		

15 10月6日の台風第18号災害

(1) 気象概況

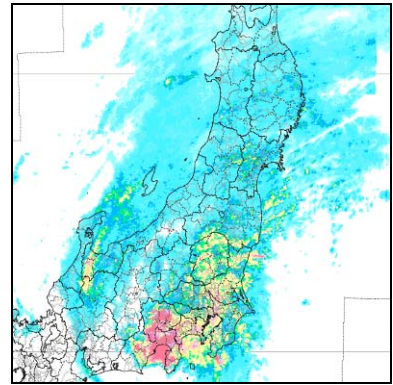
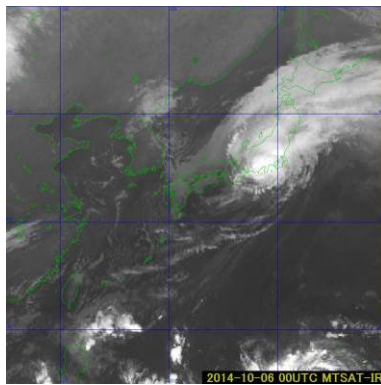
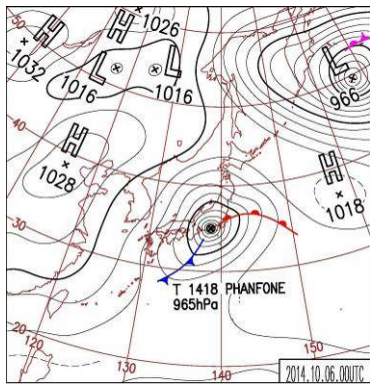
台風第18号は、10月5日に四国の南を北東に進み、6日に静岡県浜松市付近に上陸した。その後、関東の東海上へ抜けた後速度を増しながら北東へ進み、6日21時に三陸沖で温帯低気圧に変わった。岩手県では、6日の昼前から沿岸で雨が強くなり、6日の日降水量は、下戸鎖134.0mm、宮古128.5mm、小本115.5mmを観測した。また、6日朝から北よりの風が強まり、6日の日最大瞬間風速は、大船渡24.7m/s、新町24.6m/s、宮古23.0m/sを観測した。

○ 台風第18号の経路図

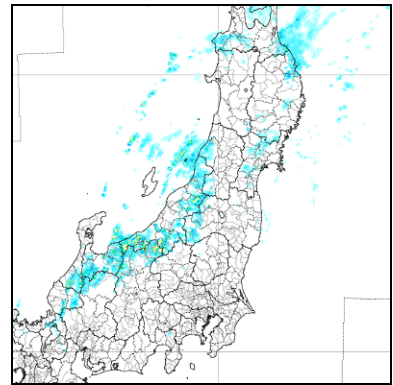
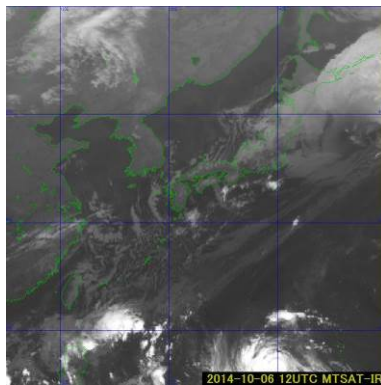
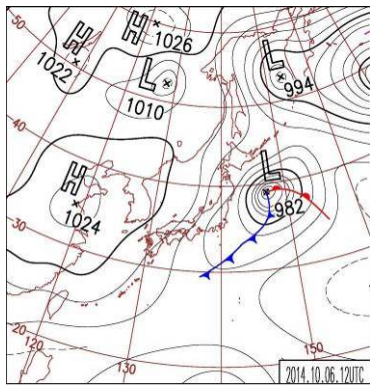


経路上の○印は傍らに記した日の09時、●印は21時の位置で、経路の実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

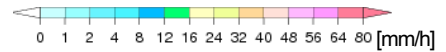
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



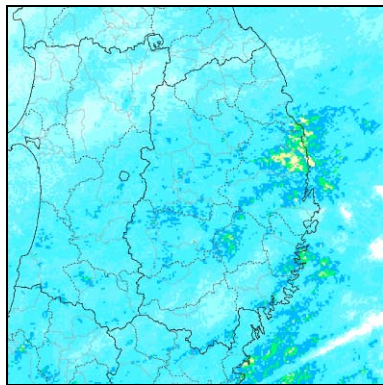
10月6日 09時



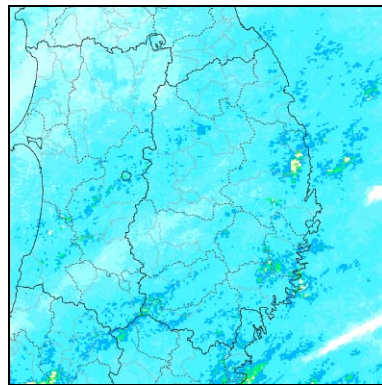
10月6日 21時



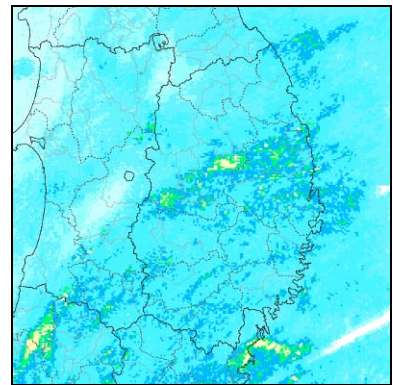
○ レーダー画像（降水強度）



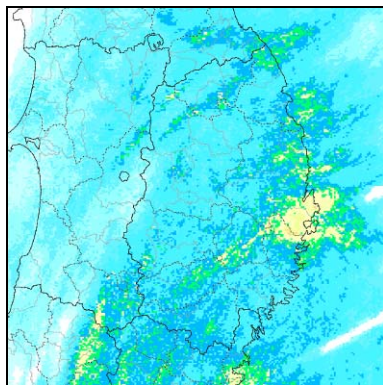
10月6日 10時



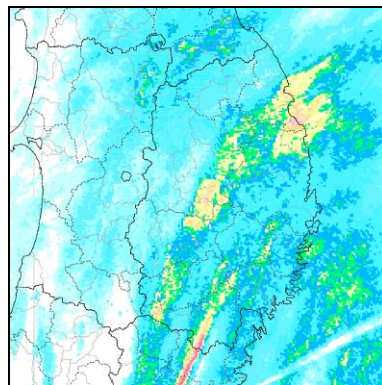
10月6日 11時



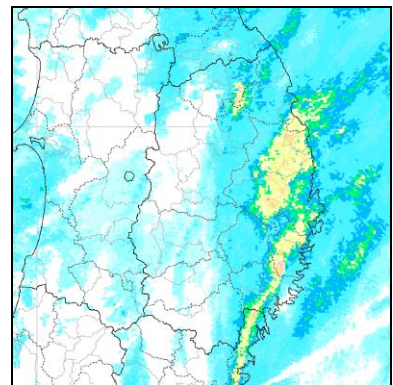
10月6日 12時



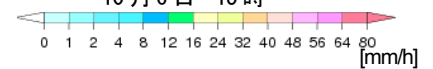
10月6日 13時



10月6日 14時



10月6日 15時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（10月6日：岩手県）

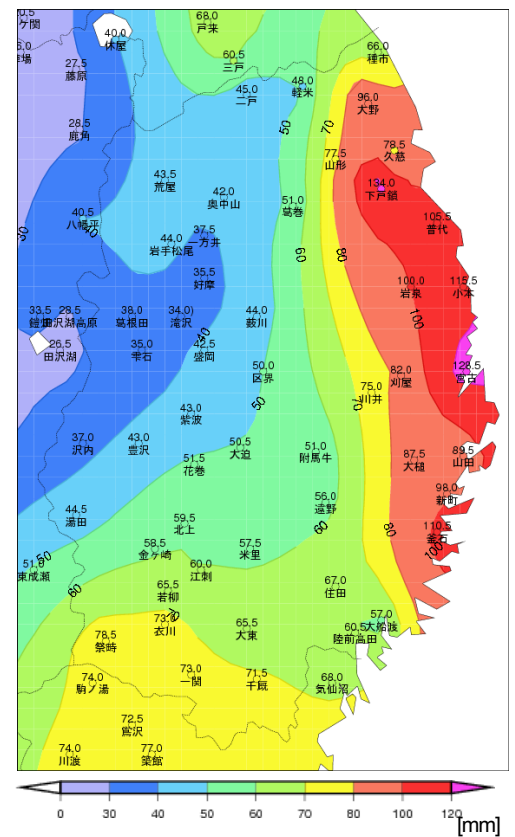
地域	警報	注意報
釜石地域、大船渡市、岩泉町	大雨、洪水、暴風、波浪	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、濃霧
久慈市、野田村、普代村、田野畑村、宮古市、山田町	大雨、暴風、波浪	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、濃霧
洋野町、陸前高田市	暴風、波浪	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、濃霧
盛岡市	大雨	大雨、洪水、強風、濃霧
内陸（盛岡市を除く）、住田町	—	大雨、洪水、強風、濃霧

気象情報
「平成26年台風第18号に関する岩手県気象情報」を第8号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を3回発表

○ 10月6日の主な地点の降水量【単位 mm】

地点名	日降水量	日最大1時間降水量		日最大10分間降水量	
		降水量	起時	降水量	起時
下戸鎖	134.0	19.0	14時34分	4.5	14時27分
普代	105.5	16.0	12時18分	3.5	12時06分
岩泉	100.0	14.0	14時37分	3.0	14時07分
小本	115.5	15.0	11時52分	3.0	20時30分
滝沢	34.0]	7.0]	10時56分	1.5)	10時50分
宮古	128.5	13.5	11時49分	3.0	09時11分
新町	98.0	14.0	13時55分	3.0	13時42分
釜石	110.5	14.0	13時40分	3.0	14時13分

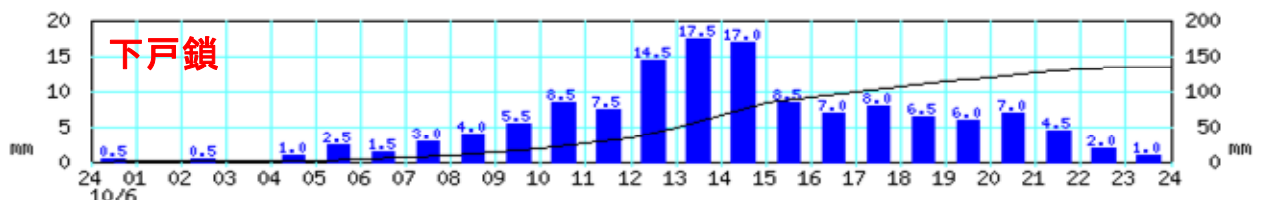
値)： 準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲（20%以内）で欠けている場合。
 値]： 資料不足値。統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合。

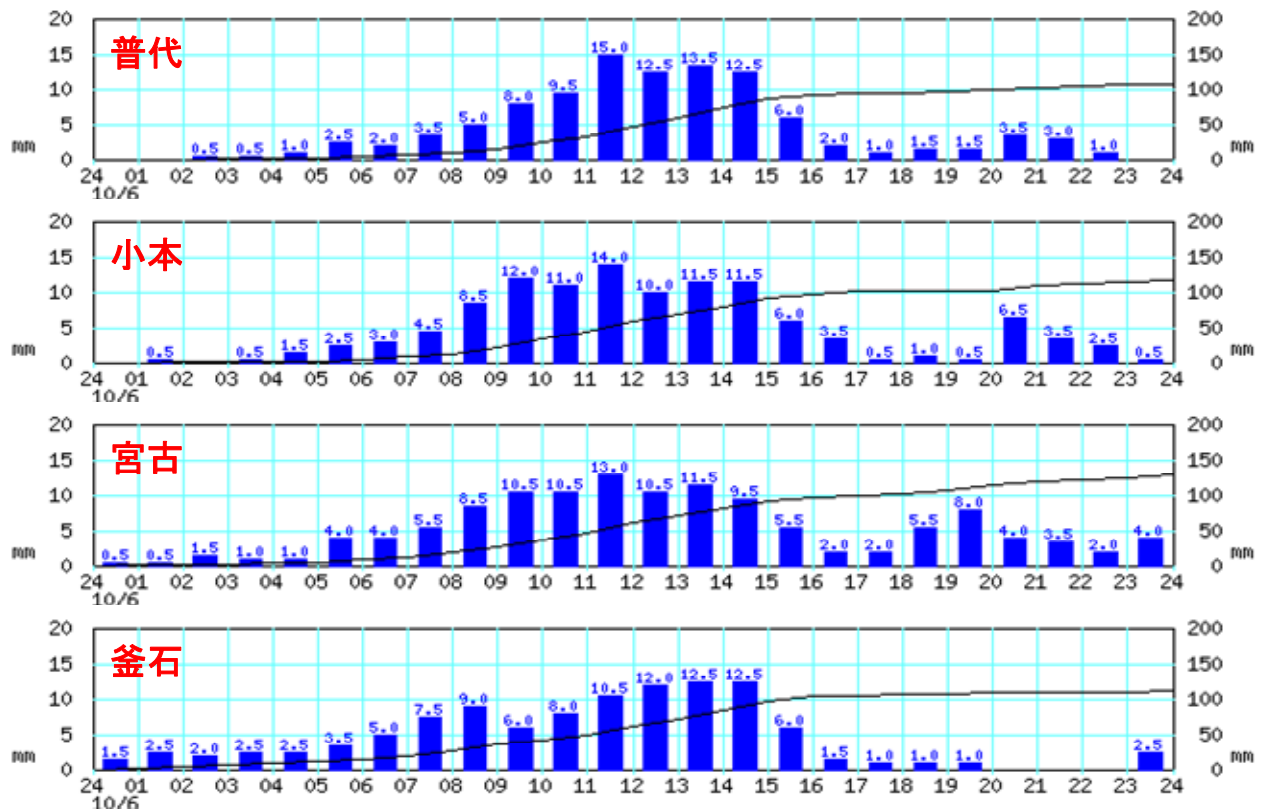


右図 10月6日の日降水量の分布図

○ 10月6日00時～24時の主な地点の降水量時系列図

注1) 左縦軸（棒グラフ）：時間降水量、右縦軸（折れ線）：降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

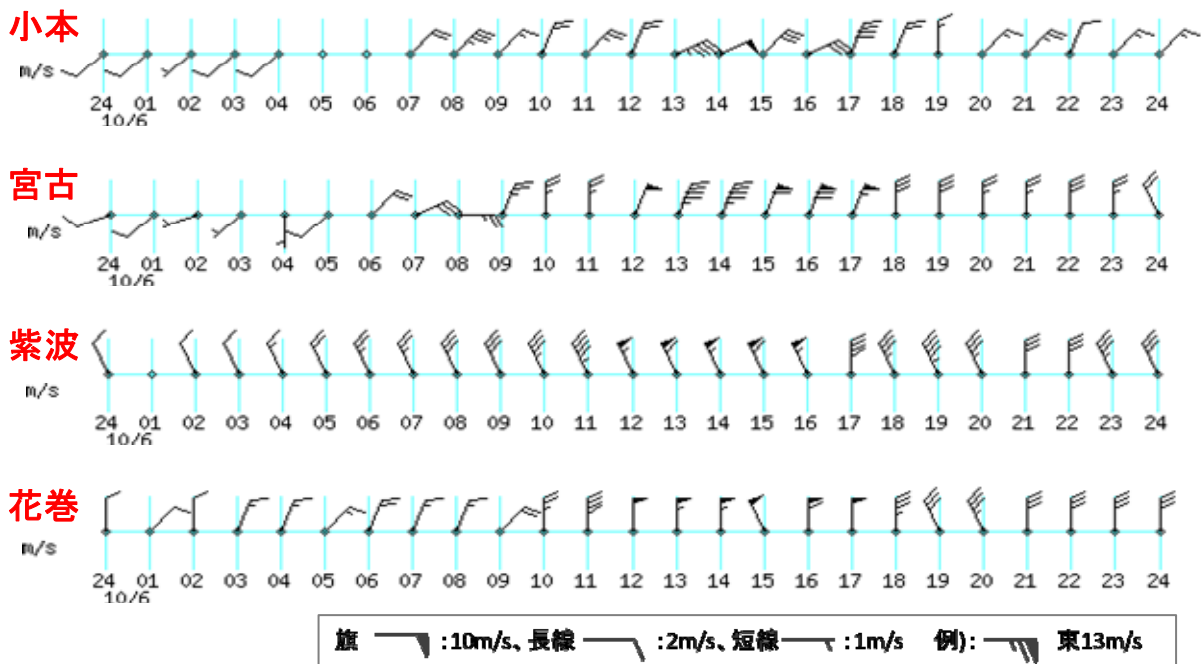




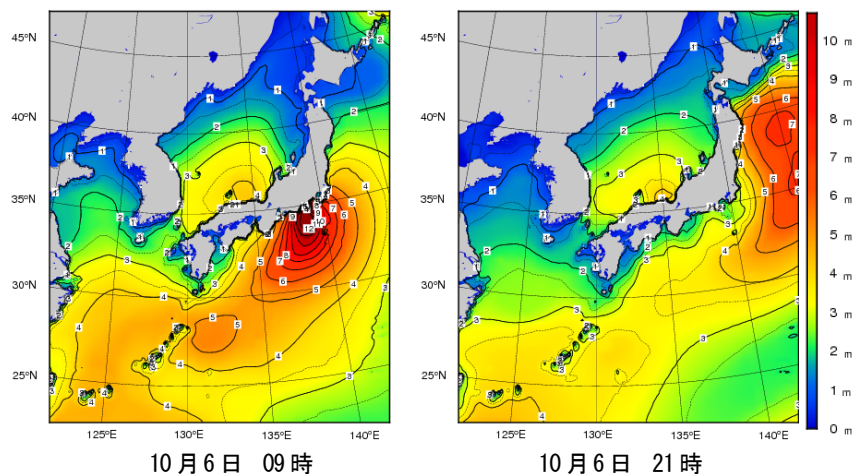
○ 10月6日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	風速	風向	起時	風速	風向	起時
小本	11.4	北北東	16時47分	20.1	北東	16時39分
宮古	14.8	北北東	15時46分	23.0	北北東	15時54分
紫波	12.4	北	15時55分	18.5	北	13時22分
花巻	11.8	北	15時57分	18.0	北	14時17分
新町	11.5	北北西	16時52分	24.6	北西	14時03分
大船渡	11.3	北	14時40分	24.7	北北東	14時19分

○ 10月6日00時～24時の主な地点の風向・風速時系列図



○ 沿岸波浪図 (10月6日)



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m毎の実線と0.5mごとの破線（4m未満の領域のみ）を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

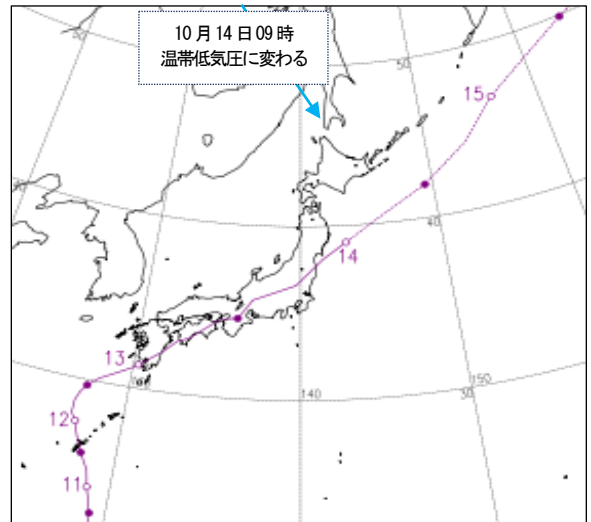
区分		被害額	被害状況	被害地域
水産業	漁具	1,000	定置網の破損 1ヶ統	山田町
	養殖施設	50	養殖施設の破損 1箇所	山田町
	水産物	1,705	養殖物の落下 ホタテ 0.45 t、殻付きかき 9.7千個	宮古市、山田町
計		2,755		

16 10月14日の台風第19号災害

(1) 気象概況

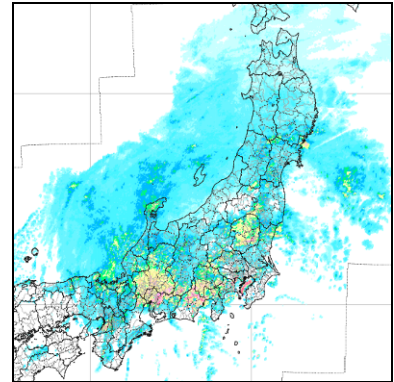
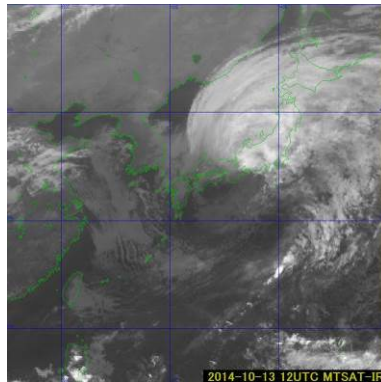
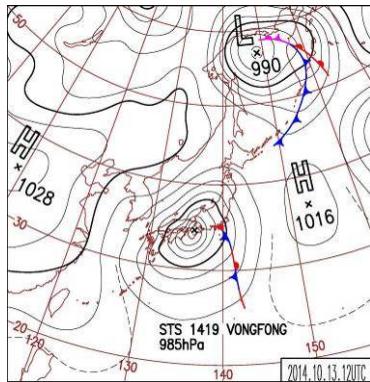
台風第18号は、10月12日東シナ海を北東に進み、13日に鹿児島県枕崎市付近に上陸した。その後は本州を縦断し、14日に三陸沖へ抜け14日09時に温帯低気圧に変わった。岩手県では、13日の夜の始め頃から雨が降りだし、14日の明け方から朝にかけて沿岸で大雨となった。13日から14日にかけての総降水量は、釜石で153.0mm、下戸鎖で130.0mm、新町で126.0mmを観測した。また、14日朝から北よりの風が強まり、14日の日最大瞬間風速は、大船渡で27.8m/s、宮古で26.0m/s、新町で24.6m/s、盛岡で24.4m/sを観測した。

○ 台風第19号の経路図

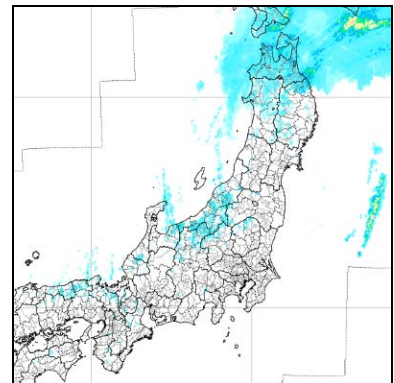
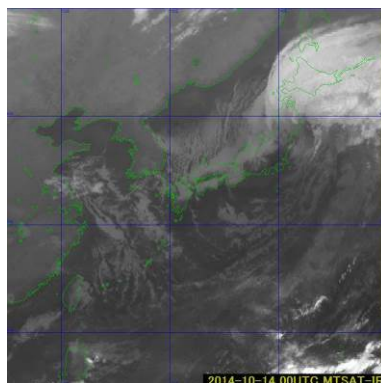
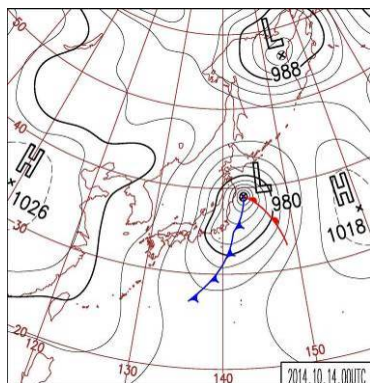


経路上の○印は傍らに記した日の09時、●印は21時の位置で、経路の実線は台風、破線は温帯低気圧の期間を示す。

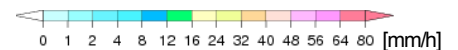
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



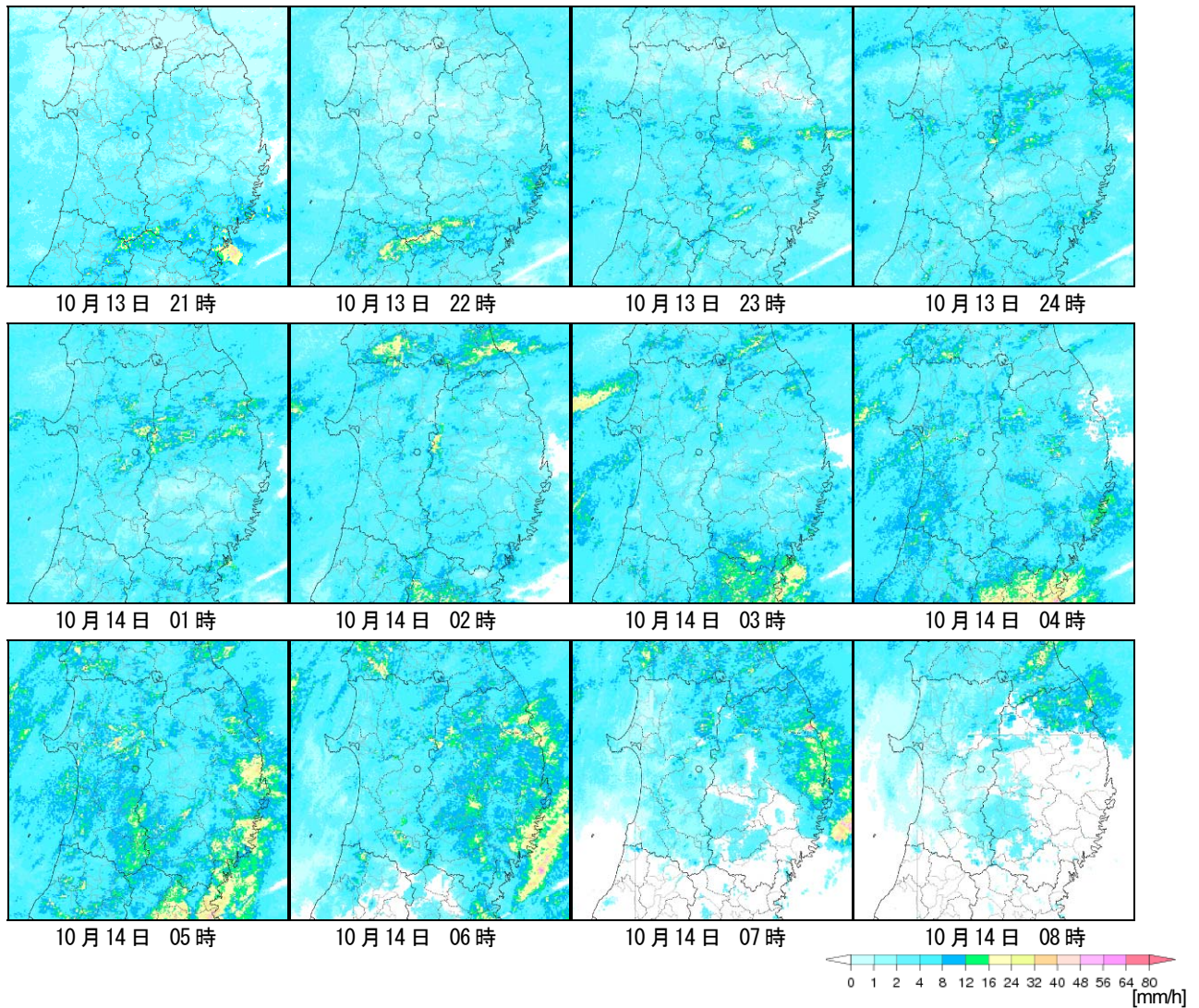
10月13日 21時



10月14日 09時



○ レーダー画像（降水強度）



○ 関連する警報・注意報（霜注意報を除く）等の発表状況（10月14日：岩手県）

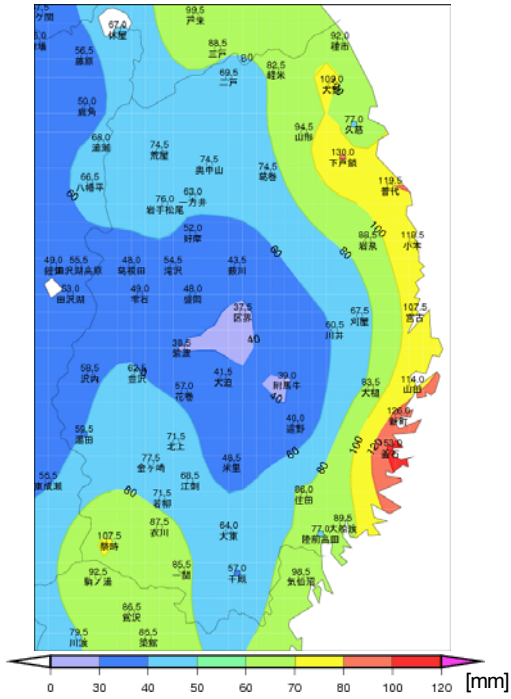
地域	警報	注意報
沿岸北部、沿岸南部（住田町を除く）	大雨、洪水、暴風、波浪	大雨、洪水、強風、波浪、高潮、雷、濃霧
住田町	大雨、洪水、暴風	大雨、洪水、強風、雷、濃霧
内陸	大雨、洪水	大雨、洪水、強風、雷、濃霧

気象情報
「平成26年台風第19号に関する岩手県気象情報」を第8号まで発表
「岩手県土砂災害警戒情報」を3回発表

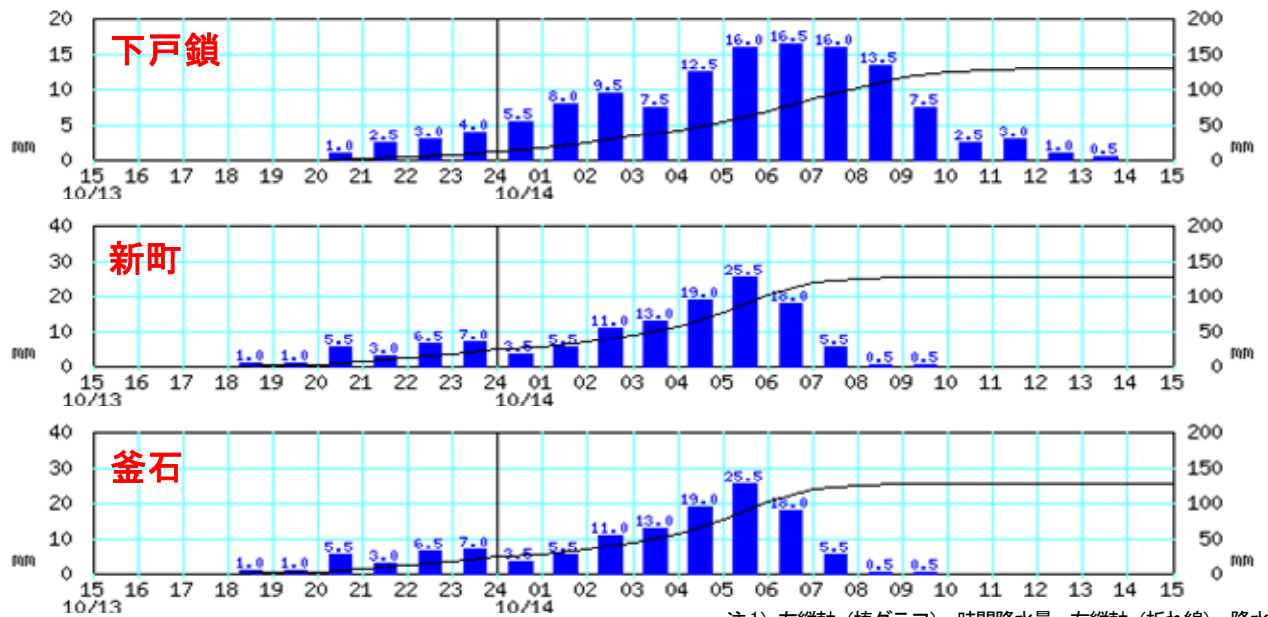
○ 10月13日～14日の主な地点の降水量【単位 mm】

地点名	日降水量		合計	日最大1時間降水量			日最大10分間降水量		
	13日	14日		降水量	起日	起時	降水量	起日	起時
大野	9.5	100.0	109.5	14.0	14日	08時13分	3.0	14日	07時52分
下戸鎖	10.5	119.5	130.0	19.0	14日	07時37分	3.5	14日	07時25分
普代	14.0	105.5	119.5	18.0	14日	07時31分	3.5	14日	07時35分
小本	15.5	103.0	118.5	20.5	14日	07時29分	4.0	14日	07時13分
宮古	17.5	90.0	107.5	20.0	14日	06時49分	3.5	14日	06時49分
山田	28.0	86.0	114.0	19.0	14日	06時36分	4.0	14日	06時34分
新町	24.0	102.0	126.0	25.5	14日	06時12分	5.0	14日	05時44分
釜石	29.0	124.0	153.0	31.5	14日	06時06分	6.5	14日	05時42分
祭時	44.0	64.5	108.5	16.5	14日	05時40分	3.5	14日	05時27分

○ 10月13日15時～14日15時の降水量の分布図



○ 10月13日15時～14日15時の主な地点の降水量時系列図

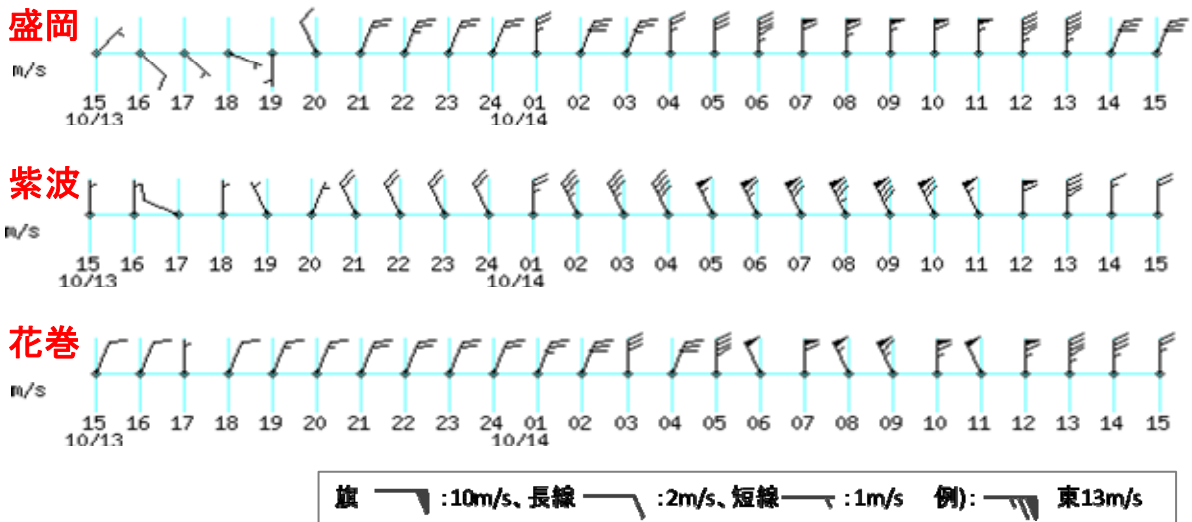


注1) 左縦軸 (棒グラフ) : 時間降水量、右縦軸 (折れ線) : 降水量積算値
 注2) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

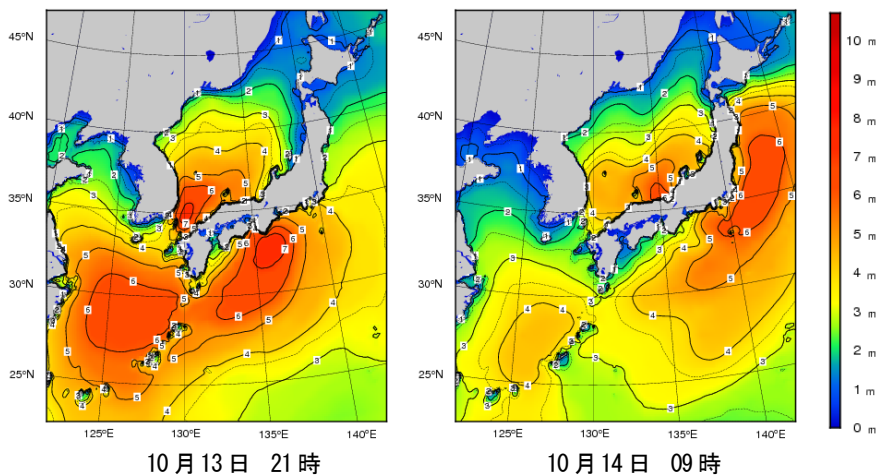
○ 10月14日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	風速	風向	起時	風速	風向	起時
久慈	10.7	北北東	09時26分	20.9	北	09時08分
好摩	10.1	北	09時29分	17.1	北	09時22分
岩泉	11.5	東北東	09時22分	20.5	東北東	09時15分
盛岡	13.5	北	07時22分	24.4	北	07時26分
宮古	12.0	北北東	06時02分	26.0	北	09時44分
紫波	16.7	北北西	09時03分	24.3	北北西	09時36分
花巻	14.6	北	09時35分	23.7	北	09時11分
新町	13.0	北	07時56分	24.6	北北西	08時19分
若柳	11.5	北	11時16分	18.7	北西	08時44分
江刺	11.3	北北西	11時26分	22.9	北北西	11時22分
住田	10.1	西	10時57分	15.3	北北西	08時45分
大船渡	11.5	北西	11時54分	27.8	北	07時02分
千厩	10.2	北西	07時45分	21.4	北西	11時40分

○ 10月13日15時～14日15時の主な地点の風向・風速時系列図



○ 沿岸波浪図 (10月13日～14日)



【図の説明】

- ・波の高さを等波高線で示す。等波高線は、1m 毎の実線と 0.5m ごとの破線 (4m 未満の領域のみ) を表示。
- ・波の高さは「有義波高」で示す。

(2) 被害状況

(単位：千円)

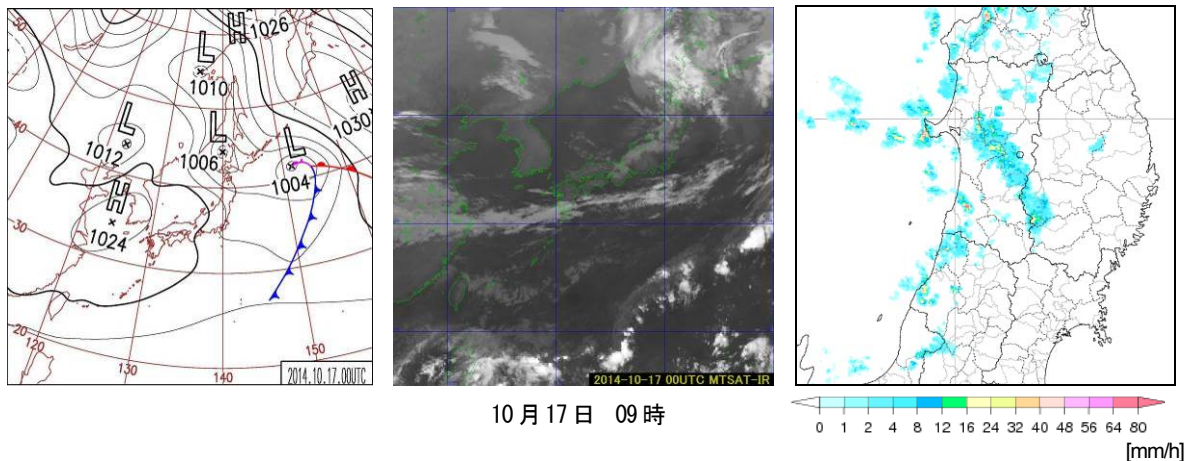
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農畜産物	84,406	りんご等 402.31ha	花巻市、盛岡市、一関市等 10 市町
	農業施設	3,688	パイプハウス破損等 44 棟	紫波町、奥州市、花巻市等 6 市町
	農地・農業用施設	5,000	農道の路肩崩壊等 3 箇所	宮古市、陸前高田市
林 業	林業施設	4,000	治山施設の一部崩壊 2 箇所	一関市、釜石市
	林地荒廃	4,000	山腹崩壊 1 箇所	久慈市
水産業	漁船	100	漁船の損傷 1 隻	山田町
	漁具	200	定置網の損傷 2ヶ統	普代村
	養殖施設	398	養殖施設の破損等 10 台	大槌町
	水産物	13,754	養殖物の落下 カキ殻付き 107.9 千個、カキ・ホタテむき身 11.9 t	山田町、宮古市、大船渡市
計		115,546		

17 10月17日の強風災害

(1) 気象概況

10月17日09時に低気圧が日本海北部にあつて、南から暖かく湿った空気が流れ込む一方、東北地方の上空約5,500mには-21℃以下の寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になった。岩手県内は17日の昼前から西より風が強まり、沢内では11時48分に日最大風速8.9m/sを観測し10月としての極値を更新した。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



○ 関連する警報・注意報（霜注意報を除く）の発表状況（10月17日：岩手県）

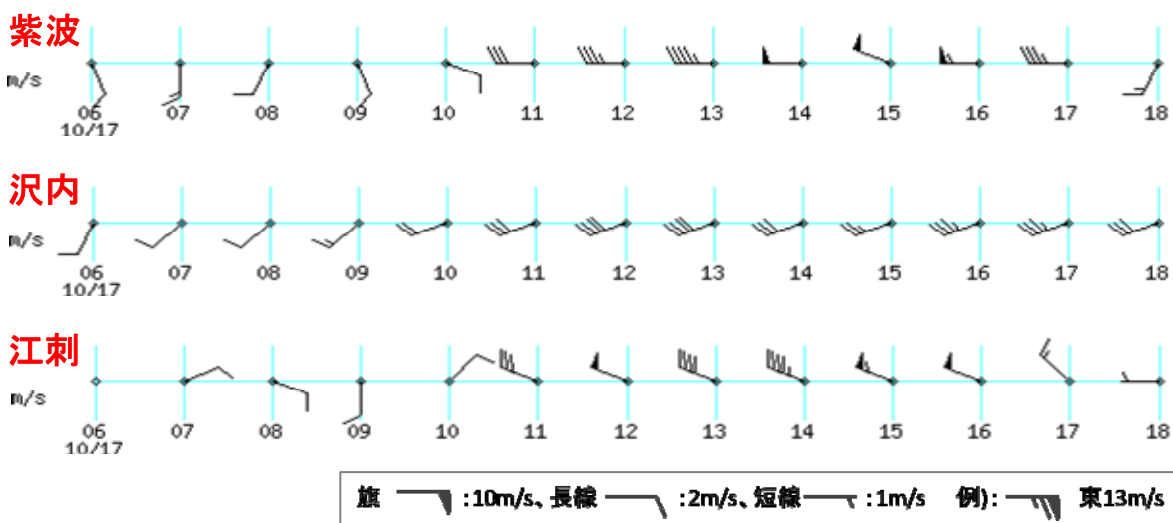
地域	警報	注意報
岩手県	—	強風、雷、濃霧

○ 10月17日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	風速	風向	起時	風速	風向	起時
久慈	10.5	西南西	13時50分	19.6	西南西	13時50分
雫石	11.3	西	15時35分	18.0	西	15時34分
紫波	13.4	西	15時44分	22.9	西	15時40分
沢内	8.9	西南西	11時48分	17.7	西	12時12分
遠野	11.4	西	12時46分	20.2	西	16時04分
江刺	12.2	西北西	15時27分	19.1	西北西	15時30分

※網掛けは10月としての極値更新（統計期間10年以上）

○ 10月17日06時～18時の主な地点の風向・風速時系列図



○ 極値更新状況（10月：統計期間10年以上の要素）

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	起時	統計開始
沢内	m/s	日最大風向風速	1	西南西 8.9	17日	11時48分	1977年

(2) 被害状況

(単位：千円)

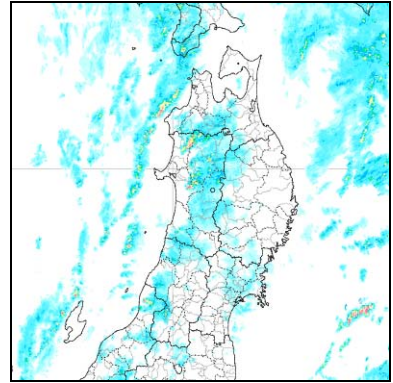
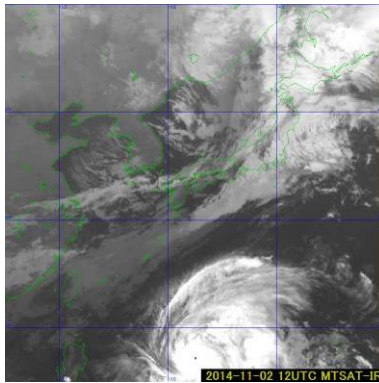
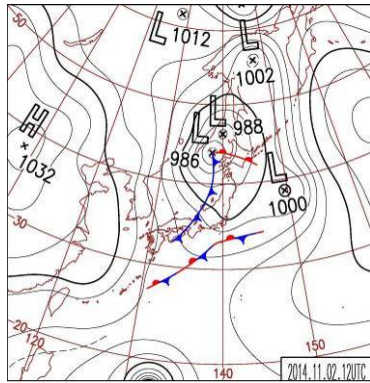
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	48,569	りんご 67.00ha	花巻市、北上市
	農業施設	1,347	パイプハウス破損 21棟	花巻市
計		49,916		

18 11月2日から3日の強風災害

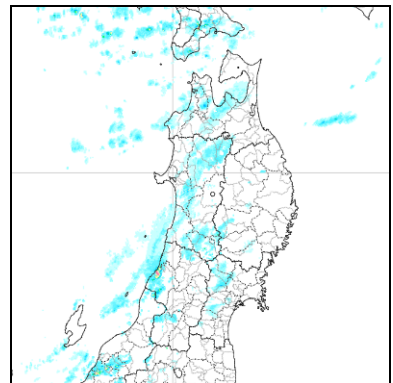
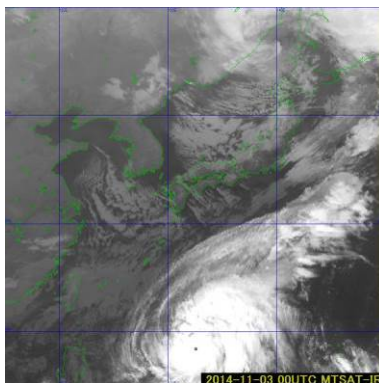
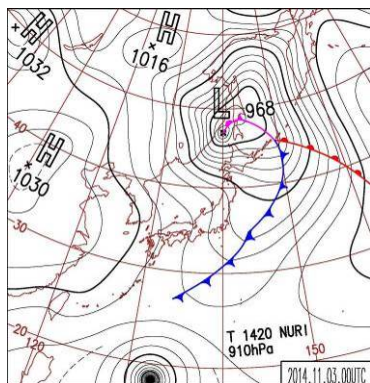
(1) 気象概況

11月2日から3日にかけて日本海中部の低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、この低気圧からのびる寒冷前線が3日未明には東北地方を通過し、前線の通過後は冬型の気圧配置となった。このため岩手県内は3日の未明から西よりの風が強まり、最大瞬間風速は久慈 25.0m/s、雫石 22.5m/s、新町 22.1m/s、岩泉 21.4m/s、大船渡 21.0m/s を観測した。

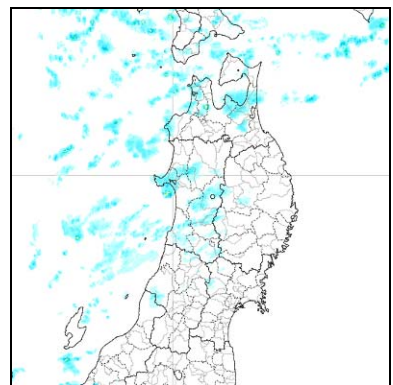
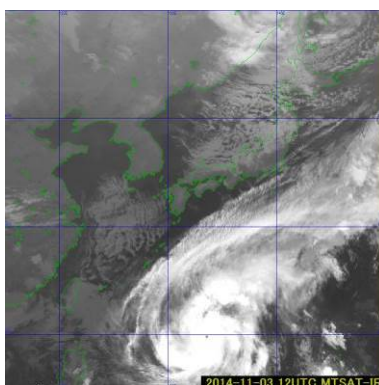
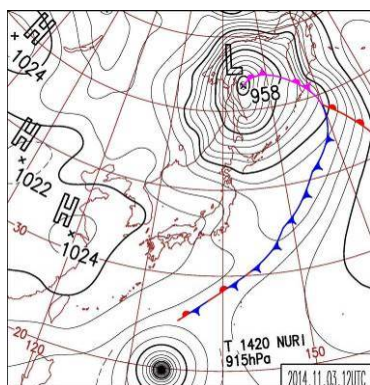
○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



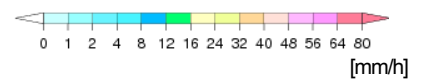
11月2日 21時



11月3日 09時



11月3日 21時



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（11月2日～3日：岩手県）

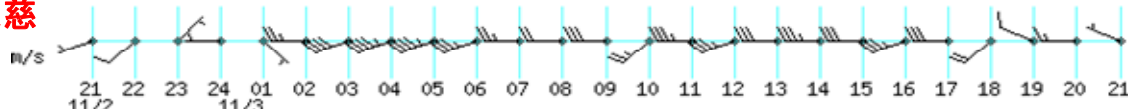
地域	警報	注意報
岩手県	—	強風、雷、濃霧
気象情報		
「雷と突風に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表		

○ 11月3日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

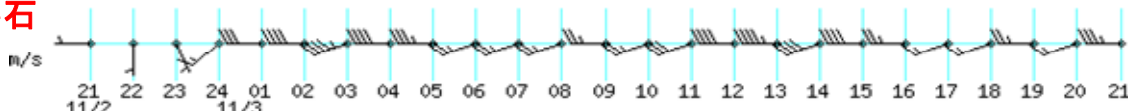
地点名	日最大風速			日最大瞬間風速		
	風速	風向	起時	風速	風向	起時
軽米	11.0	西北西	12時00分	19.5	北西	16時29分
久慈	12.5	西	04時29分	25.0	西	04時20分
葛巻	10.5	南南西	12時41分	19.8	南南西	12時38分
岩泉	11.4	西南西	03時44分	21.4	西南西	03時15分
雫石	12.2	西	01時42分	22.5	西南西	02時09分
盛岡	10.0	西南西	13時14分	18.5	西	12時48分
紫波	12.8	西	01時39分	18.7	西	01時35分
遠野	11.9	西	01時59分	22.4	西	02時43分
新町	10.4	西北西	05時20分	22.1	北北西	05時12分
江刺	10.1	西北西	01時38分	15.3	北西	01時32分
大船渡	12.2	北西	04時57分	21.0	北西	04時55分

○ 11月2日21時～3日21時の主な地点の風向・風速時系列図

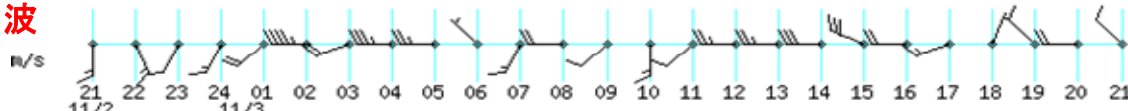
久慈



雫石



紫波



大船渡



旗 :10m/s、長線 :2m/s、短線 :1m/s 例) 東13m/s

(2) 被害状況

(単位：千円)

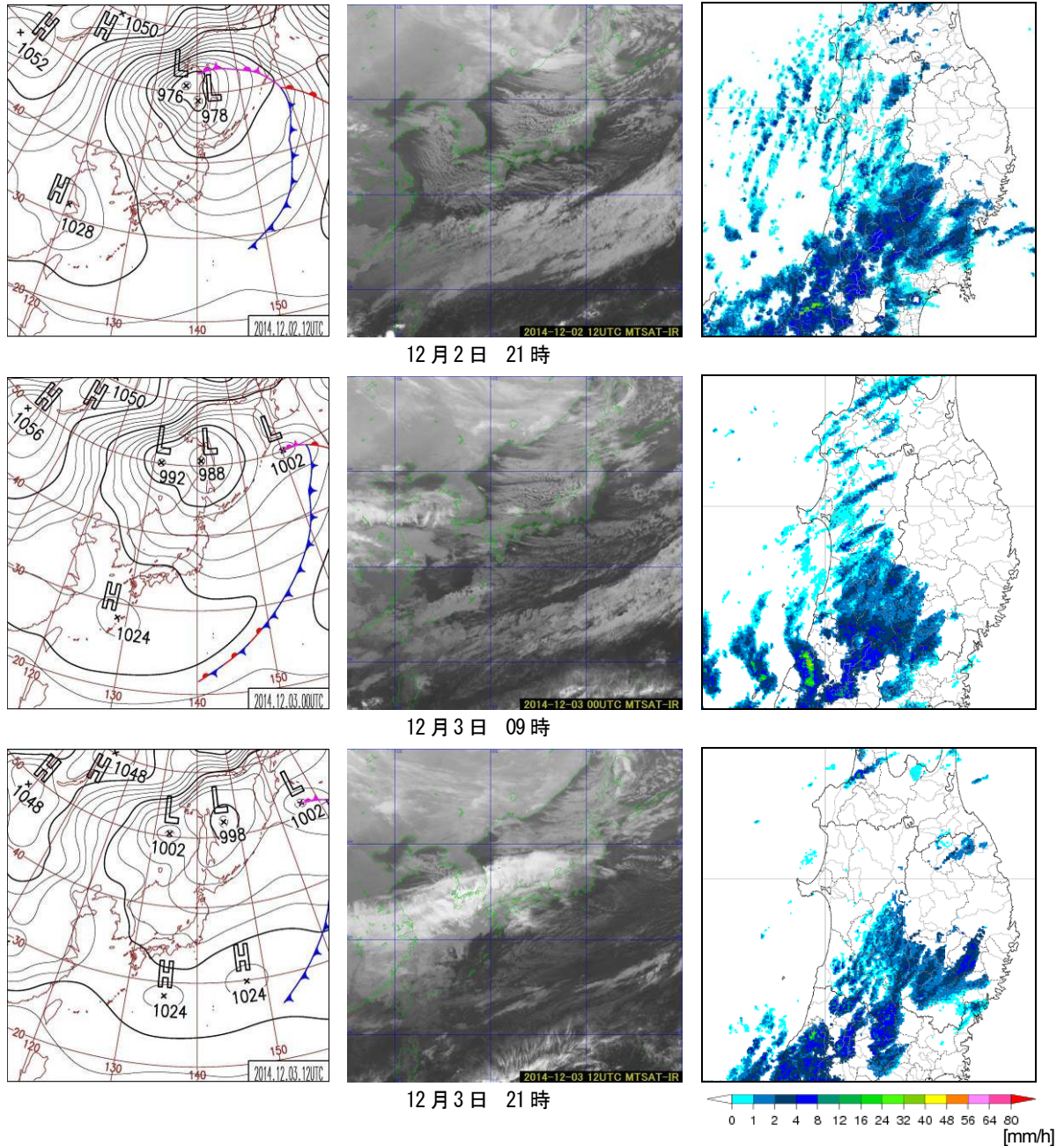
区分	被害額	被害状況	被害地域	
農業	農畜産物	6,385	りんご 32.00ha	二戸市、軽米町
	農業施設	20	パイプハウス破損 1棟	洋野町
計	6,405			

19 12月3日の大雪災害

(1) 気象概況

12月2日から3日にかけて発達した低気圧がサハリン付近にあり、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。また、上空約5000mには -36°C 以下の寒気が流れ込んだ影響で、岩手県内は全域で雪となり、内陸を中心に大雪となった。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



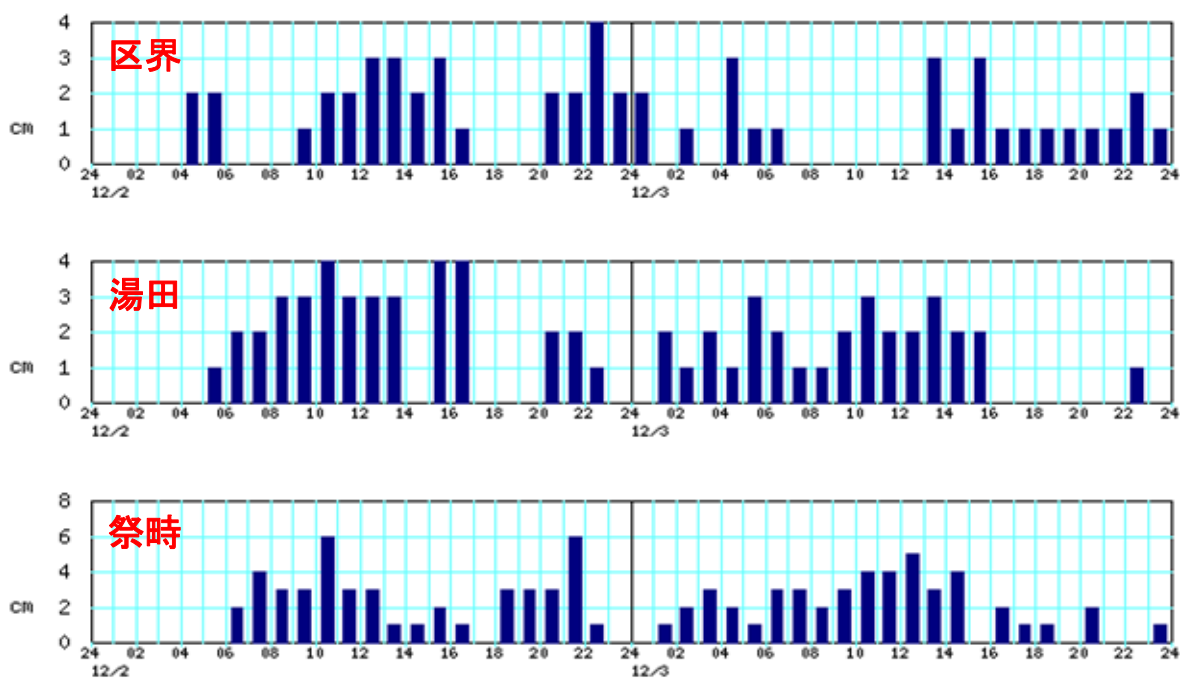
○ 関連する警報・注意報等の発表状況（12月2日～3日：岩手県）

地域	警報	注意報
奥州金ヶ崎地域、一関市	大雪	大雪、なだれ、着雪
二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市	—	大雪、なだれ、着雪
宮古地域	—	大雪、風雪、波浪、なだれ、着雪
久慈地域、沿岸南部(住田町を除く)	—	風雪、波浪
気象情報		
「大雪に関する岩手県気象情報」を第2号まで発表		

○ 12月2日～3日の主な地点の日最深積雪と日降雪量【単位 cm】

地点名	12月2日		12月3日	
	日最深積雪	日降雪量	日最深積雪	日降雪量
奥中山	13	14	32	23
葛巻	0	0	16	20
盛岡	13	15	19	11
区界	31	31	53	24
湯田	37	37	65	30
祭時	45	45	89	47

○ 12月2日00時～3日24時の主な地点の降雪量時系列図



注1) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

(2) 被害状況

(単位：千円)

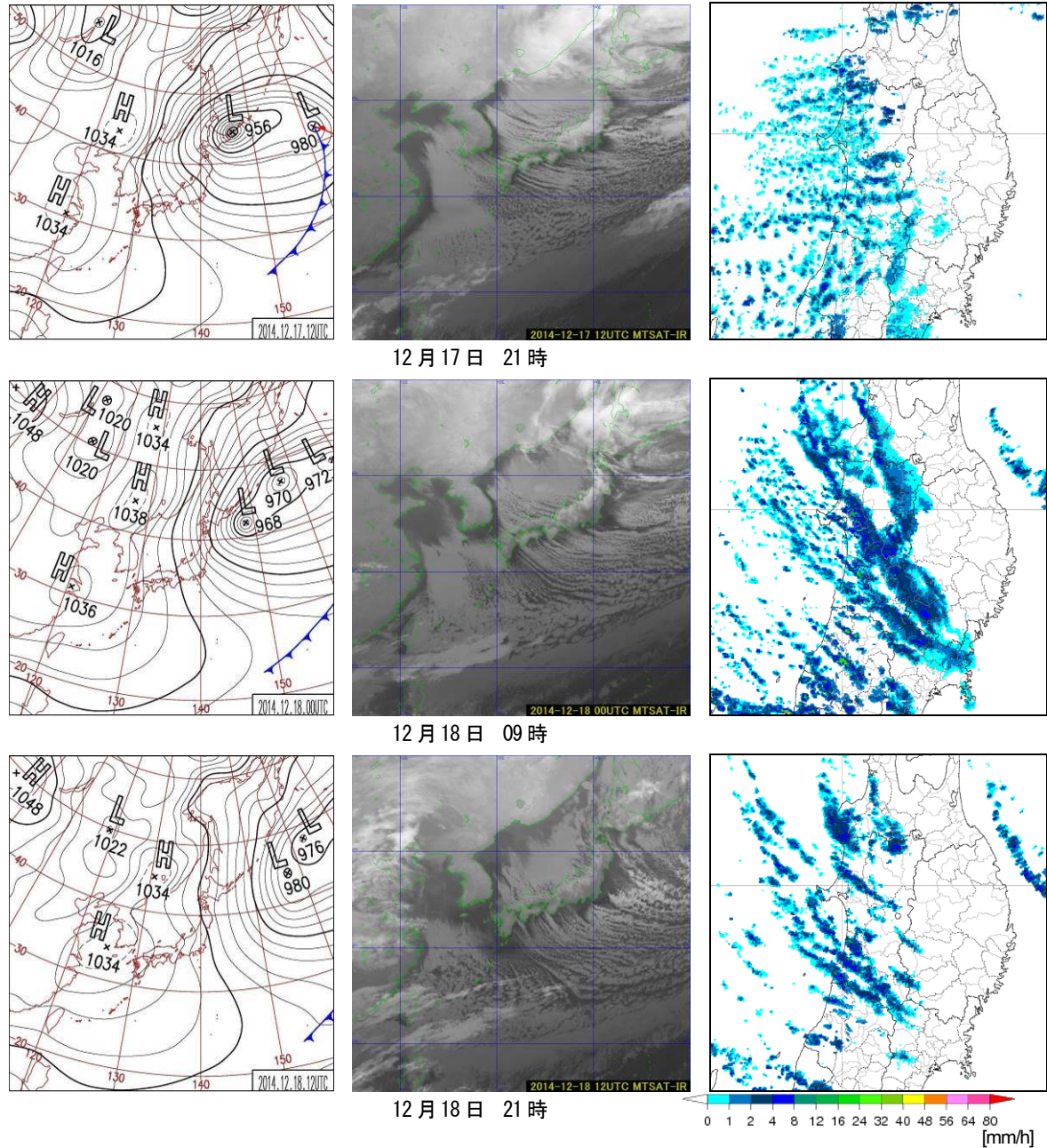
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	25,993	畜舎損壊 1棟、ぶどう棚倒壊 7件、 パイプハウス破損 7棟	紫波町、花巻市、北上市
計		25,993		

20 12月17日の暴風雪災害

(1) 気象概況

12月17日から18日にかけて北海道の東に発達した低気圧があり、ゆっくり南東へ進んだ。また、日本の上空には強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。このため岩手県内は雪が降り西よりの風が強くなり暴風雪となった。18日の日最大風速は釜石で13.8m/sを観測し12月としての極値を更新した。

○ 地上天気図、気象衛星赤外画像、レーダー画像（降水強度）



○ 関連する警報・注意報等の発表状況（12月17日～18日：岩手県）

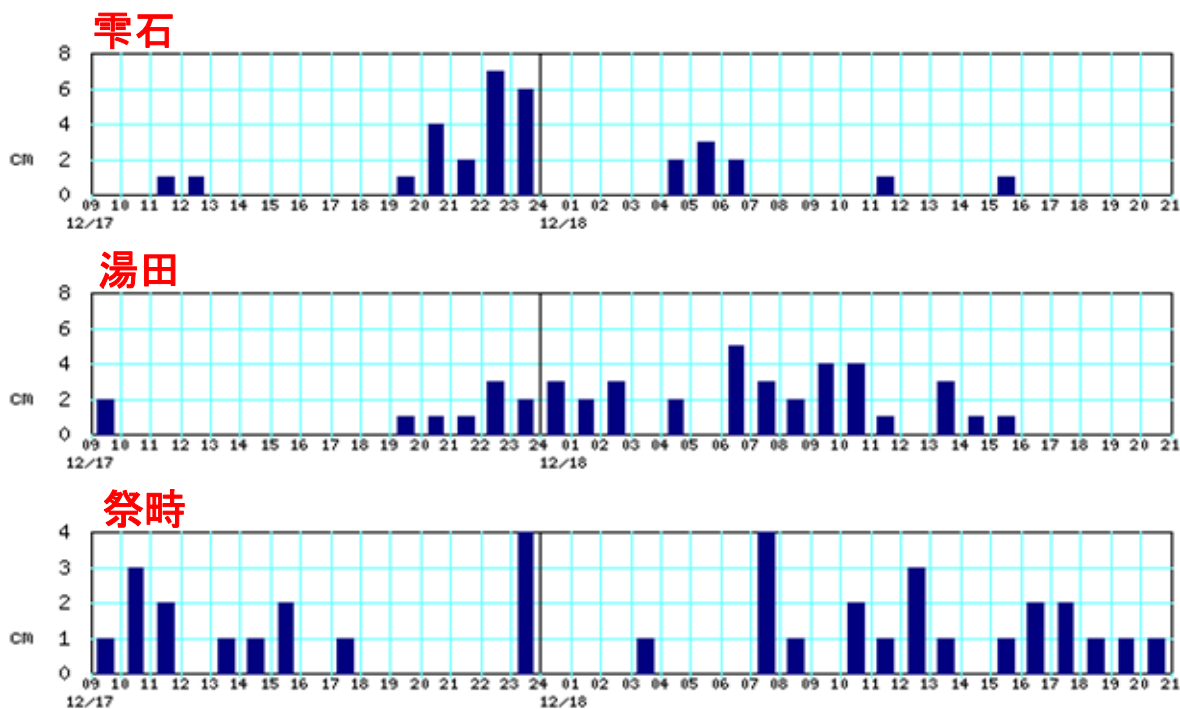
地域	警報	注意報
宮古地域	暴風雪	大雪、強風、風雪、波浪、高潮、濃霧、なだれ、着雪
久慈地域	暴風雪	強風、風雪、波浪、高潮、濃霧
沿岸南部(住田町を除く)	暴風雪	強風、風雪、波浪、濃霧
住田町	—	風雪、濃霧
内陸(遠野市、平泉町を除く)	—	大雪、風雪、濃霧、なだれ、雷、着雪
遠野市、平泉町	—	大雪、風雪、濃霧、雷、着雪

気象情報
「暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報」を第5号まで発表

○ 12月17日～18日の主な地点の日最深積雪と日降雪量【単位 cm】

地点名	12月17日		12月18日	
	日最深積雪	日降雪量	日最深積雪	日降雪量
奥中山	45	9	46	3
雫石	45	23	49	9
区界	45	17	48	6
湯田	80	12	112	34
祭時	84	25	98	22

○ 12月17日09時～18日21時の主な地点の降雪量時系列図



注1) 縦軸のスケールが異なる場合がある。

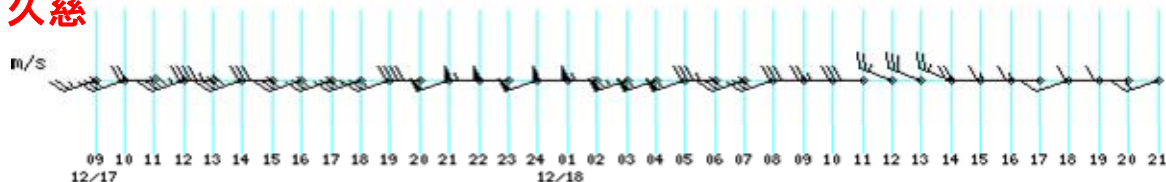
○ 12月17日～18日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速【単位 m/s】

地点名	日最大風速				日最大瞬間風速			
	風速	風向	起日	起時	風速	風向	起日	起時
久慈	13.8	西南西	18日	02時53分	23.9	西南西	18日	02時51分
岩泉	11.6	西南西	17日	11時03分	27.3	西北西	17日	10時32分
小本	11.6	南西	18日	04時59分	24.4	西南西	18日	03時31分
雫石	11.5)	西南西)	17日	11時08分	21.4)	西)	17日	10時24分
紫波	13.2	西北西	17日	02時55分	21.2	西	17日	02時49分
沢内	11.1	西南西	17日	20時17分	22.2	西南西	17日	21時40分
遠野	11.4	西	18日	01時20分	22.5	西	17日	14時48分
新町	14.4	北西	18日	00時06分	29.3	北西	17日	23時59分
釜石	13.8	西	18日	00時37分	31.2	西	18日	00時40分
江刺	11.6	西	18日	01時15分	22.3)	西)	17日	03時46分
住田	12.8	西北西	17日	00時20分	23.5	西北西	17日	00時17分
大船渡	12.4	北西	18日	06時24分	22.3	北西	18日	04時29分

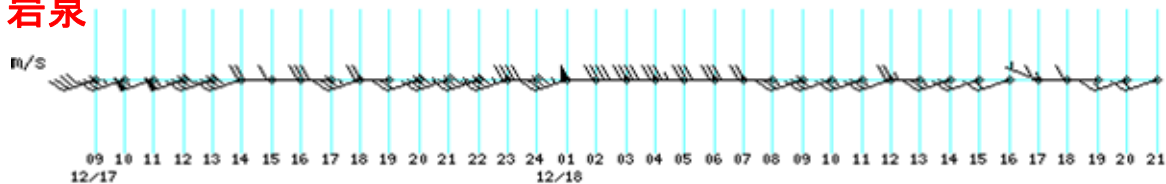
※網掛けは12月としての極値更新（統計期間10年以上）
 値）：準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲（20%以内）で欠けている場合。

○ 12月17日09時～18日21時の主な地点の風向・風速時系列図

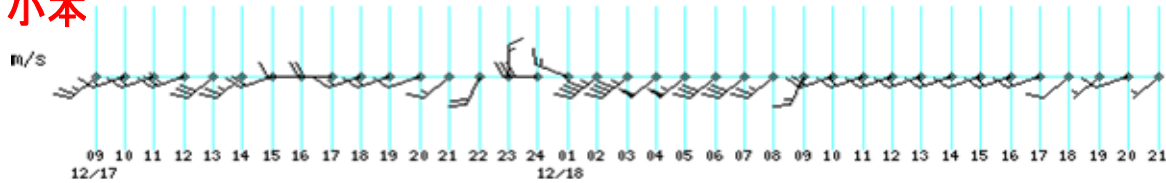
久慈



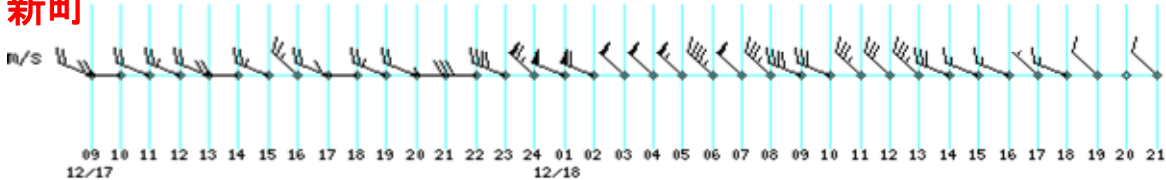
岩泉



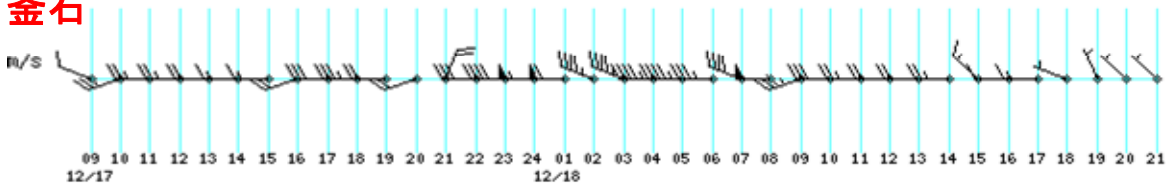
小本



新町



釜石



旗 — :10m/s、長線 — :2m/s、短線 — :1m/s 例) — 東13m/s

○ 極値更新状況 (12月：統計期間10年以上の要素)

地点名	単位	要素名	順位	値	起日	起時	統計開始
釜石	m/s	日最大風向風速	1	西 13.8	18日	00時37分	1976年

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	2,620	パイプハウス破損等 13 棟	奥州市、山田町、岩泉町
水産業	漁船	2,046	漁船の転覆等 8 隻	山田町、釜石市、大槌町
計		4,666		

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 2月9日の大雪・波浪災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(2) 畜産関係被害

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた畜産農家への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

イ 復旧対策事業

平成25年度の大雪による農業被害により被災した農業者に対し、農業経営を維持していくために必要な施設の復旧及び施設の撤去等について、「被災農業者向け経営体育成支援事業」により緊急的に支援した。

【事業の概要】

大雪による農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設の復旧等の経費を支援

- ① 農産物の生産に必要な施設の復旧又は被害前の当該施設と同程度の施設の取得
- ② 農産物の生産に必要な施設を修繕するために必要な資材の購入
- ③ ①と一体的に復旧し、又は取得する附帯施設の整備
- ④ 農産物の生産に必要な農業用機械及び附帯施設の取得
- ⑤ 倒壊した農産物の生産に必要な施設の撤去

補助率：国 1/2、県 1/6、市町村 1/6

(ただし、施設撤去は 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4)

実績：23 市町村、461 経営体、事業費 988,761 千円

2 2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(2) 畜産関係被害

農業共済の対象となる畜舎等の損壊や畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた畜産農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

イ 復旧対策事業

平成25年度の大雪による農業被害により被災した農業者に対し、農業経営を維持していくために必要な施設の復旧及び施設の撤去等について、「被災農業者向け経営体育成支援事業」により緊急的に支援した。

【事業の概要】

大雪による農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設の復旧等の経費を支援

- ① 農産物の生産に必要な施設の復旧又は被害前の当該施設と同程度の施設の取得
- ② 農産物の生産に必要な施設を修繕するために必要な資材の購入
- ③ ①と一体的に復旧し、又は取得する附帯施設の整備
- ④ 農産物の生産に必要な農業用機械及び附帯施設の取得
- ⑤ 倒壊した農産物の生産に必要な施設の撤去

補助率：国 1/2、県 1/6、市町村 1/6

(ただし、施設撤去は 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4)

実績：23市町村、461経営体、事業費 988,761千円

(4) 林業関係被害

ア 林業施設被害

しいたけ用ハウスや炭窯の破損など、県北部を中心に被害が発生した。復旧にあたっては、生産者の自力復旧によるほか、保険等の補償により対応した。

イ 森林被害

大雪の影響により沿岸部や内陸北部を中心に倒木等の被害が発生した。復旧にあたっては、森林整備事業等による被害木の除去等に対し支援している。

ウ 林地荒廃

林地荒廃の被害については、1箇所（久慈市）において人家の後背地が崩壊したことから、平成27年度県単治山（崩壊地復旧）事業で崩壊地を復旧することとしている。

(5) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんするかたちで共済金が支払われた。

(6) 漁港関係被害

漁港施設について、山田町の山田漁港（県営）、陸前高田市の長部漁港（県営）、洋野町の高家漁港（町営）において、防波堤、護岸、臨港道路が倒壊・損壊・舗装剥離被害が発生した。

本被害は、負担法の採択基準に該当しないことから、県単独災害復旧事業、町単独事業及び国補助事業（漁港施設機能強化事業）で復旧している。

3 3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農業者等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(2) 畜産関係被害

農業共済の対象となる畜舎等の損壊等により死亡・廃用等となった家畜（牛、豚）については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた畜産農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

イ 復旧対策事業

平成25年度の大雪による農業被害により被災した農業者に対し、農業経営を維持してい

くために必要な施設の復旧及び施設の撤去等について、「被災農業者向け経営体育成支援事業」により緊急的に支援した。

【事業の概要】

大雪による農業被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産施設の復旧等の経費を支援

- ① 農産物の生産に必要な施設の復旧又は被害前の当該施設と同程度の施設の取得
- ② 農産物の生産に必要な施設を修繕するために必要な資材の購入
- ③ ①と一体的に復旧し、又は取得する附帯施設の整備
- ④ 農産物の生産に必要な農業用機械及び附帯施設の取得
- ⑤ 倒壊した農産物の生産に必要な施設の撤去

補助率：国 1/2、県 1/6、市町村 1/6

(ただし、施設撤去は 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4)

実績：23 市町村、461 経営体、事業費 988,761 千円

(4) 林業関係被害

ア 森林被害

大雪の影響により北部を中心に倒木等の被害が発生した。復旧にあたっては、森林整備事業等による被害木の除去等に対し支援している。

(5) 水産関係被害

漁船の被害については、漁船保険に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。

4 10月14日の台風19号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる水稻、畑作物（大豆、そば、蚕繭）、果樹、園芸施設（パイプハウス等）や建物（住宅、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(2) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業について、関係機関への周知を行った。

(3) 林業関係被害

ア 林業施設被害

大雨により、林業施設（治山施設）が被災し、施設の一部が崩壊したことによる土砂の流出等が発生した。その規模は2箇所まで4,000千円となった。

釜石市の治山施設1箇所について、県単災害復旧事業にて復旧することとし、ほか1箇所

所についても、平成 27 年度の県単治山事業により、復旧整備することとしている。

(4) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんするかたちで共済金が支払われた。

V 参考資料

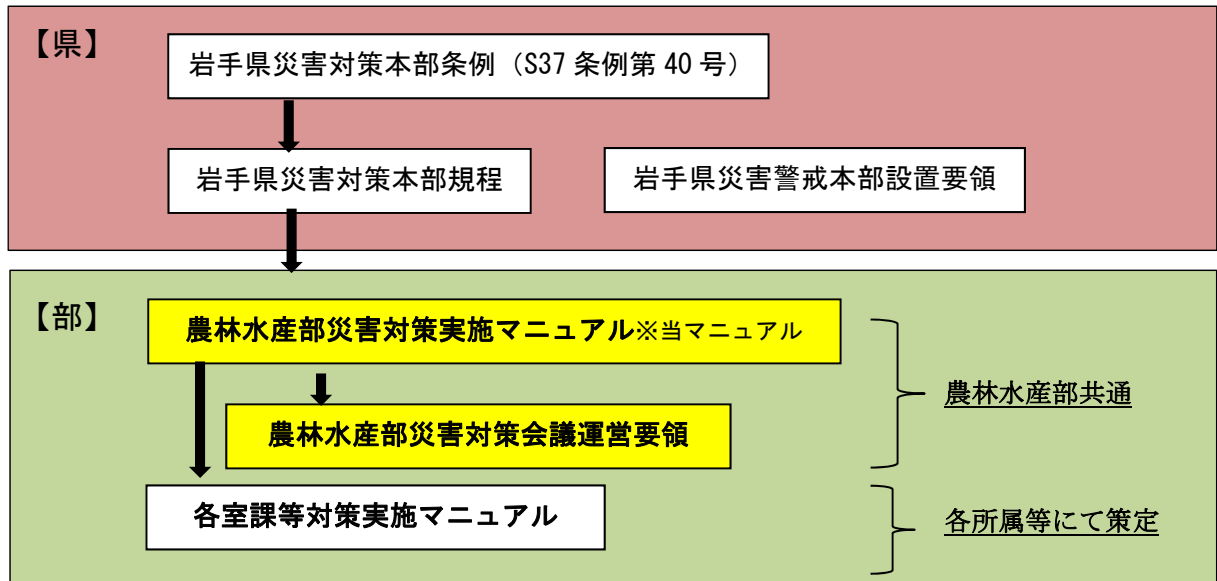
農林水産部災害対策実施マニュアル

制 定 平成 15 年 5 月 1 日
最終改定 平成 27 年 4 月 28 日

このマニュアルは、『岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）』第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害発生時」という。）において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』、『岩手県災害特別警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行われる。

また、岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、『岩手県災害警戒本部設置要領』別表又は『岩手県災害対策本部規程』別表第 5 に定める所管区域ごとに、関係する所管区域に地方支部が設置される。

なお、岩手県災害対策本部が設置された場合は、広域振興局に広域支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 「農林水産部災害対策実施マニュアル」

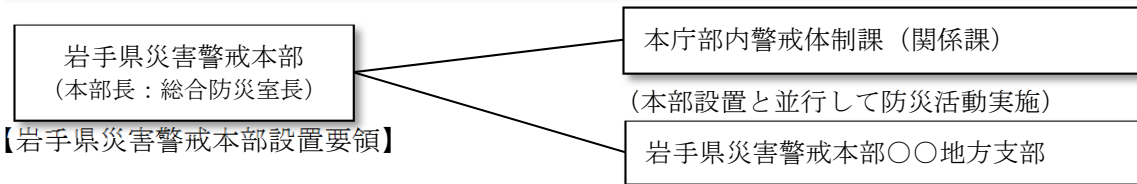
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法等を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置

主な設置基準

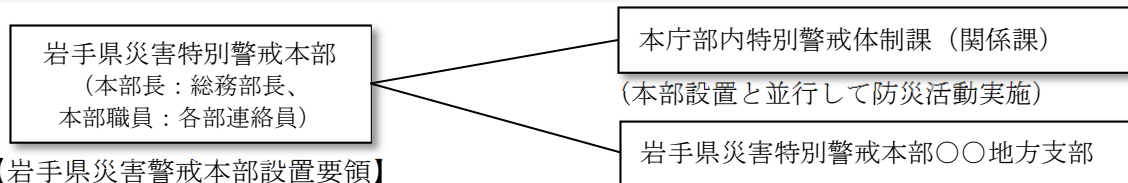
- 気象警報又は洪水警報などが発表された場合
- 北上川上流、雫石川、猿ヶ石川洪水予報のうち洪水警報（はん濫警戒情報・はん濫危険情報・はん濫発生情報）が発表された場合
- 大規模な火災、爆発等が発生した場合で、総合防災室長が必要と認めたとき
- 県内に震度4又は震度5弱の地震が発生した場合
- 原子力事業者から原子力災害対策指針に示された警戒事態に該当する事象等の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害特別警戒本部の設置

主な設置基準

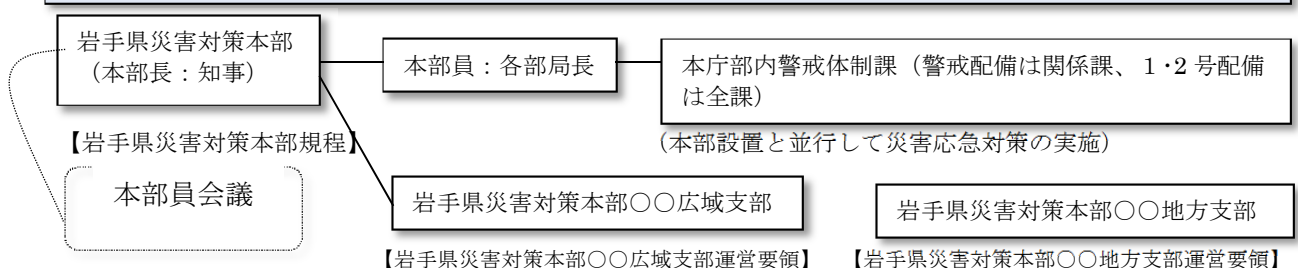
- 災害警戒本部の設置基準において、総務部長が応急措置の実施のため関係機関との調整が必要と判断したとき
- 津波注意報が発表された場合
- 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報レベル3が発表された場合
- 原子力事業者から特定事象に関する通報があった場合
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事故の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害対策本部の設置

主な設置基準

- 相当規模の災害の発生のおそれがある場合
- 相当規模の災害が発生した場合
- 津波警報が発表された場合
- 県内に震度5強以上の地震が発生した場合
- 岩手山等の噴火警戒レベル4が発表された場合
- 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき



Ⅲ 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第 27 条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①指定職員配備（1号）、②主査以上配備（2号）、③全職員配備（3号）となっている。

また、気象予報・警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒態勢をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は、次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課（「V 分掌事務等」に掲げる本庁各室課）の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示より執務する。
- (3) 広域振興局農林水産担当部等（「V 分掌事務等」に掲げる広域振興局農林水産担当部等。以下同じ。）の職員は各地方支部長の指示を受けた所属長に指示により、出先機関（「V 分掌事務等」に掲げる出先機関。以下同じ。）の職員は所属長の指示により、それぞれ執務する。

指定職員配備体制

区 分	説 明
配備基準	<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (カ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 次に掲げる警報のいずれかが発表された場合</p> <p>(ア) 気象特別警報 (イ) 高潮特別警報 (ウ) 波浪特別警報</p> <p>3 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 津波警報が発表されたとき</p> <p>5 県内に震度5強の地震が発生したとき</p> <p>6 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル4が発表された場合</p> <p>7 八幡平又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報が発表された場合</p> <p>8 原子力事業者（原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号。以下「原災法」という。）第2条第3号に規定する原子力事業者のうち本県に隣接する県の区域に同条第4号に規定する原子力事業所を設置するものをいう。以下同じ。）から原子力緊急事態（原災法第2条第2号に規定する原子力緊急事態をいう。以下同じ。）の発生に関する通報があり、かつ、当該原子力緊急事態の影響が本県の区域</p>

		<p>に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策（原災法第2条第5号の規定する緊急事態応急対策をいう。以下同じ。）を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>9 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故（原災法第2条第2号に規定する事業所外運搬に係る事故をいう。以下同じ。）による特定事象（原災法第10条第1項に規定する事象のことをいう。以下同じ。）又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、当該特定事象又は当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>10 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。</p> <p>(1) 災害対策本部員会議への付議</p> <p>(2) その他必要と認める事項の処理</p> <p>2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。</p> <p>3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。</p> <p>4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。</p>
		各室課の長	<p>(農林水産企画室長処理事項)</p> <p>本庁関係課、広域振興局農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。</p> <p>(各室課の長共通処理事項)</p> <p>1 マニュアルに従い、広域振興局農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。</p> <p>2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。</p>
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課及び漁港漁村課の長並びに部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当及び各課の長があらかじめ指名する職員	
産 担 当 部 等	活動要領	長 水産担当部長 広域振興局農林水産担当部長等	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課及び農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	広域振興局農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出 先 機 関	活動要領	出先機関の長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員	

主 査 以 上 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が、主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 気象特別警報 (カ) 高潮特別警報 (キ) 波浪特別警報 (ク) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (ケ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>3 津波警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 県内に震度6弱の地震が発生したとき</p> <p>5 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル5が発表された場合</p> <p>6 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、原子力緊急事態宣言（原災法第15条第2項に規定する原子力緊急事態宣言をいう。以下同じ。）に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県に隣接する県の区域が含まれる場合において、本部長が主査以上配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>7 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>
本 庁	活動要領	部長 指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		長 各室課の (農林水産企画室長処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。
	配備職員 すべての室課の主査相当職以上の職員及び各室課の長があらかじめ指名する職員	
担 当 部 等 広 域 振 興 局 農 林 水 産	活動要領	長 水産担当部等の 広域振興局農林 指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員 すべての所属の主査相当職以上の職員及び広域振興局農林水産担当部等の長があらかじめ指名する職員	

出先機関	活動要領	出先機関の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員		すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

全職員配備体制

区分		説明
配備基準		1 大規模な災害が発生した場合において、本部長が本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 2 津波警報（大津波）が発表された場合 3 県内に震度6強又は震度7の地震が発生した場合 4 原子力緊急事態宣言がなされた場合において当該原子力緊急事態宣言に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県の区域が含まれる場合又は本県の区域が含まれることが想定される時。 5 その他本部長が特に必要と認めた場合
本庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
等産局広 担農域 当農林振 部林水興	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
関出先 機	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

【備考】出先機関の配備体制は、次のとおりとする。

- 1 当該機関の周辺区域において上記の配備基準に該当する災害が発生した場合等に、各配備体制をとるものとする。
- 2 農林水産企画室長からの配備指令があるまでの間の配備体制について、各機関で作成した行動マニュアルに上記と異なる規定をした場合は、それによることができる。

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

本部員連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令伝達、各部門・部内の連絡調整及び情報収集の事務を担当する。

4 緊急初動要員（県災害対策本部規程第28条の2）

本部（及び地方支部）に、緊急初動要員を置き、本部にあつては農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

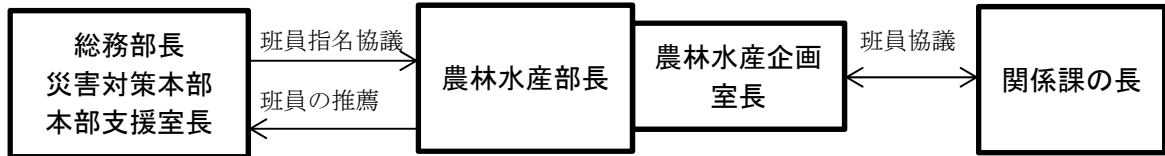
緊急初動要員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害応急対策に係る情報収集・指示、本部支援室・地方支部・関係機関との連絡調整等に関する事務を行う。

5 災害対策本部支援室、調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第 23 条、第 25 条）

岩手県災害対策本部に本部支援室が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、支援室各班の業務への従事を命ぜられることがある。また、調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

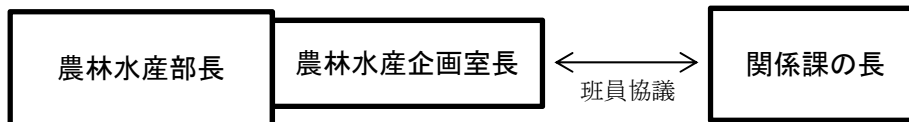
本部支援室班員は総務部長が、調査班員は本部支援室長が、それぞれ農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

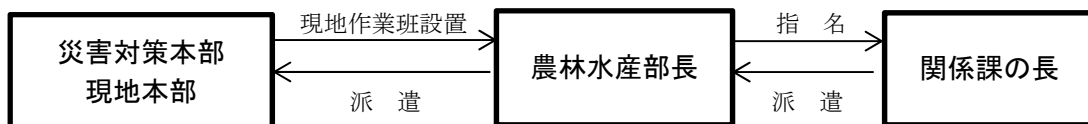
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第 26 条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認められるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 35 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 29 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、副部長、各担当技監及び本部連絡員にも伝えられる。】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 広域振興局農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

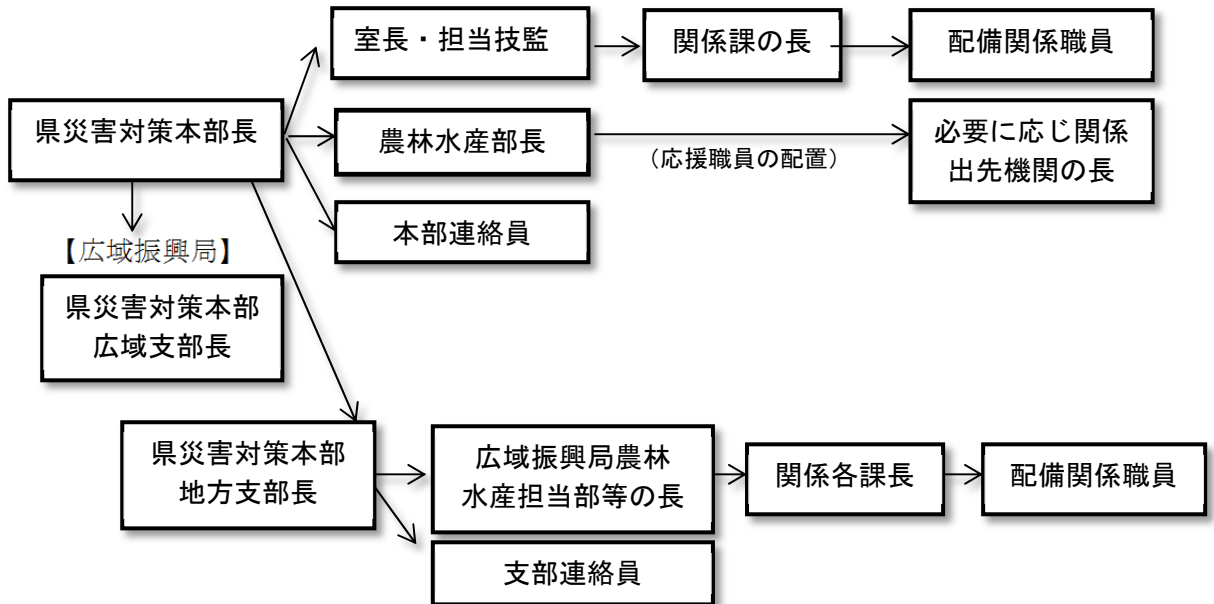
⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に

連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

《非常招集体系図》

【本庁・出先機関】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 30 条）

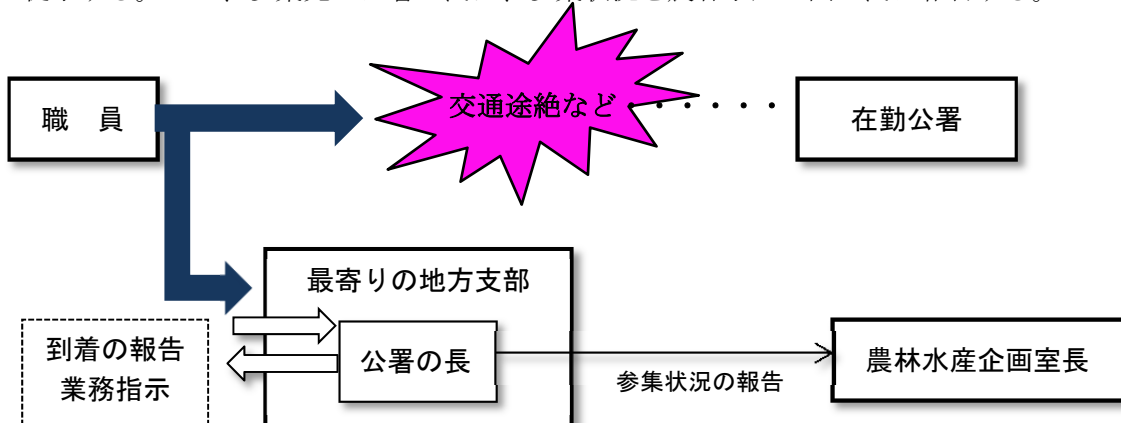
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である。】

2 在勤公署に参集できない場合の対応（県災害対策本部規程第 31 条）

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集することができる。

この場合、参集先の公署の長に到着の報告を行うとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。また、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。
- 3 安否不明の職員がある場合、農林水産企画室総務管理担当へその旨報告する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、広域振興局農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は、次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県 災 害 対 策 本 部 規 程 で 定 め る 主 な 担 当 業 務	県 地 域 防 災 計 画 (災 害 応 急 対 策 計 画) で 定 め る 担 当 内 容	そ の 他 の 分 掌 事 務
農 林 水 産 企 画 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 部内各課等の統括に関する事。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関する事。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項(岩手県知事部局行政組織規則第12条に規定する農林水産部の分課の分掌事務のことをいう。以下同じ。)に係るものに限る。) 4 災害特別警戒本部の対応に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 ・水産関係被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 3 広報広聴計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 	
団 体 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業共済に関する事。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関する事。 3 他課等に対する応援に関する事。【保健福祉企画室】 		
流 通 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関する事。 2 食料品取り扱い機関との連絡に関する事 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・米穀の調達に係る東北農政局岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん 	
農 業 振 興	1 経営構造対策事業、山村等		1 農作物気

課	<p>振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 他課等に対する応援に関すること。【商工企画室】</p>		象災害の取りまとめに関すること。
農業普及技術課	<p>1 農作物の被害の技術対策に関すること。</p> <p>2 農業気象に関すること。</p> <p>3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。</p> <p>5 病虫害防除に関すること。</p> <p>6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>7 他課等に対する応援に関すること。【市町村課】</p>	<p>1 県、市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 <p>2 農林水産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 	<p>1 低温・日照不足の異常気象による被害防止対策や関係機関や団体に対する適時適切な情報提供等に関すること。</p>
農村計画課	<p>1 他課等に対する応援に関すること。【経営支援課】</p>		
農村建設課	<p>1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。</p> <p>2 農地・農業用施設、農村生活環境施設並びに農地の保全に係る海岸保全施設及び地すべり防止施設の被害調査及び応急対策に関すること（県土整備部下水環境課の主管に属するものを除く。）。</p>	<p>1 活動体制計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害情報の収集 <p>2 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害報告 <p>3 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（農林水産省農村振興局所管海岸保全施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 <p>4 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農業用ダムの流量調整に係る連絡調整 	
農産園芸課	<p>1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>4 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>5 他課等に対する応援に関すること。【流通課】</p>	<p>1 市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種に調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	

畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関すること。 2 林産及び特用林産施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林産物（苗木を除く）の被害調査及び応急多雨策に関すること。 4 国有林関係被害の情報収集に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害報告 ・林産物（苗木を除く）被害報告 ・国有林関係被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害情報の収集 ・林産物（苗木を除く）被害情報の収集 	
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防及び森林火災の発生状況の把握に関すること。 2 林業種苗の調達及びあっせんに関すること。 3 林業道（県有林を除く）及び苗畑施設の被害調査及び応急対策に関すること。 4 国有林及び県有林以外の森林の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること。【地域福祉課（災害ボランティアに関すること。）】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害報告 ・林産物（苗木）被害報告 ・国有林及び県有林以外の森林被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消火資機材の調達及びあっせん ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害情報の収集 ・林産物（苗木）被害情報の収集 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・国有林及び県有林以外の森林被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林地荒廃の被害調査及び応急対策に関すること。 4 林道施設の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害報告 ・県有林関係被害報告 ・林地荒廃被害報告 ・林道施設関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 ・林地荒廃被害情報の報告 ・林道施設被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関すること。 2 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関すること 3 漁船による海上輸送に関すること。 4 漁業災害補償に関すること。 5 海上災害に係る連絡調整及び応急対策に関すること。 6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業共同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の調達及びあっせん要請 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 漁場施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 応急対策に係る漁港の利用に関すること。 4 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 ・水産庁所管海岸保全施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設被害報告 ・水産庁所管海岸保全施設被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 4 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（水産庁所管海岸保全施設、漁港施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在籍船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	
競馬改革推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。【市町村課】 		
県産米戦略室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。 		

備考 【 】内は「岩手県災害対策本部規程の運用について」（H24.3.30 付け総防第 1213 号県災害対策本部通知）により規定された応援先の室課名であること。

2 広域振興局農林水産担当部等

広域振興局 農政（林）部 林務部 水産部 農林振興センター 農村整備センター 水産振興センター 農村整備室 林務室 林務出張所 家畜保険衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター （中央の県域Gを除く。）	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
--	--	--	--

3 出先機関

病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学 中央農業改良普及センター（県域Gに限る。）	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
---	---	--	--

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種類	内容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画（様式1）	原則として、電子メール及び県情勢情報ネットワークによるものとし、防災行政無線（電話、FAX）等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間（災害発生初期）に、種類別に報告するもの	岩手県地域防災計画（様式F及び3、10～16）		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	同上		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
その他の	前記の報告以外で、必要	任意様式	市町村本部～地方	

報告	な事項について報告するもの			支部～農林水産部～総合防災室
----	---------------	--	--	----------------

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系は16頁)。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
庁舎等被害報告	様式 3	出先機関	農林水産企画室	関係課に伝達	農林水産部長
農業施設被害報告	様式 12	市町村本部			
農作物等被害報告	様式 13	↓ 広域振興局等(農林水産担当部)及び出先機関			
家畜等関係被害報告	様式 14				
水産関係被害報告	様式 10				
農地農業用施設被害報告	様式 15	農林水産企画室	農村建設課	農林水産企画室に報告	県災害対策本部長(総合防災室)
林業関係被害報告 (林産及び特用林産施設、林産物、国有林)	様式 16		林業振興課		
林業関係被害報告 (作業道(県有林除く)、苗畑施設、緑資源機構※、市町村有林、私有林)	様式 16		森林整備課		
林業関係被害報告 (林道、治山施設、県有林、林地荒廢)	様式 16		森林保全課		
漁港施設等被害報告	様式 11		漁港漁村課		

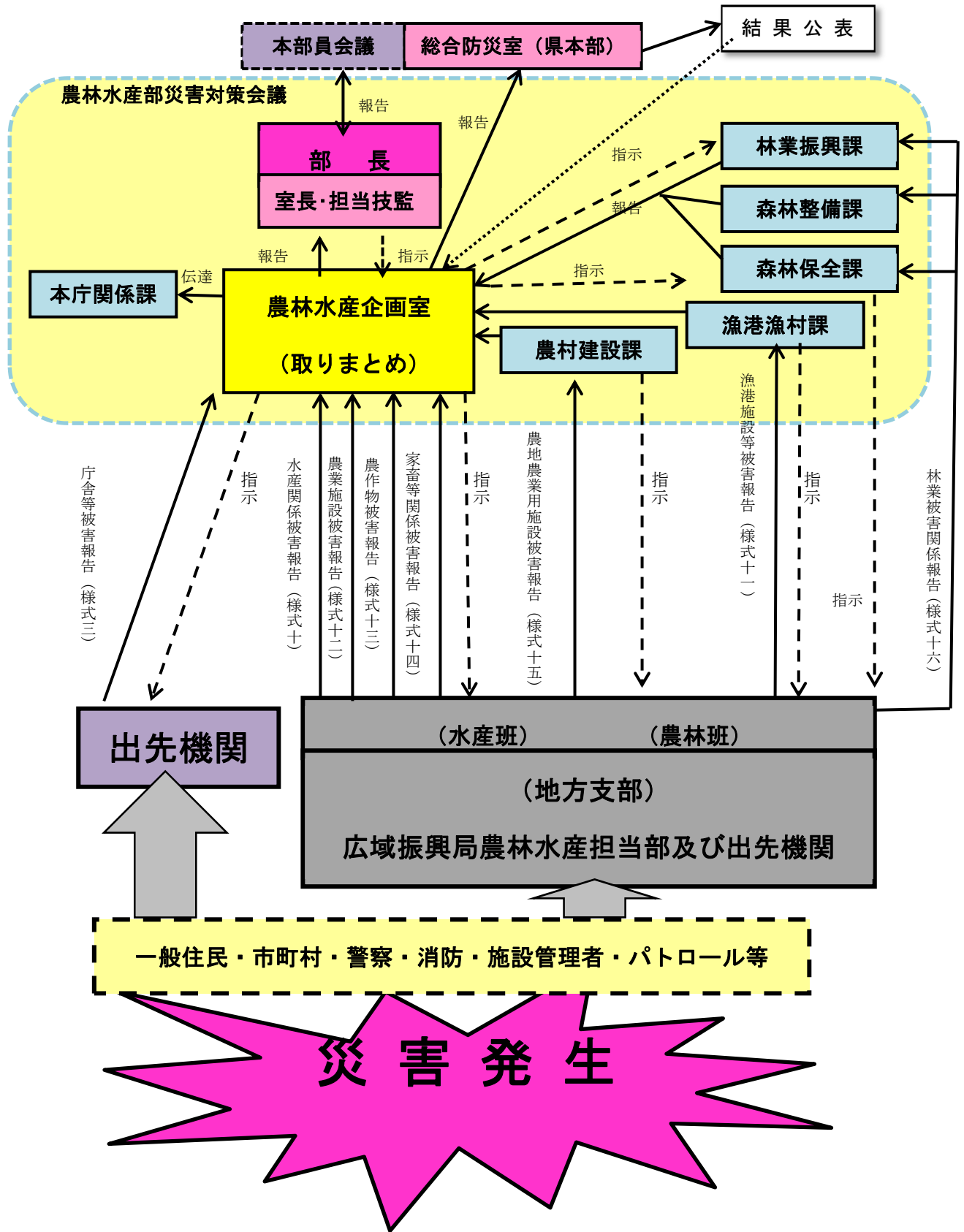
※ 現・森林農地整備センター

2 応急対策及び指示

- (1) 広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、農林水産部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部長の指示確認)	別紙様式 1	広域振興局農林水産担当部等及び出先機関	農林水産企画室又は本庁関係課(情報伝達と同様)	農林水産部長

災害情報収集・報告区分別系統図



VII 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当者	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合 (警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

※1 本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。

※2 勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。

※3 拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課（V分掌事務参照）の長が対象となること。

Ⅷ その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
農林水産部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (広域振興局農林水産担当部等の長)	緊急初動要員の指名協議	毎年度当初	本庁及び広域振興局等
本庁各室課の長 広域振興局農林水産担当部等の長 出先機関の長	非常招集系統図(配備体制区分がわかるもの)作成	毎年度当初	本庁は農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常召集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画（災害応急対策計画）に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等気象災害防止対策本部（以下「本部」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議（以下「対策会議」という。）が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局及び広域振興局農林振興センター（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域（別表3に掲げる区域をいう。）ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長、農林部長又は広域振興局農林振興センター所長をもって充て、副地方支部長は、盛岡広域振興局農政部にあっては農業振興室長、その他の広域振興局等の農政部、農林部及び農林振興センターにあっては農作物等気象災害防止対策の事務を所掌する課長及び所管区域を所掌する農業改良普及センターの所長（花巻地方支部にあっては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあっては地方支部長と、副本部長にあっては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

この要綱は、平成26年3月24日から施行する。

この要綱は、平成27年7月2日から施行する。

別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
県産米戦略室	県産米戦略監
中央農業改良普及センター	所長

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	6次産業化推進担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
県産米戦略室	主任主査
中央農業改良普及センター（県域普及グループ）	普及課長

別表3 (要綱第7関係)

広域振興局等	所管区域
盛岡広域振興局	盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡
県南広域振興局	奥州市、胆沢郡
花巻農林振興センター	花巻市、北上市、和賀郡
遠野農林振興センター	遠野市
一関農林振興センター	一関市、西磐井郡
沿岸広域振興局	釜石市、上閉伊郡
宮古農林振興センター	宮古市、下閉伊郡（普代村を除く。）
大船渡農林振興センター	大船渡市、陸前高田市、気仙郡
県北広域振興局	久慈市、下閉伊郡のうち普代村、九戸郡（軽米町及び九戸村を除く。）
二戸農林振興センター	二戸市、九戸郡のうち軽米町及び九戸村、二戸郡

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）	【当然加入制】 ・水稻 30 a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25 a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・麦 10a 以上（全組合）	【一筆・半相殺・全相殺方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の6～9割
	りんご ぶどう	【減収総合方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害 【特定危険方式】 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 【災害収入共済方式】 減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少 【樹体共済】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害による樹体の枯死、流失、滅失、埋没及び損傷	・栽培面積10a以上（最低加入基準） 【特定危険方式】 ・20 a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに10a以上の栽培面積と栽培経験5年以上	【半相殺・全相殺・樹園地単位方式】 単位当補償金額×標準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から組合員が選択した割合） 【災害収入共済方式】 基準生産金額の最低割合（4～6割）～8割 【樹体共済】 共済価格の最低割合（4～6割）～8割
	畑作物共済	大豆 そば ホップ 蚕繭（春・初秋・晩秋）	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災 ・気象災害（風水害、地震等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積5 a 以上（最低加入基準） 最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1箱以上）、初秋蚕繭（0.5箱以上）、晩秋蚕繭（0.5箱以上）

※岩手県で引受の対象としているものは次のとおり

- ・特定危険・半相殺方式及び特定危険・樹園地単位方式
- ・減収総合・半相殺方式及び減収総合・樹園地単位方式

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
家畜共済	牛 馬 豚	死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く） 【事故除外】 特定の事故のみ限定	・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛）（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）	・共済金額＝共済価額×付保割合（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・高被害率農家（死産事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死産事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害	・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が 3 万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く	・共済金額＝共済価額（施設時価額）×付保割合（付保割合：組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択） ※平成 27 年 2 月より補償拡充（①耐用年数の見直しと補償価格の引上げ、②農家選択による補償の追加、③撤去費用の追加） ※施設内農作物の共済金額＝施設の再建築価額（新築価額）×該当施設内農作物の価額算定率（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）×付保割合

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	(火災共済) ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害	・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に收容されている家具、家財 ・農作業場等に收容されている小農器具	(火災事故) ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・共済金額＝損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・共済金額＝（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機具共済	農機具	(火災共済) ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 (更新共済) ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立	・所有または管理している未使用の状態取得した農機具	・共済金額＝損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額 ※損害額1万円以上の事故から対象 ※機械の腐食等の自然消耗等は対象外

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁協一括契約、集団契約) 【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="text-align: center;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位 当たり生産 金額のうち 最高と最低 を除く3年 平均 × 契約年のさ く数、台数、 または幹縄 の延長数 × 一定割合 (養殖種類 ごとに一 律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定して、てん補する方式</p> <p>【支払上限てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合是不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁業施設共済	漁具	定置網	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償 【各網全損特約】（定置網） 【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定てん補（分損）契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	はえ縄 いかだ 網いけす			

- ※ 1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約
漁協が加入する方式
- 3 集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧造林事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	被害森林における被害木等の伐採・搬出及び人工造林等	倒伏木の引きこし	森林作業道の開設及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合等、特定非営利活動法人等、森林経営計画策定者（ただし、事業主体が自ら所有する森林で実施する場合を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林保険の制度と仕組み

引受対象	保険支払対象事故	加入方法（保険料）	補償方法
<p>人工林</p> <p>・樹種、林齢、面積等に制限なし。ただし、竹林や天然林は対象外</p>	<p>・火災</p> <p>・気象災害 (風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害)</p> <p>・噴火災</p> <p>※地震、病虫獣害は対象外</p>	<p>・契約者が、付保率等を選択し、保険金額を設定</p> <p>・保険料は、設定した保険金額に対して保険料率（保険金額 1,000 円につき年間 1.2 円～4.3 円）を乗じて算出</p>	<p>保険金は、契約保険金額の範囲内で損害に応じて支払</p> <p>【保険金＝損害額×保険金額／保険価額】</p> <p>[保険金支払責任を負わない場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損害が保険契約者等の故意又は重大な過失によって生じたとき ・保険契約者等が損害が生じてから通知をせずに3年経過したとき ・損害が戦争、変乱又は地震によって生じたとき ・保険金の支払額が4,000円未満のとき <p>[支払対象とならない損害]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木起こし等復旧可能な損害 ・成林に支障のない程度の軽微な損害 ・造林技術上の欠陥又は病虫・獣害等によるものと認められる損害 ・活着不良等により通常生じる枯損による損害

農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあっては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生之都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成26年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
						小計	8.8	1,267	421	7市町村	
	桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村					
計		1,351.9	15,087	5,020	7市町村						
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町		
年度計							1,429.9	18,866	6,279		
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村	
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
	桑	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村					
	計		2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町	
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村	
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
						生育回復	5.5	59	19	川崎村	
					小計	45.1	8,453	2,813	4市町村		
桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村						
計		1,558.6	25,441	8,470	7市町村						
9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村		
				野菜	代作	3.2	689	224	紫波町		
				計		142.2	5,044	1,664	4市町村		
年度計							4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
					小計	7.8	701	233			
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市	
						計	38.8	1,827	607	2市町	
					水稲	病害虫防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						病害虫防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村	
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
					小計		110.4	2,479	824	4市町村	
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村							
小計		149.0	12,683	4,165	6市町村						
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市						
計		747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期 低温・日照不足							95,026.0	30,127,805		別途対策事業を実施	
年度計							786.1	22,199	7,329		
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村	
					小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村	
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村	
					果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町	
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村	
	計		233.3	15,323	5,088	6市町村					
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町		
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
					計	110.2	25,701	8,490	4市町村		
年度計							529.0	45,947	15,201		
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
					小計	94.0	6,665	2,219	2町村		
	キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町					
		計	104.0	6,826	2,272	2町村					
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町	
						代作	8.0	1,031	343	紫波町	
						小計	10.0	1,054	350		
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
					小計		4.0	275	90		
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村	
					ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市	
						代作	4.0	515	171	花巻市	
小計							8.0	543	180		
レタス	代作	3.0	386	128	遠野市						
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市						
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村						
計		32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計							193.2	14,068	4,678		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況									
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考				
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町				
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村				
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村				
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村				
					小計	842.7	35,330	11,706	15市町村					
	夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施									
年度計							911.1	46,528	15,384					
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市				
年度計							30.0	534	178					
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施									
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町				
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町				
						計	36.4	5,114	1,704	2町				
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町				
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町				
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町				
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町				
さといも					改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市					
				牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町					
					計	87.8	34,062	11,313	5市町村					
	9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							124.2	39,176	13,017					
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稻	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村				
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町				
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町				
										小計	30.3	7,289	2,426	4市町村
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
						ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
					小計	60.1	61,649	20,452	3市町村					
					計	90.4	68,938	22,878	5市町村					
年度計							1,385.4	84,152	27,934					
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町				
						雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町				
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町				
						計	58.4	36,898	12,298	2町				
8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302	水稻	病害虫防除	1,719.8	17,048	5,679						
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村					
					引き起こし	4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村					
					計	47.2	4,782	1,593	2町村					
年度計							1,825.4	58,728	19,570					
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村				
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村				
					計	0.7	4,966	1,655	2町村					
年度計							0.7	4,966	1,655					
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村				
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							1.5	1,898	632					
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町				
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村				
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市				
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町				
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村				
	おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町								
西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村									
					計	697.4	53,473	17,805	14市町村					
	8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
年度計							697.4	53,473	17,805					
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市				
						播き直し	0.07	134	45	北上市				
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市				
					スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市				
					水稻	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町				
		計	317.27	5,411	1,802									
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町				
キャベツ					緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町					
だいこん					緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村					
					計	225.18	11,947	3,981						
年度計							542.45	17,358	5,783					
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稻	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村				
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村				
						計	1,900.3	18,817	6,262					
年度計							1,900.3	18,817	6,262					

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							0.0	0	0	
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村
	年度計							24.0	2,217	738
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)
	年度計							70.0	3,670	1,223
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	三戸市
						生育回復対策	29.3	269	89	三戸市
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	三戸市
						生育回復対策	2.5	103	34	三戸市
	年度計							63.6	1,319	438
H19	9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区
					大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町
					飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町
					計		106.0	20,822	6,934	
年度計							169.6	22,141	7,372	
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町
		加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町			
年度計							57.5	3,248	1,082	
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市
	計		60.0	1,459	486					
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市
					緊急薬剤散布	29.79	669	223	江刺市	
年度計							30.069	2,163	721	
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町
						改植	4.00	2,335	778	岩手町
						代作(大根)	4.47	1,014	337	岩手町
		大根	まき直し	6.89	1,563	520	岩手町			
計		27.21	7,239	2,410						
7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	15.80	2,921	950	岩手町	
年度計							43.01	10,160	3,360	
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
年度計							0.0	0	0	
H24	6月4日、6日	降雹	60.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市
年度計							95.5	2,414	805	
H25	6月8日から8月9日	大雨・洪水	2,589.9	723,914	果菜・葉菜	播き直し等	25.4	8,274	2,758	盛岡市他3町
					花き	播き直し等	3.6	13,621	4,540	雫石町他2町
					菌茸	菌床の更新	90.1	1,174	391	雫石町
					畜産	代替粗飼料の購入	40.6	12,786	4,262	雫石町他2町
					計		159.8	35,855	11,952	
年度計							159.8	35,855	14,765	

1億円以上の被害額となった災害：57災害 (S61～H26)
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：40災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雪災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雪災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雪災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雪等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雪等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
	10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991
	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848
	11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	1,591	55,566	475,676	532,833	7,045		1,636,265	1,643,310	11,471	68,272	124,844	524,076	786,163	1,514,826	3,690,969
	3月6日～7日にかけての大雪による災害					97,100			97,100							97,100
	4月5日～7日にかけての低気圧通過による災害									1,330	6,100	3,000	28,743	105,000	144,173	144,173
	4月下旬～5月上旬にかけての降霜による災害	97,363			97,363											97,363
	5月下旬～6月上旬にかけての降雹による災害	30,620			30,620											30,620
	台風6号による災害	1,330,021	34,314	10,073,000	11,437,335	6,711,859	18,238	43,342	6,773,439	5,450	10,000	3,343	12,050	33,683	64,526	18,275,300
	8月の長雨・日照不足による災害	686,136		463,000	1,149,136	30,100			30,100							1,179,236
	7月～9月の暑熱による災害		70,922		70,922											70,922
	台風21号による災害	375,816	73,444	37,000	486,260	71,145		7,204	78,349	20,915	147,586	22,898	99,950	3,800	295,149	859,758
	10月21日～22日にかけての大雨暴風雨による災害	919			919			1,300	1,300	500	72,000			500	73,000	75,219
	11月の低温による災害	5,184			5,184											5,184
15	2月20日から21日にかけての大雪による災害										5,050				5,050	5,050
	3月1日から2日にかけての暴風による災害		933		933											933
	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	9,955	153,620		163,575	104,786		421,600	526,386	3,057	25,458	467,019	2,291,362	1,249,500	4,036,396	4,726,357
	4月1日の融雪災害					146,055			146,055							146,055
	4月12日～13日の強風災害		583		583											583
	消雪の遅れによる農作物の被害	16,733			16,733											16,733
	4月下旬から5月上旬にかけての降霜災害	21,152			21,152											21,152
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	881	150,461	500,000	651,342	514,950	27,885	620	543,455	27,493	410			721,100	749,003	1,943,800
	5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	2,135			2,135											2,135
	7月10日から11日にかけての大雨災害					110,000			110,000							110,000
	7月24日～27日にかけての大雨災害					276,961		533	277,494	300					300	277,794
	7月26日に発生した地震（震度4）による被害			59,000	59,000											59,000
	8月25日の降雹による被害	1,454			1,454											1,454
	台風10号による被害	10,508	162		10,670	200			200							10,870
	台風14号による被害	24,115	6,358		30,473											30,473
	平成15年十勝沖地震に伴う津波被害									1,935	3,192	154,394	273,981		433,502	433,502
6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921			32,906,921											32,906,921	
11月16日の強風災害	3,232	2,790		6,022											6,022	
12月7日の強風災害		1,189		1,189											1,189	
16	1月14日強風災害		1,192		1,192											1,192
	2月15日強風災害		1,300		1,300											1,300
	2月23日強風災害		23,716		23,716	295			295		4,000				4,000	28,011
	3月6日大雪災害		1,044		1,044											1,044
	3月31日強風災害		4,668		4,668											4,668
	4月20日強風災害		52,742		52,742					200	7,730				7,930	60,672
	4月～5月降霜被害	115,327			115,327											115,327
	6月15日降雹災害	17,708			17,708											17,708
	6月21日台風6号災害	5,297	950	116,000	122,247	52,430			52,430							174,677
	6月30日降雹災害	19,802			19,802											19,802
	7月11日～20日大雨災害	30,559		166,000	196,559	84,800			84,800							281,359
	7月26日～27日落雷・降雹災害	12,850	230	22,000	35,080											35,080
8月5日～7日大雨災害			47,000	47,000											47,000	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
20	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000											69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903											14,903
	9月12日の大雨災害			6,000	6,000											6,000
	10月24日の大雨災害							101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371											67,371
	11月28日の強風災害		192		192											192
21	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763					270		300			570	1,333
	2月7日の強風災害		105		105											105
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810											9,810
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842											2,842
	3月7日の強風災害		696		696											696
	3月10日の強風災害		774		774											774
	3月23日の強風災害		882		882											882
	3月30日の融雪災害					6,500			6,500							6,500
	4月21日から22日にかけての大雨災害					4,900			4,900							4,900
	4月23日の強風災害		28		28											28
	4月25日から26日にかけての強風、波浪災害									4,407	4,660		700	9,767	9,767	
	4月25日から27日にかけての大雨災害			10,000	10,000			224	224							10,224
	4月から5月にかけての降雪災害	16,199			16,199											16,199
	5月17日から18日にかけての強風災害		5,064		5,064						800	50			850	5,914
	6月5日から7日にかけての大雨災害			1,000	1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409											121,409
	7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800			75,800							83,800
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000
	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79			40,000	40,000							40,079
	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545
	11月15日の強風災害		440		440											440
12月7日の強風災害		327		327											327	
22	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110						100				100	1,210
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760
	2月28日の津波災害									1,800		656,379	1,157,146		1,815,325	1,815,325
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672		200	200			900				900	74,772
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710
	4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320
	4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152		41,180	57,332	1,200	1,100			5,020	7,320	66,652
5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700		2,000	16,700							16,700	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風・波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
	11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011
12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838	
25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861		150			3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
	10月26日から27日の大雨災害													350	350	350
	11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526
12月15日の強風災害		100		100											100	
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	
26	2月9日の大雪・波浪災害	3,181	166,223		169,404											169,404
	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	5,316	1,425,105		1,430,421	29,743		8,592	38,335	840	2,310	6,201	265,051	180,300	454,702	1,923,458
	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	442	101,037		101,479			5,564	5,564		10,981				10,981	118,024
	3月30日の暴風雪災害		120		120						600	310	1,490		2,400	2,520
	4月3日チリ地震により発生した津波災害												7,000		7,000	7,000

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
26	4月20日の降雹災害	10,379			10,379											10,379
	5月29日の降雹災害	11,713			11,713											11,713
	6月16日の降雹災害	7,158			7,158											7,158
	7月11日の台風8号大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月8日の大雨災害	52			52											52
	8月10日から11日の台風11号大雨災害	48,153	2,670	13,000	63,823	1,200			1,200		1,501				1,501	66,524
	8月15日の大雨災害	137		20,000	20,137			23,000	23,000							43,137
	8月22日の大雨・降雹災害	404	120	1,000	1,524											1,524
	9月12日の降雹災害	18,230	4,000		22,230											22,230
	10月6日の台風18号災害										1,000	50	1,705		2,755	2,755
	10月14日の台風19号災害	84,406	3,688	5,000	93,094	4,000		4,000	8,000		300	398	13,754		14,452	115,546
	10月17日の強風災害	48,569	1,347		49,916											49,916
	11月2日から3日の強風災害	6,385	20		6,405											6,405
	12月3日の降雪災害		25,993		25,993											25,993
12月17日の暴風雪災害		2,620		2,620						2,046				2,046	4,666	